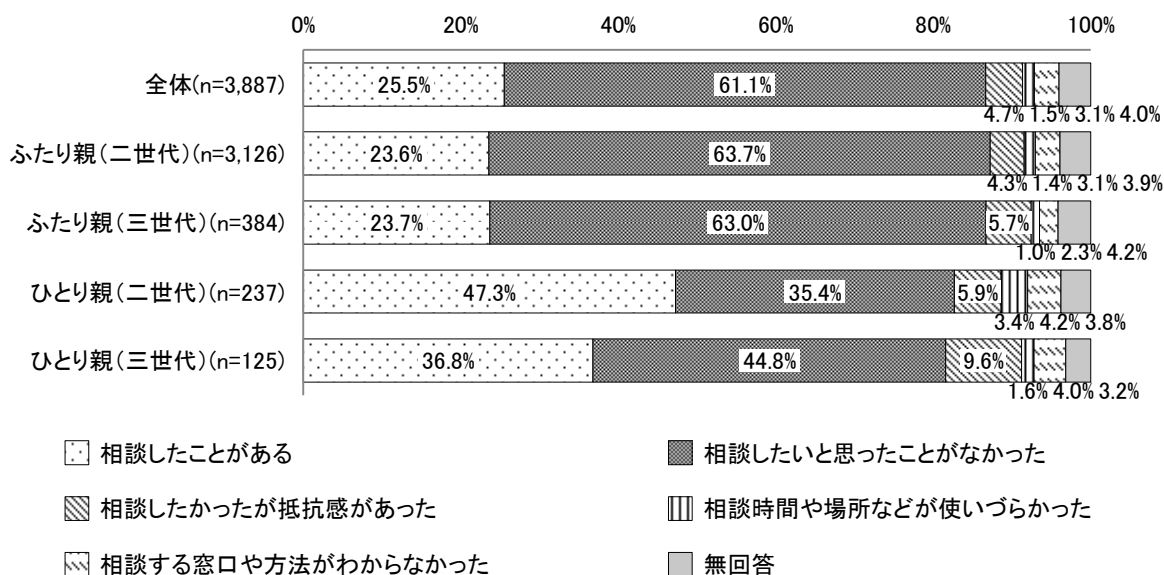


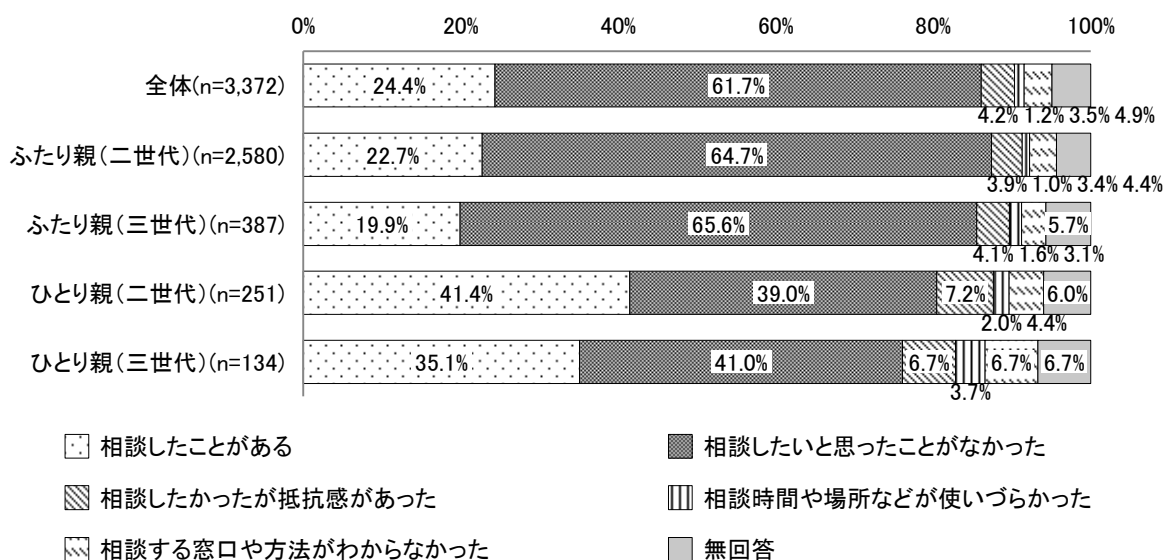
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「相談したことがある」とする割合が高くなっている。

図表 170 公的機関への相談状況_市役所、町村役場の窓口：単数回答（Q48A）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



32) 公的機関への相談状況_学校・保育所・幼稚園の先生

小学生の「全体」では、「相談したことがある」が 59.3%でもっとも割合が高く、次いで「相談したいと思ったことがなかった」が 31.7%となっている。

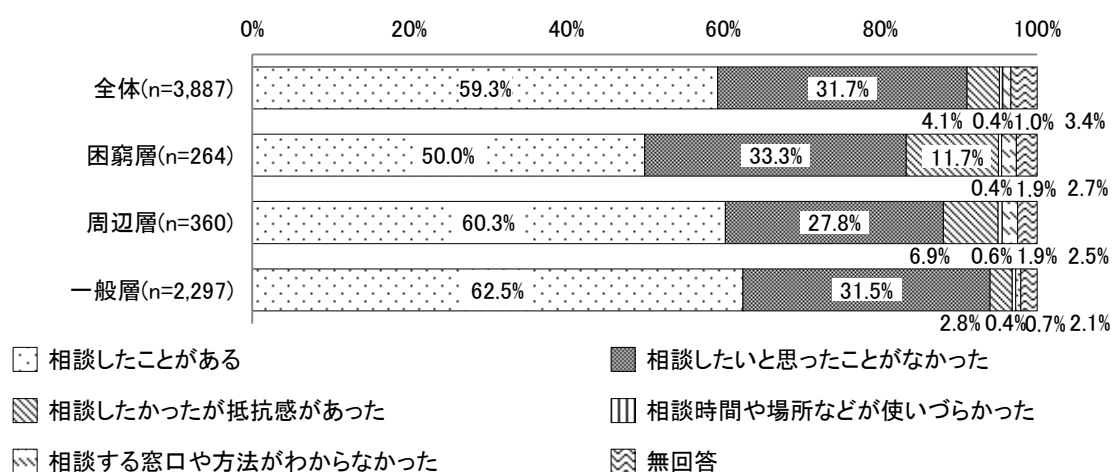
「困窮層」では、「相談したことがある」が 50.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したことがある」が 60.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したことがある」が 62.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「相談したことがある」が 53.9%でもっとも割合が高く、次いで「相談したいと思ったことがなかった」が 35.3%となっている。

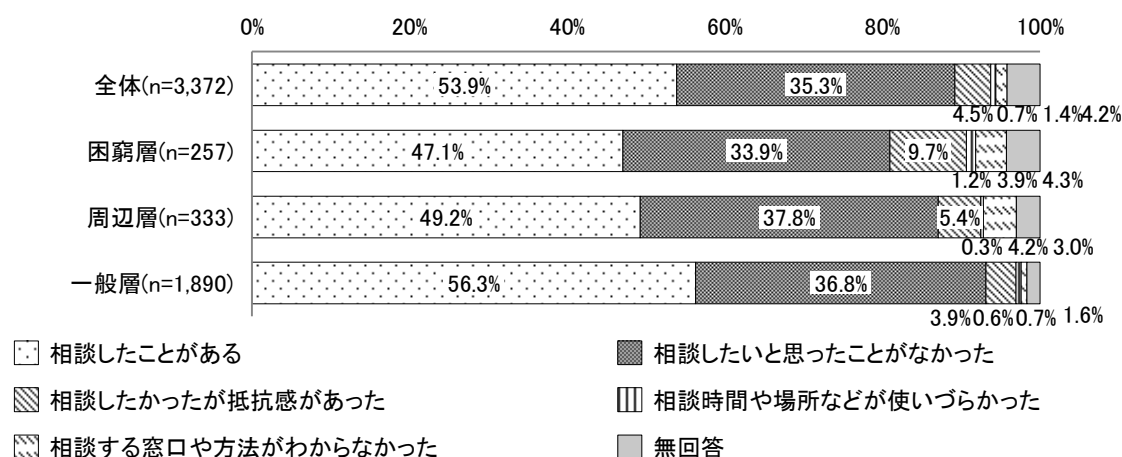
「困窮層」では、「相談したことがある」が 47.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したことがある」が 49.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したことがある」が 56.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 171 公的機関への相談状況_学校・保育所・幼稚園の先生：単数回答（Q48B）
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



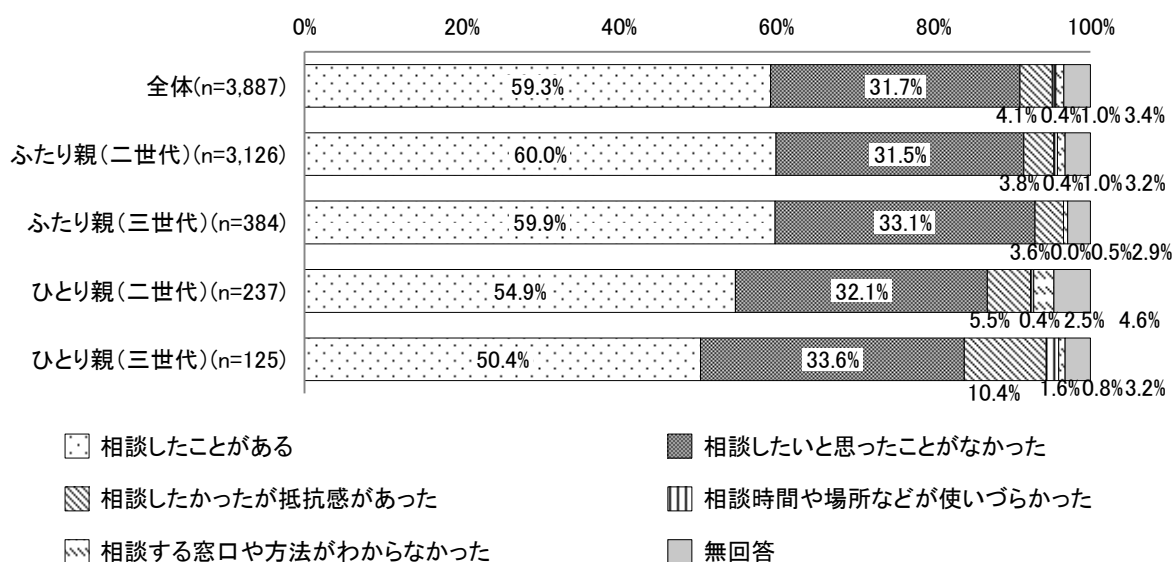
<中学生> (p<.01)



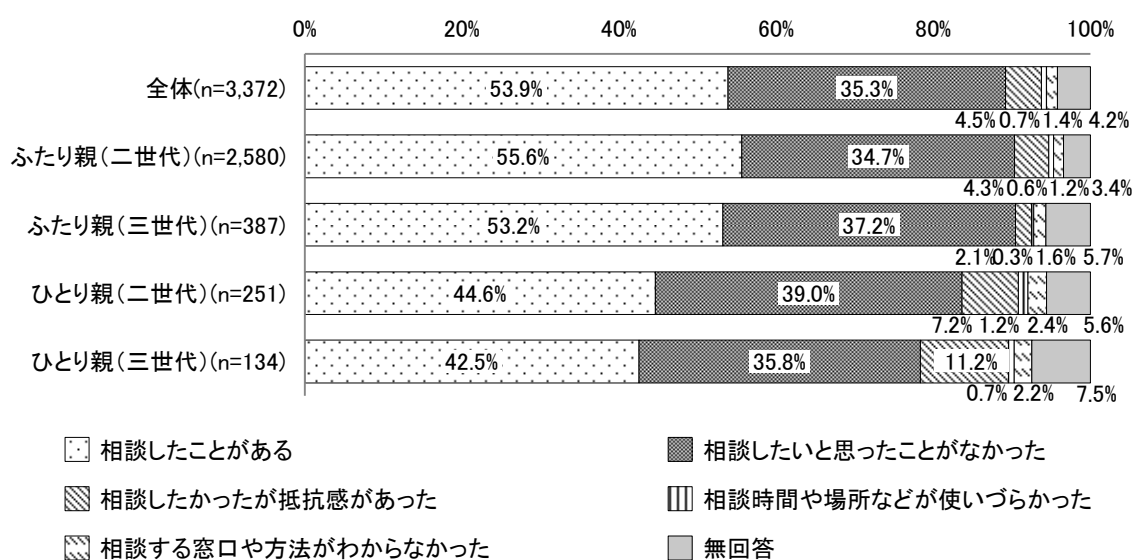
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「相談したことがある」とする割合が低くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「相談したことがある」とする割合が低くなっている。

図表 172 公的機関への相談状況_学校・保育所・幼稚園の先生：単数回答（Q48B）
（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



33) 公的機関への相談状況_スクールカウンセラー

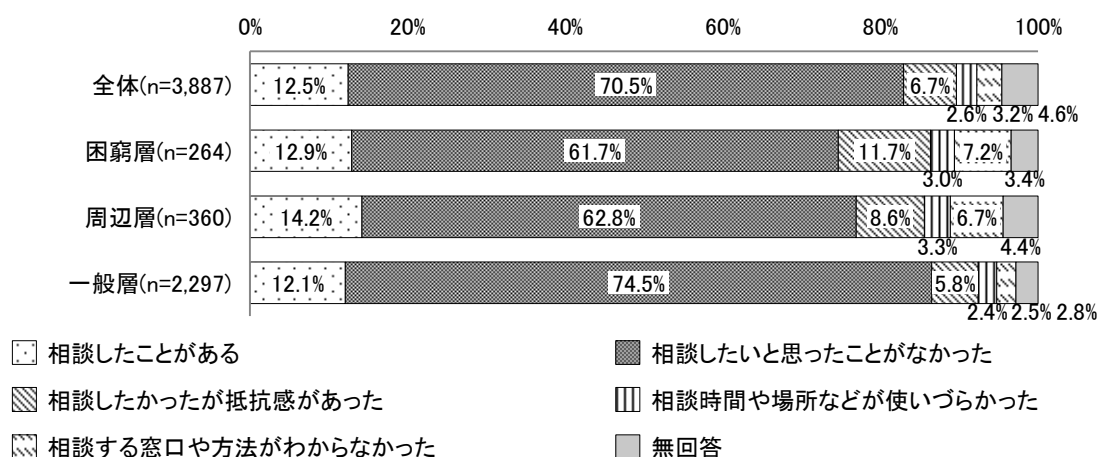
小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 70.5%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が 12.5%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 61.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 62.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 74.5%でもっとも割合が高くなっている。

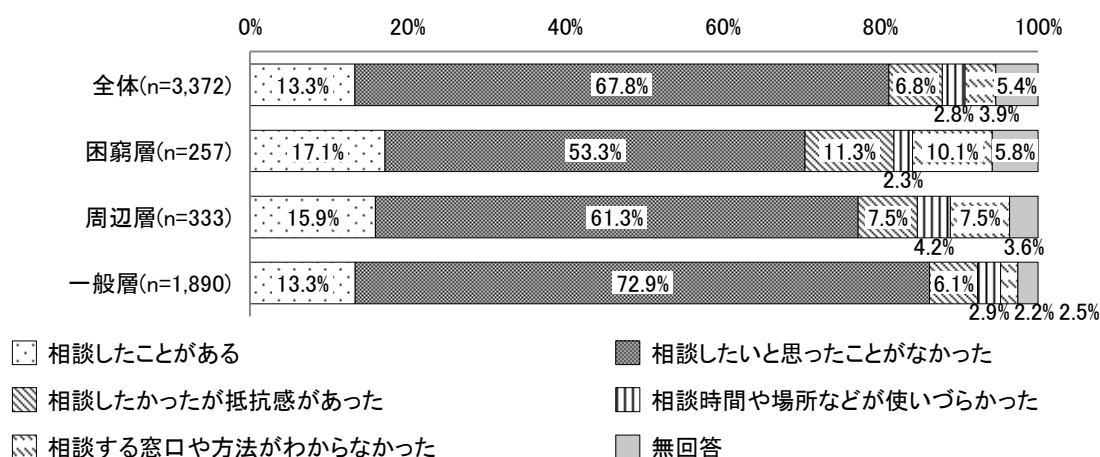
中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 67.8%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が 13.3%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 53.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 61.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 72.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 173 公的機関への相談状況_スクールカウンセラー：単数回答（Q48C）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）

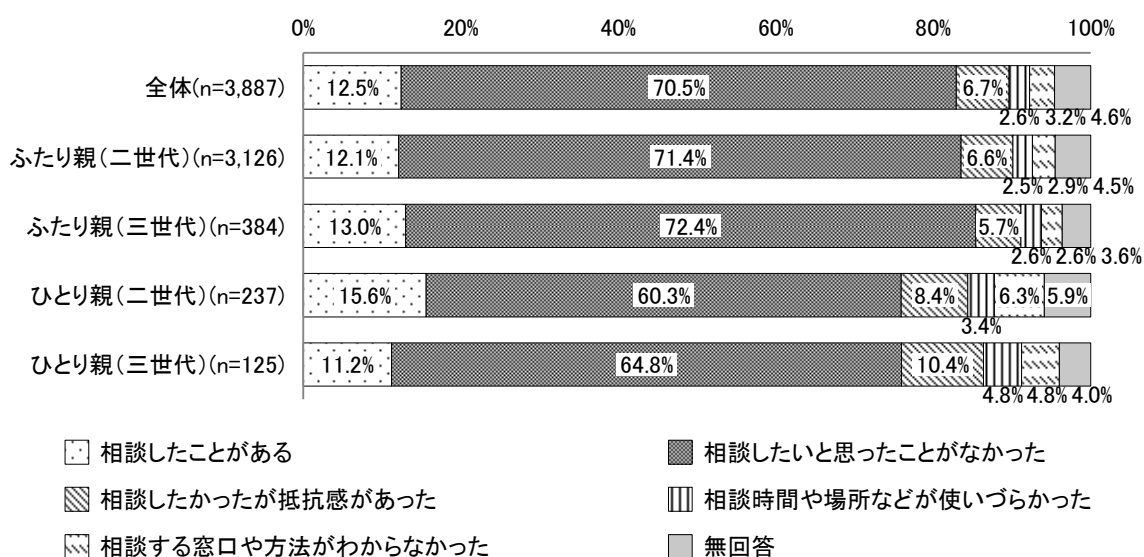


＜中学生＞（ $p<.01$ ）

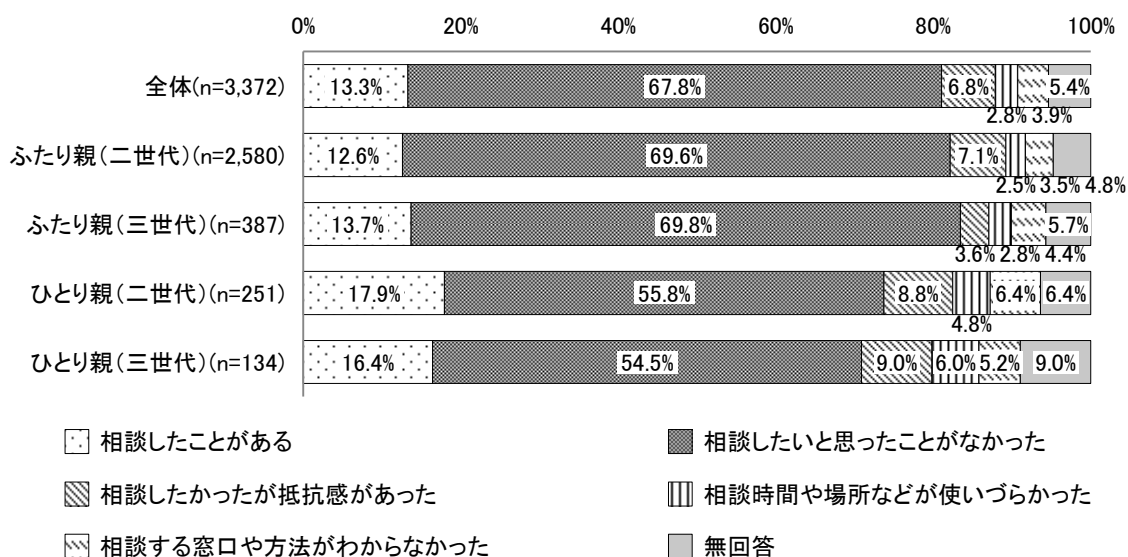


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「相談したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「相談したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。

図表 174 公的機関への相談状況_スクールカウンセラー：単数回答（Q48C）（世帯タイプ別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



34) 公的機関への相談状況_スクールソーシャルワーカー

小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 80.5%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が 6.6%となっている。

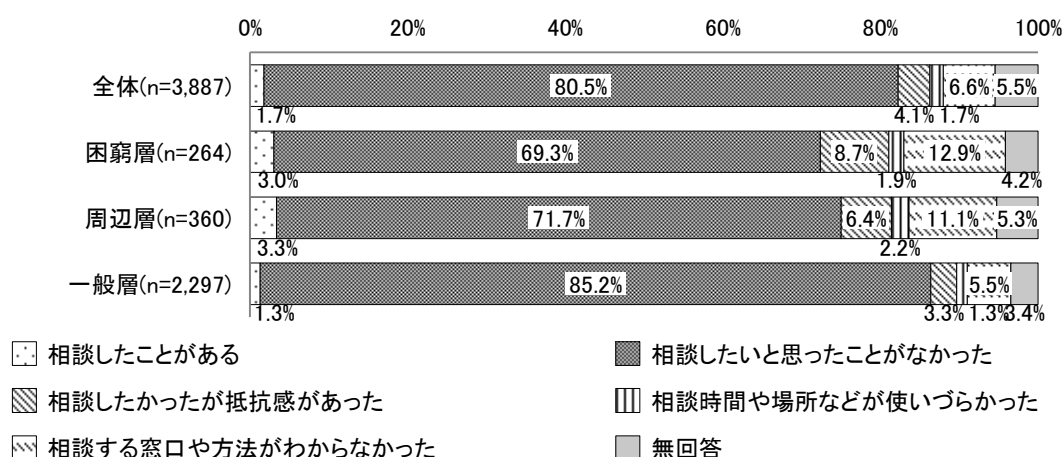
「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 69.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 71.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 85.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 78.6%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が 6.8%となっている。

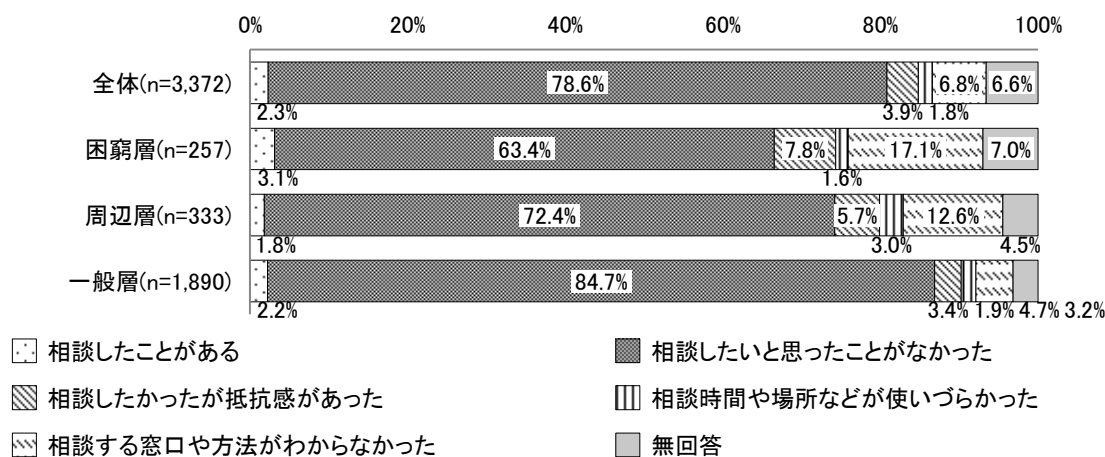
「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 63.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 72.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 84.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 175 公的機関への相談状況_スクールソーシャルワーカー：単数回答（Q48D）
（生活困難度別）

<小学生>（p<.01）



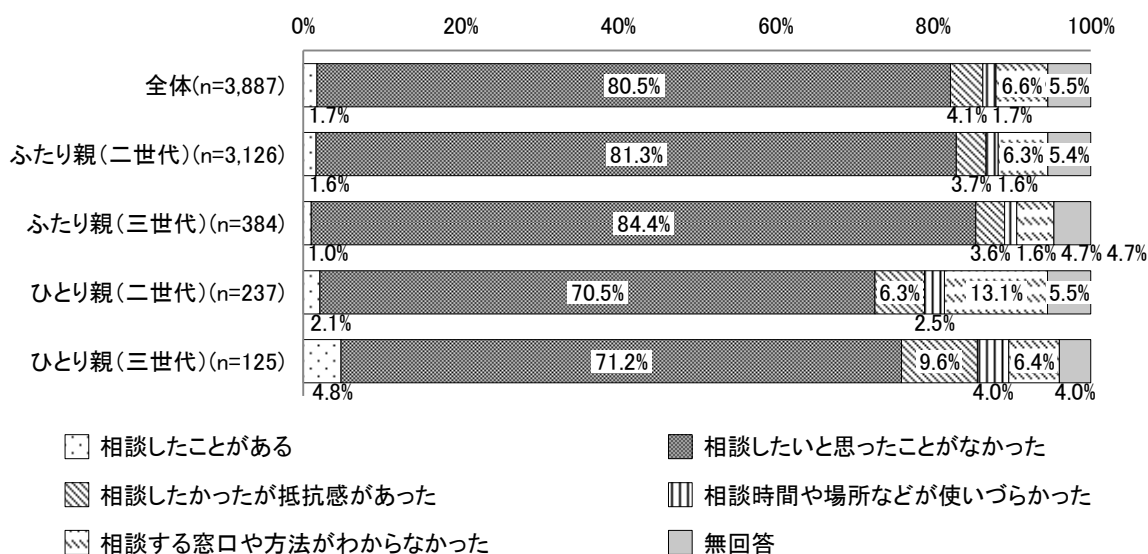
<中学生>（p<.01）



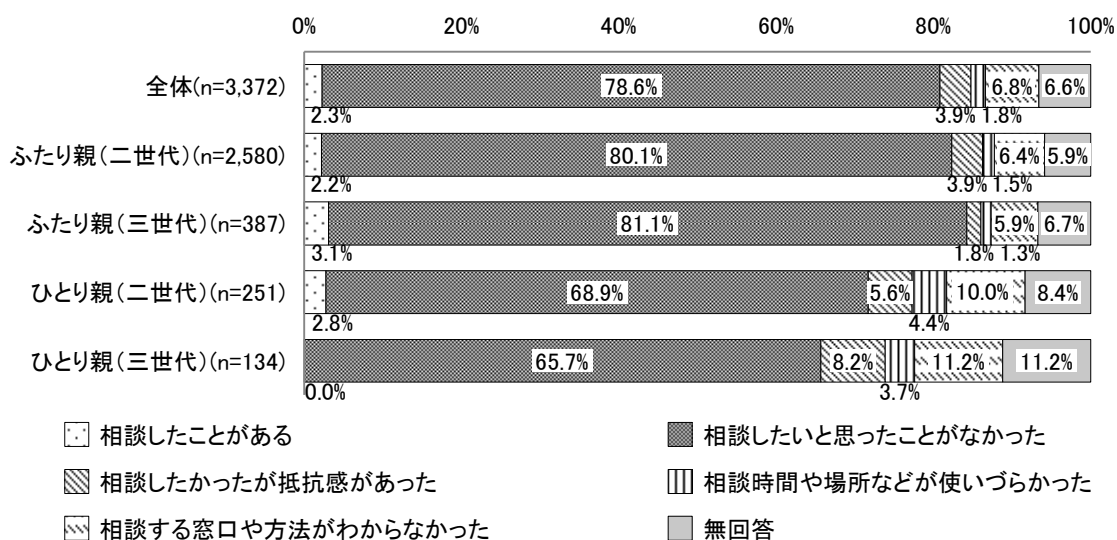
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「相談したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。また、小学生では「ひとり親（二世帯）」において、「相談する窓口や方法がわからなかった」とする割合が高くなっている。

図表 176 公的機関への相談状況_スクールソーシャルワーカー：単数回答（Q48D）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



35) 公的機関への相談状況_民生委員・児童委員

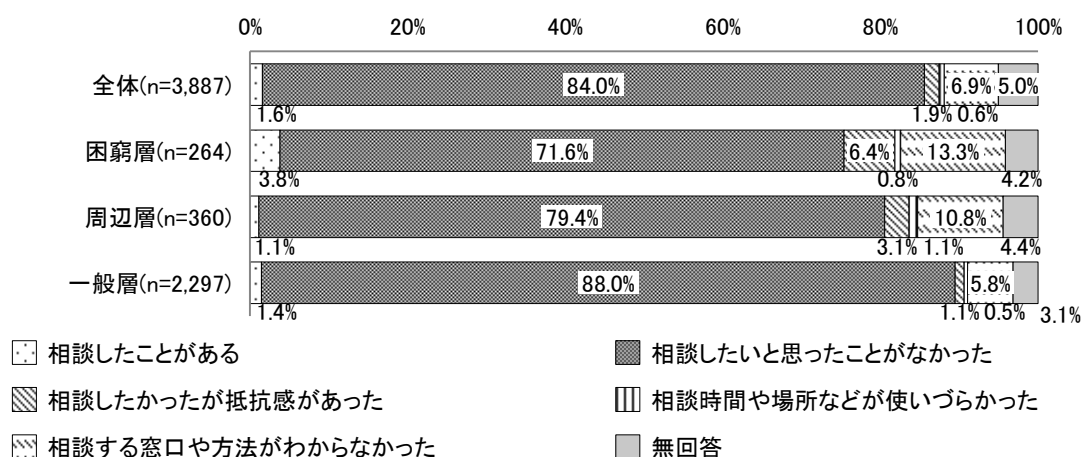
小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が84.0%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.9%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が71.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が79.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が88.0%でもっとも割合が高くなっている。

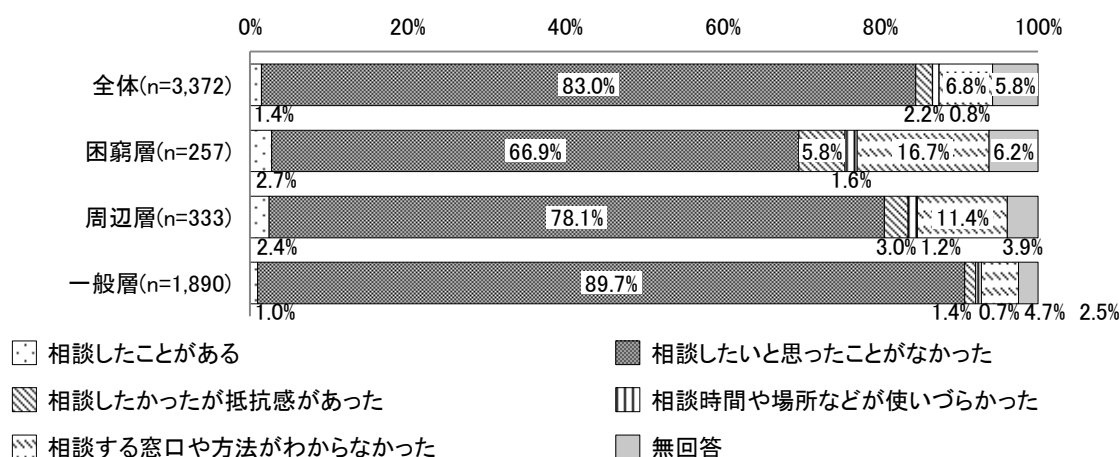
中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が83.0%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.8%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が66.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が78.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が89.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 177 公的機関への相談状況_民生委員・児童委員：単数回答（Q48E）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）

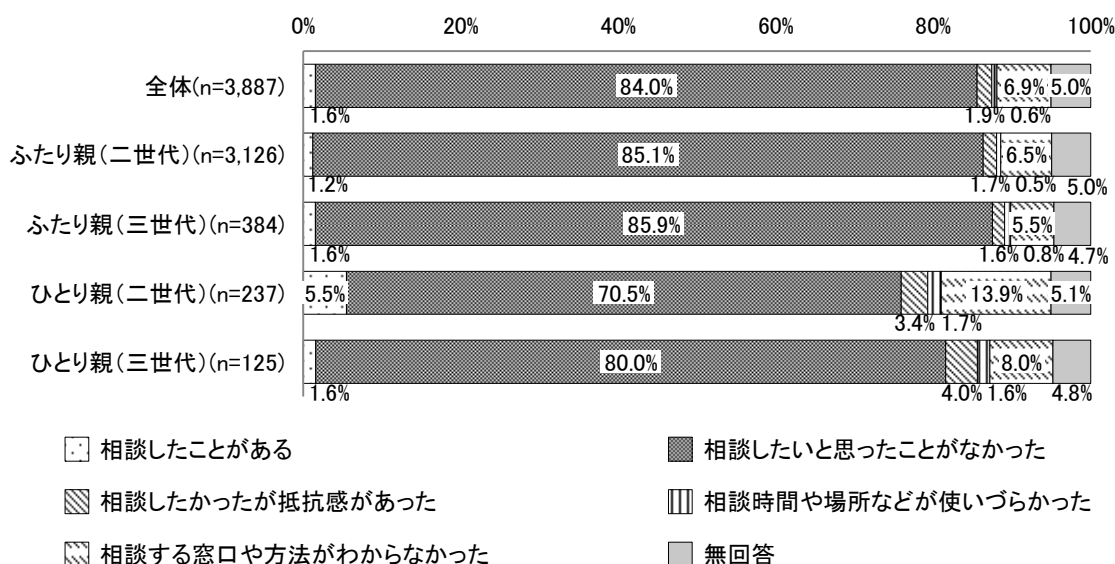


＜中学生＞（ $p<.01$ ）

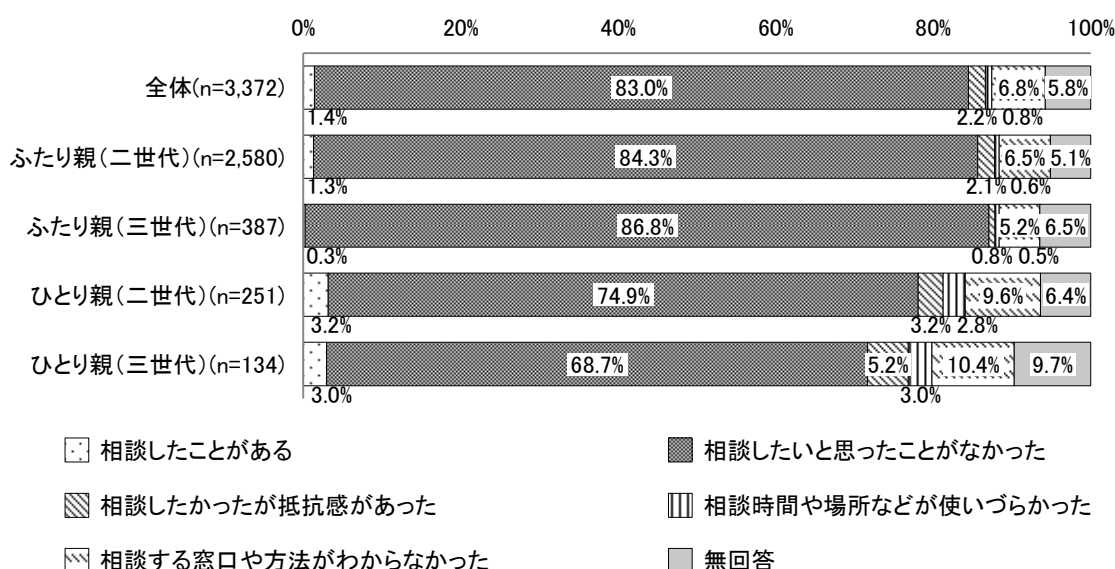


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「相談したいと思ったことがなかった」とする割合が低く、「相談する窓口や方法がわからなかった」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「相談したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。

図表 178 公的機関への相談状況_民生委員・児童委員：単数回答（Q48E）（世帯タイプ別）
 ＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



36) 公的機関への相談状況_保健所

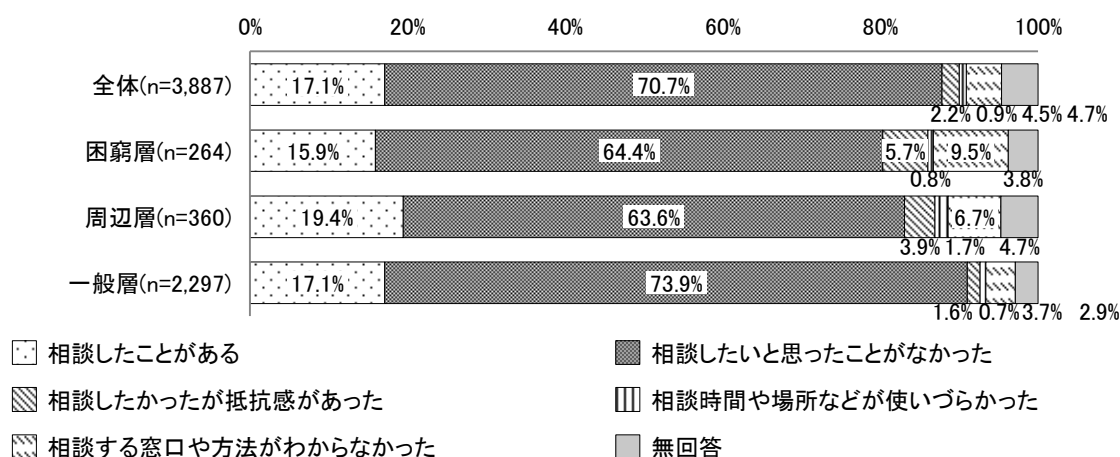
小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 70.7%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が 17.1%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 64.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 63.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 73.9%でもっとも割合が高くなっている。

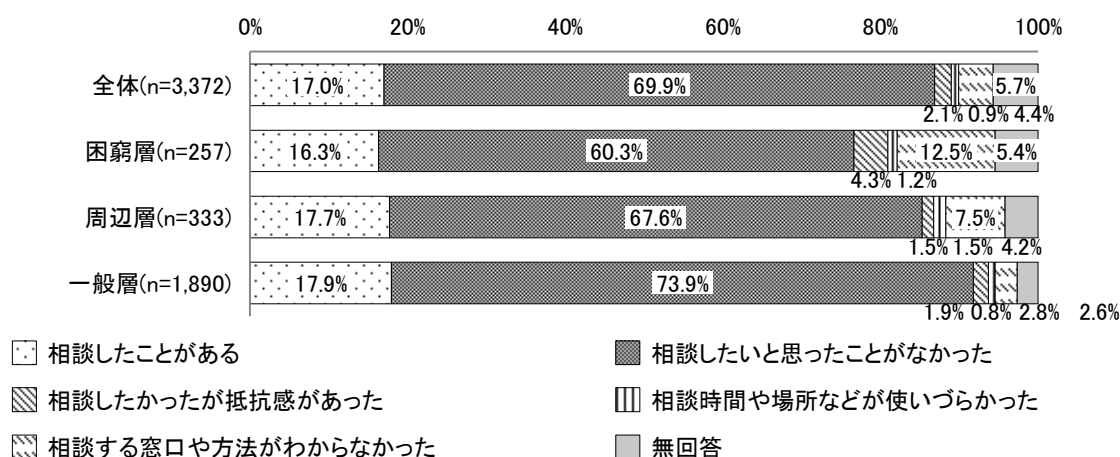
中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 69.9%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が 17.0%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 60.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 67.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 73.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 179 公的機関への相談状況_保健所：単数回答（Q48F）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）

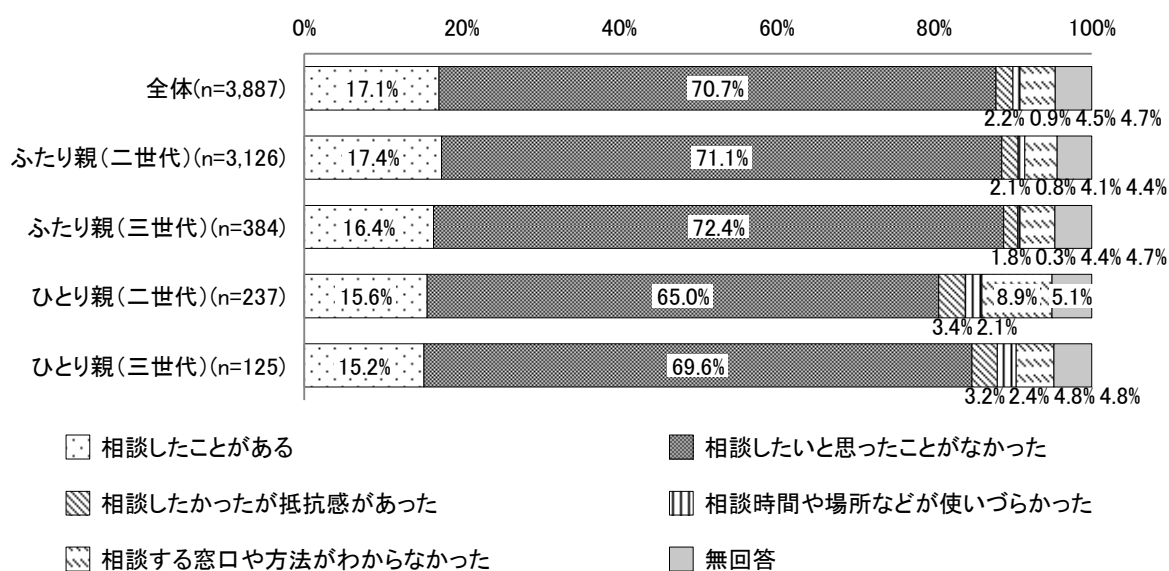


＜中学生＞（ $p<.01$ ）

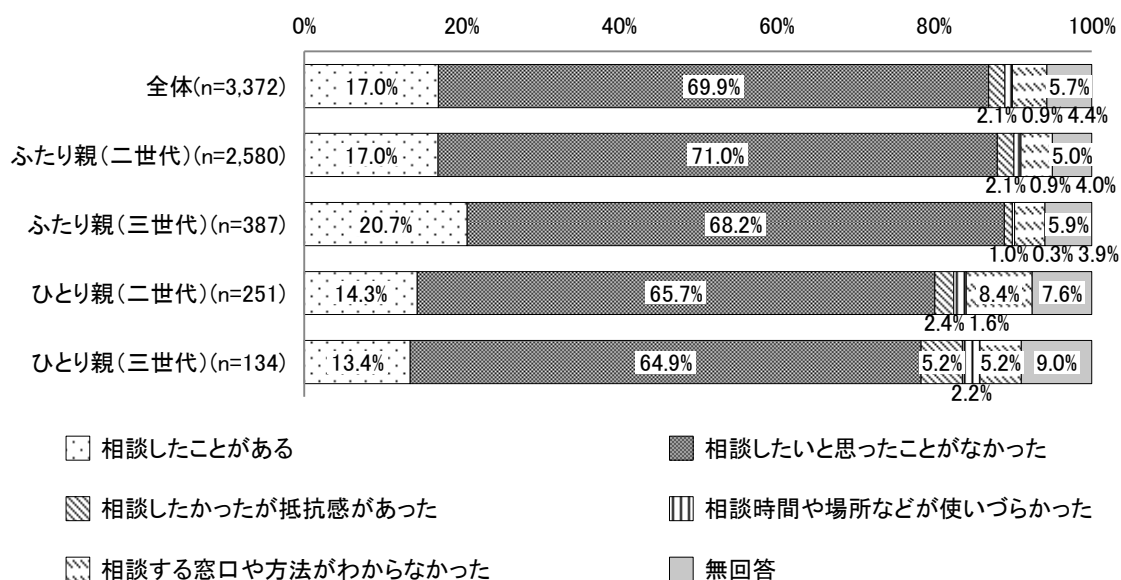


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「相談する窓口や方法がわからなかった」とする割合が高くなっている。

図表 180 公的機関への相談状況_保健所：単数回答（Q48F）（世帯タイプ別）
 ＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



37) 公的機関への相談状況_中核地域生活支援センター

小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が84.9%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.5%となっている。

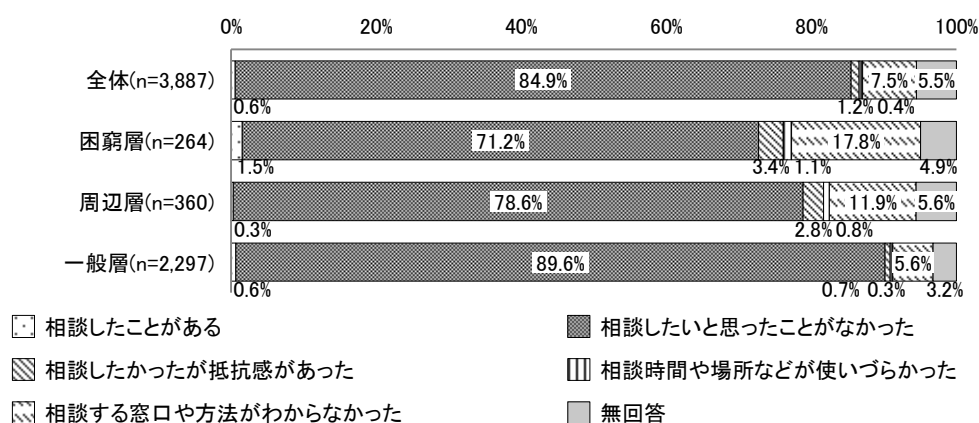
「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が71.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が78.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が89.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が83.7%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.4%となっている。

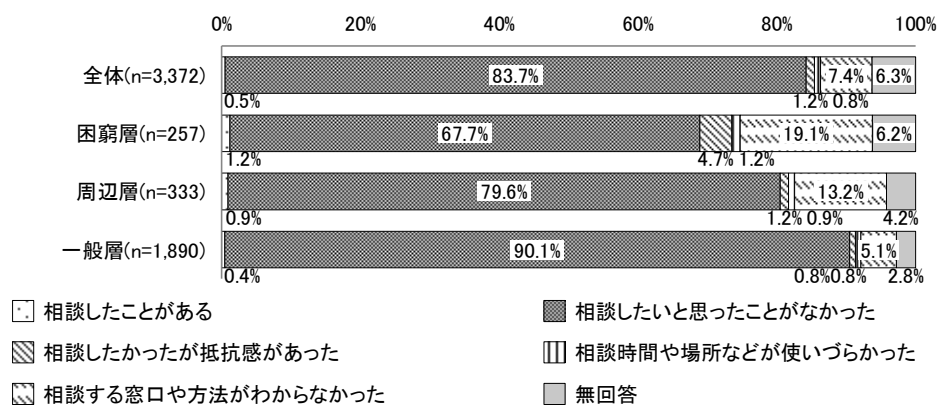
「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が67.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が79.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が90.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 181 公的機関への相談状況_中核地域生活支援センター：単数回答（Q48G）
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



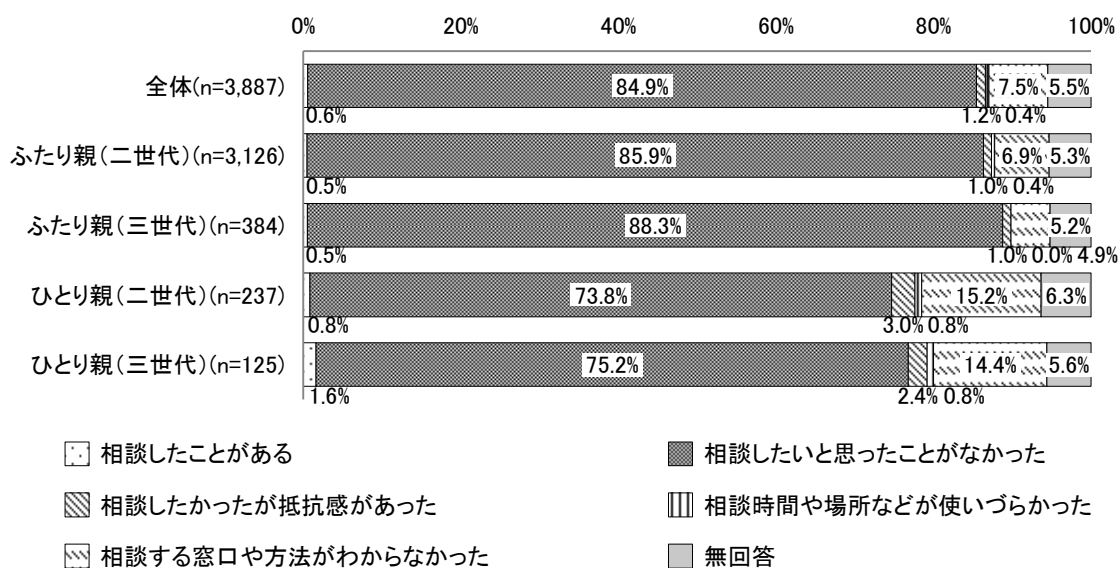
<中学生> (p<.01)



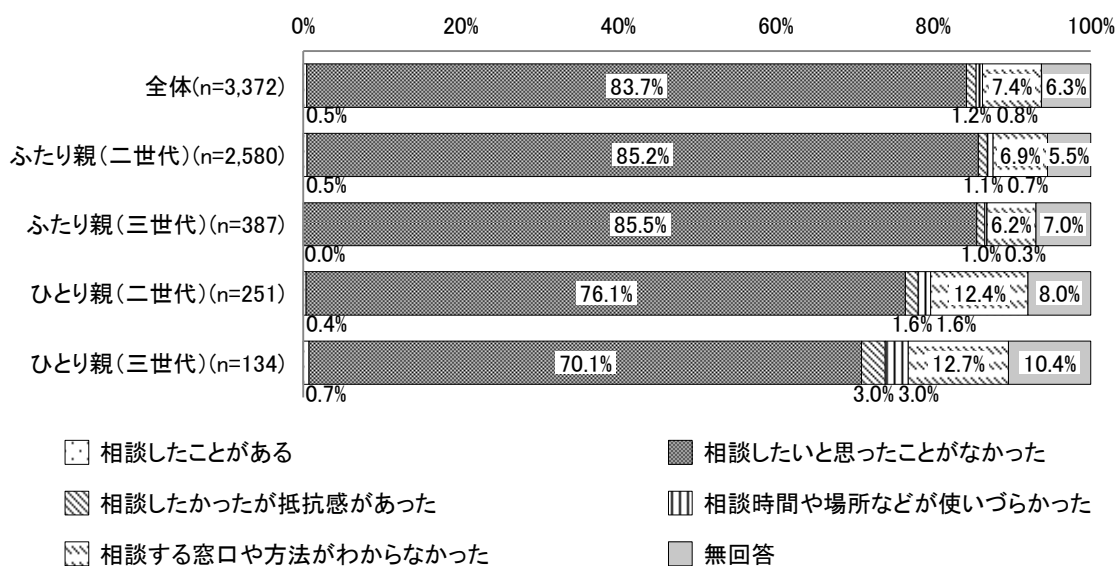
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「相談する窓口や方法がわからなかった」とする割合が高くなっている。

図表 182 公的機関への相談状況_中核地域生活支援センター：単数回答（Q48G）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



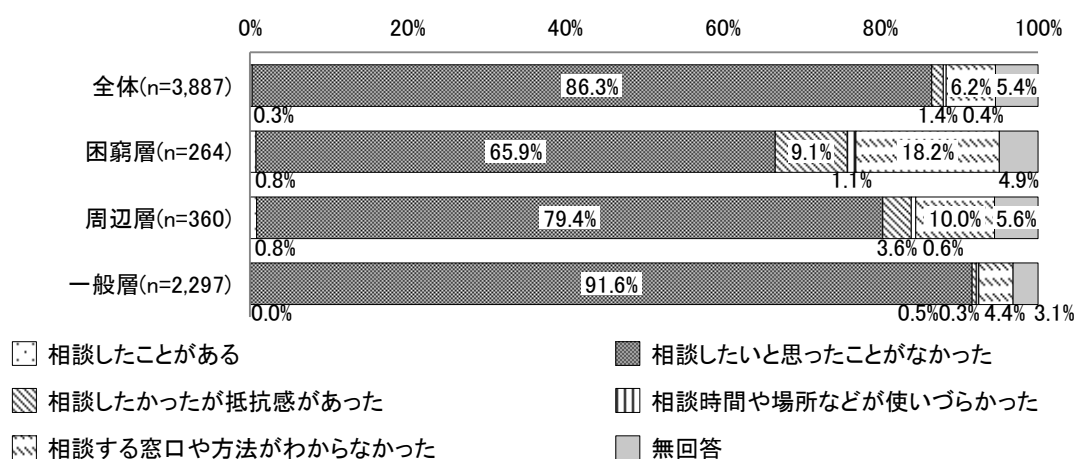
38) 公的機関への相談状況_生活困窮者自立支援制度に基づく相談窓口

小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が86.3%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.2%となっている。「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が65.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が79.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が91.6%でもっとも割合が高くなっている。

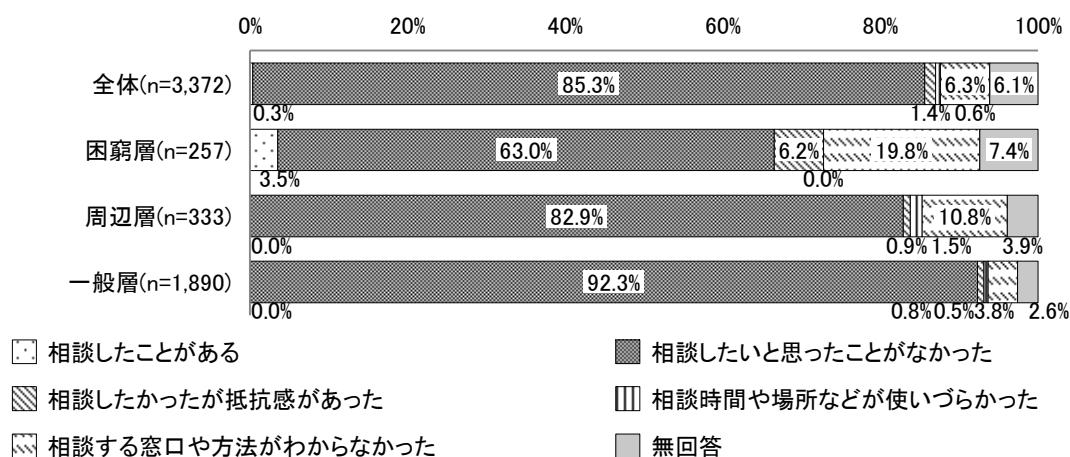
中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が85.3%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.3%となっている。「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が63.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が82.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が92.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 183 公的機関への相談状況_生活困窮者自立支援制度に基づく相談窓口：単数回答
(Q48H) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



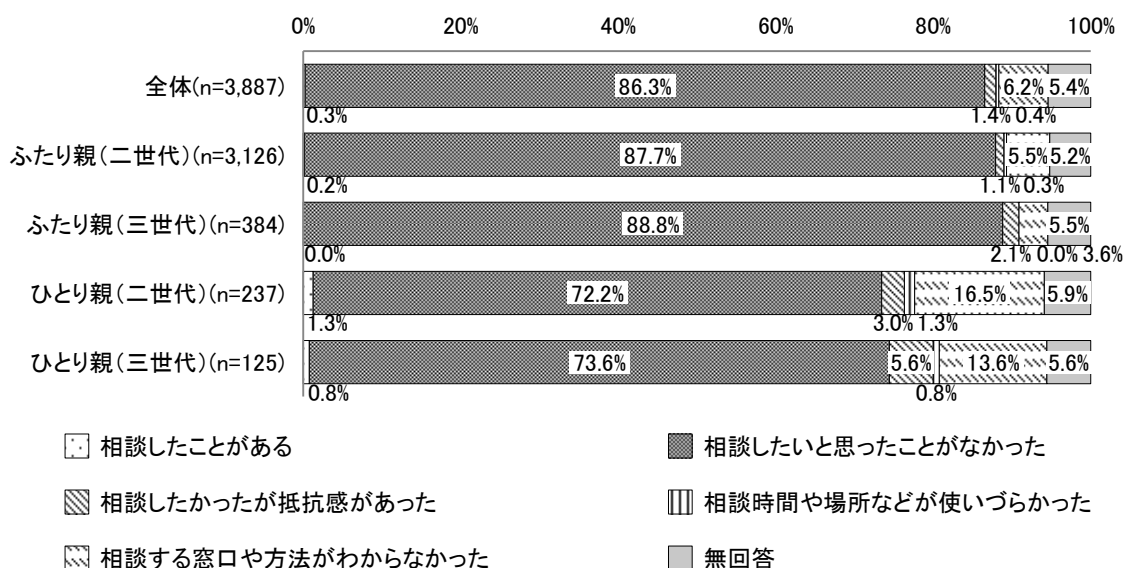
<中学生> (p<.01)



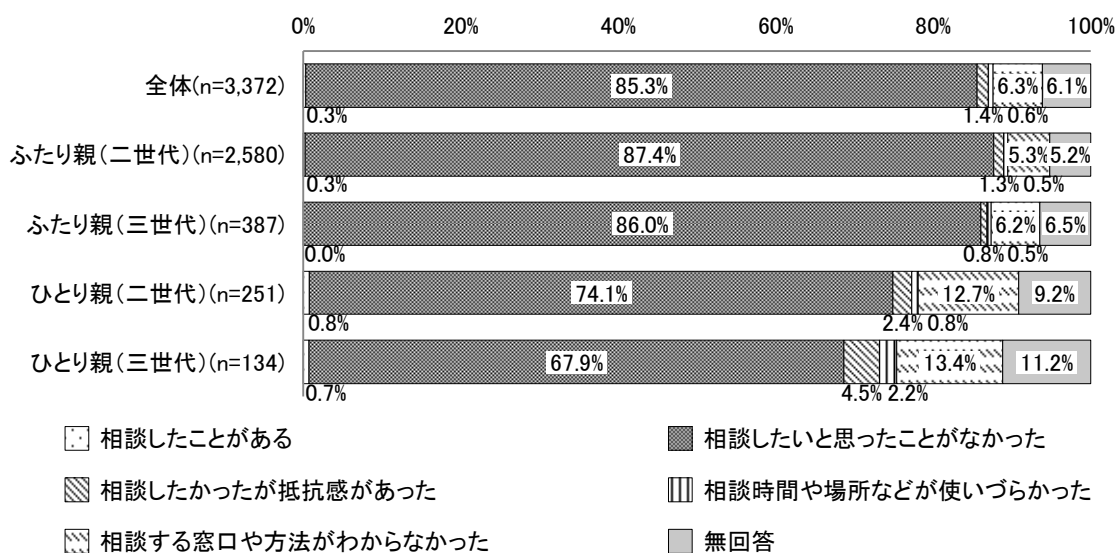
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「相談する窓口や方法がわからなかった」とする割合が高くなっている。

図表 184 公的機関への相談状況_生活困窮者自立支援制度に基づく相談窓口：単数回答
(Q48H)（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



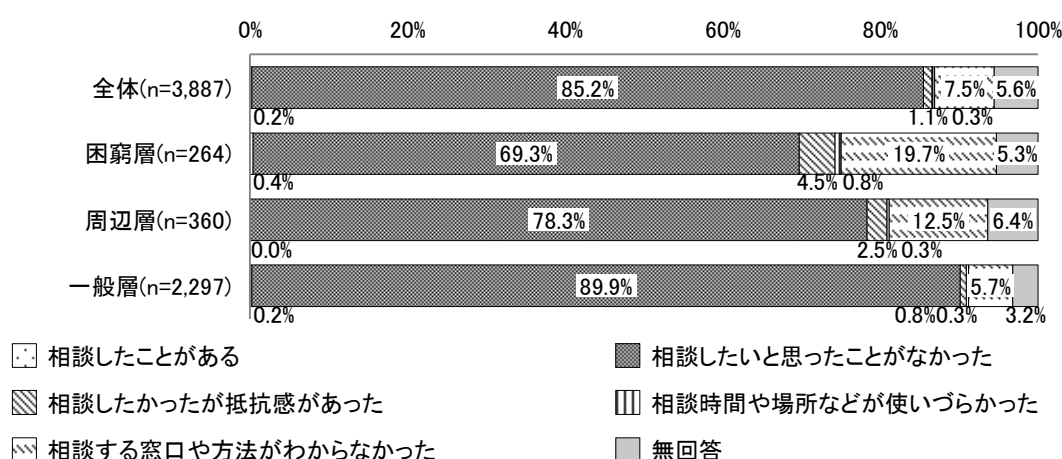
39) 公的機関への相談状況_千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」

小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が85.2%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.5%となっている。「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が69.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が78.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が89.9%でもっとも割合が高くなっている。

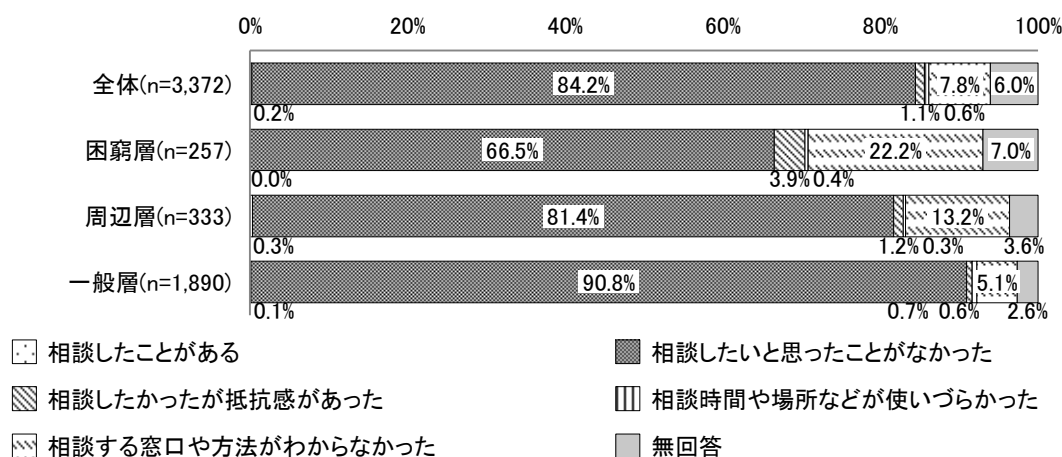
中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が84.2%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.8%となっている。「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が66.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が81.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が90.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 185 公的機関への相談状況_千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」：単数回答（Q48I）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



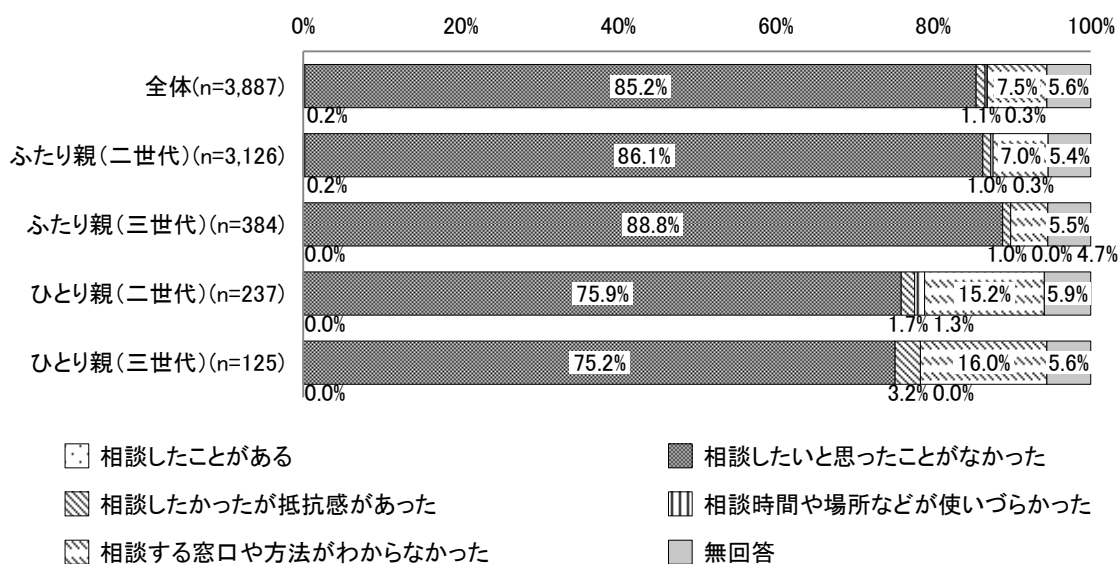
<中学生> (p<.01)



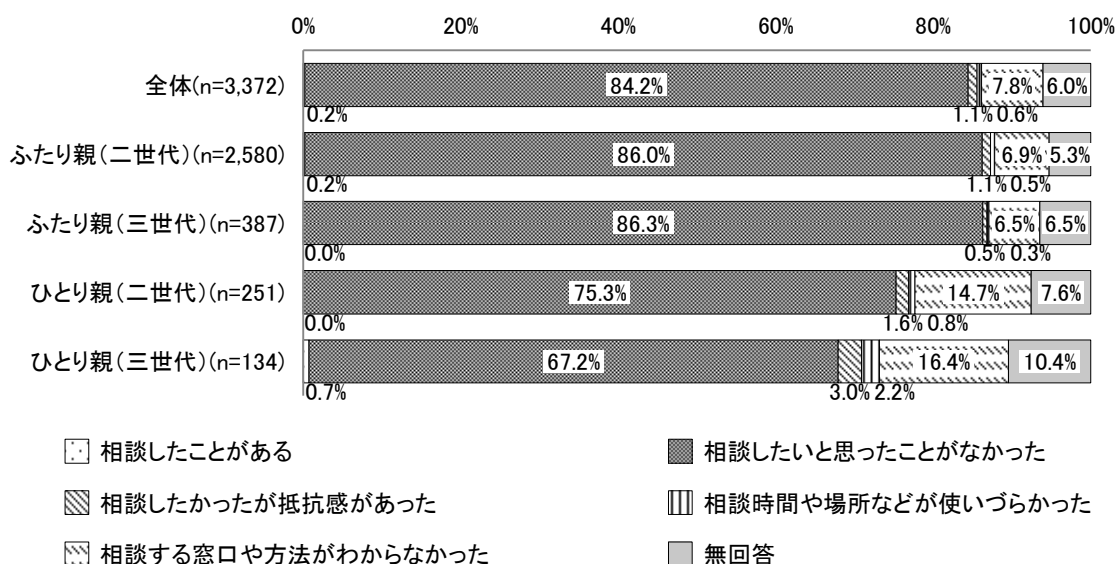
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「相談する窓口や方法がわからなかった」とする割合が高くなっている。

図表 186 公的機関への相談状況_千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」：単数回答（Q48I）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



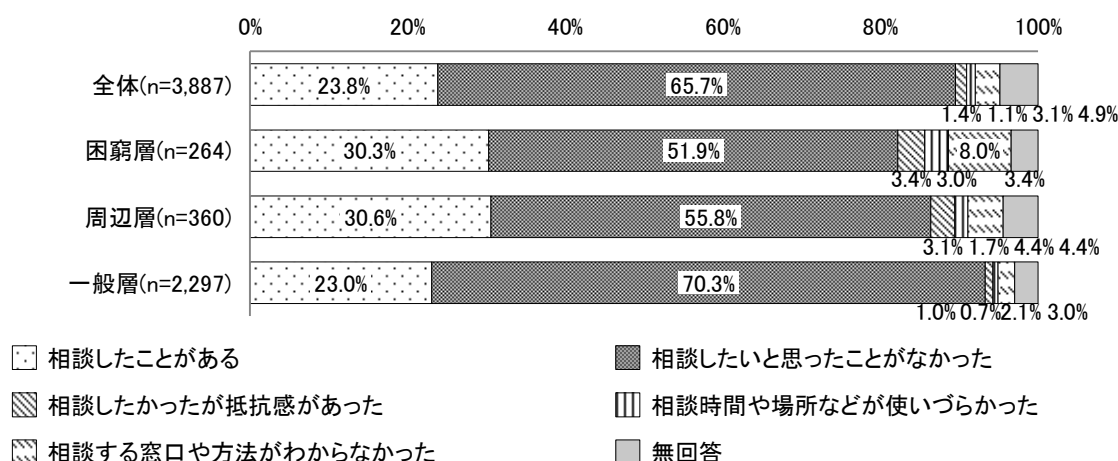
40) 公的機関への相談状況_ハローワーク

小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が65.7%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が23.8%となっている。「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が51.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が55.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が70.3%でもっとも割合が高くなっている。

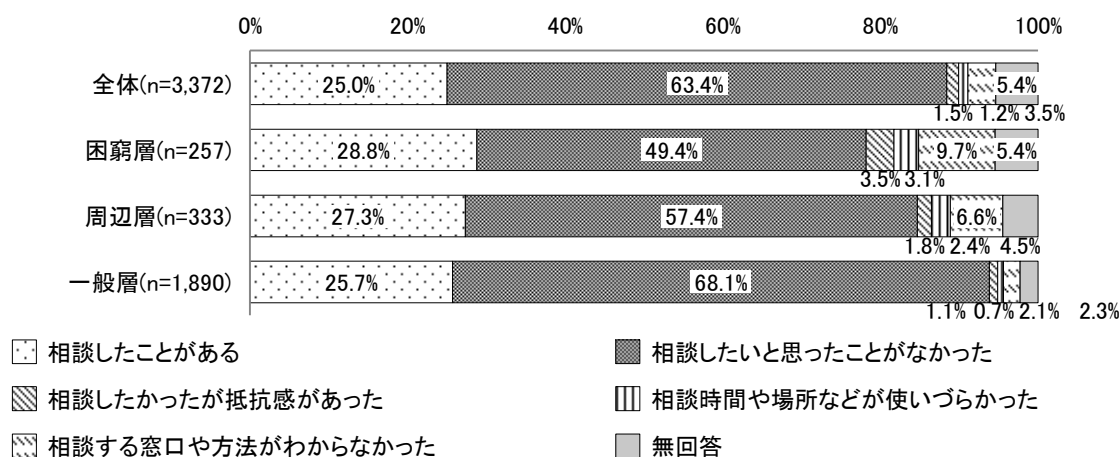
中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が63.4%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が25.0%となっている。「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が49.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が57.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が68.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 187 公的機関への相談状況_ハローワーク：単数回答（Q48J）（生活困難度別）

<小学生>（p<.01）

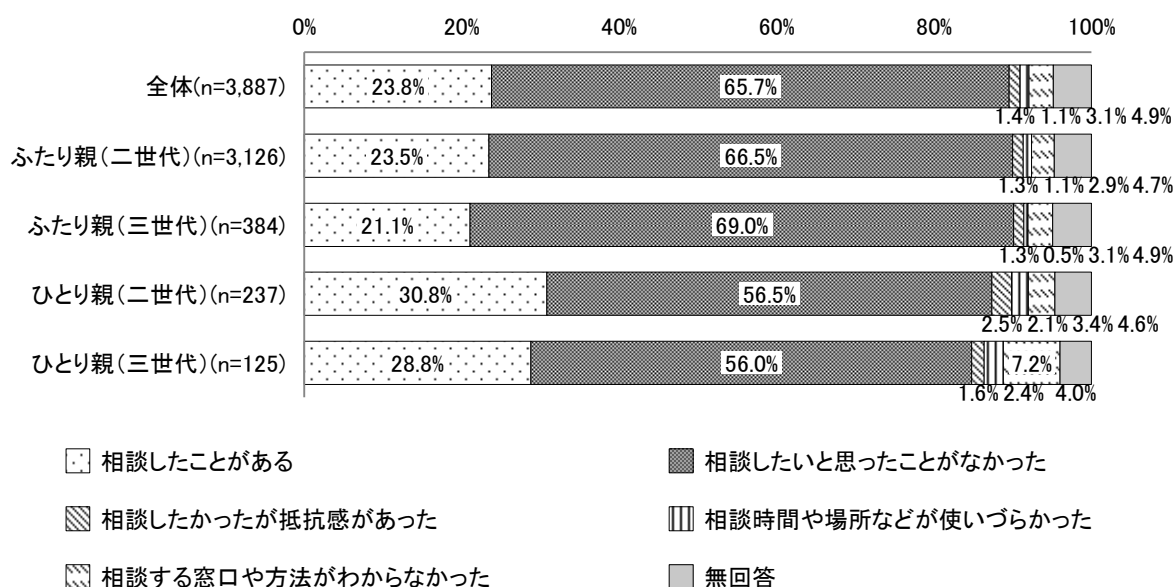


<中学生>（p<.01）

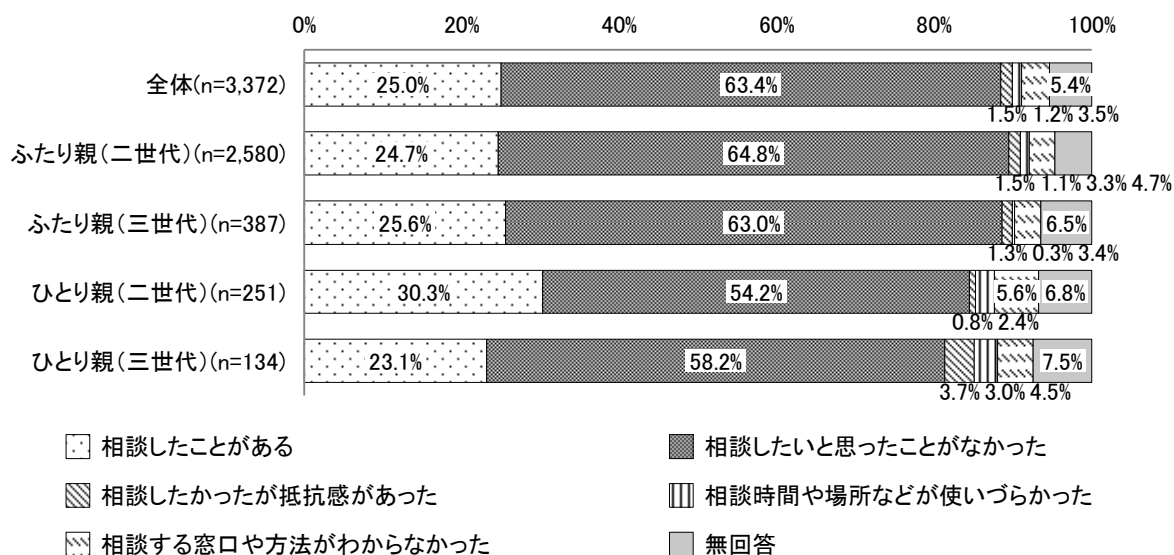


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」において「相談したことがある」とする割合が高くなっている。

図表 188 公的機関への相談状況_ハローワーク：単数回答（Q48J）（世帯タイプ別）
 ＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



41) 公的機関への相談状況_上記以外の公的機関

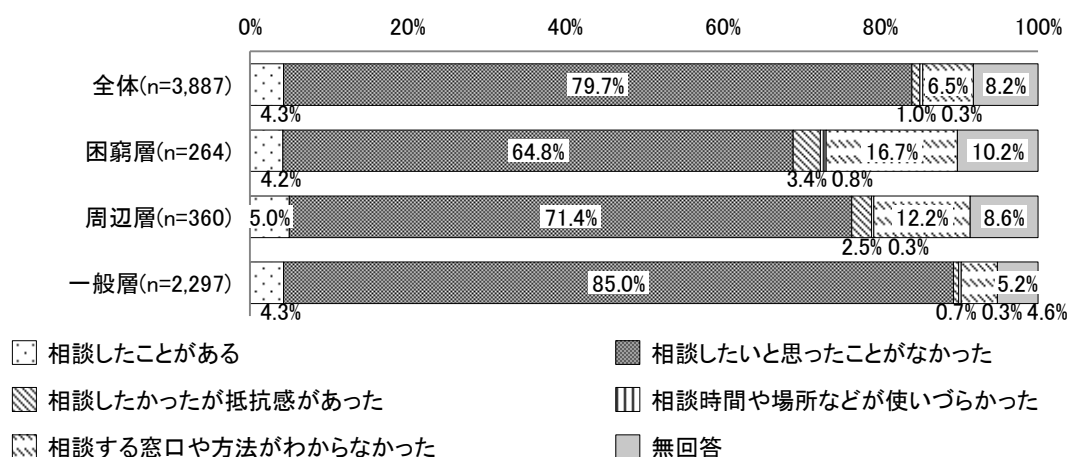
小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 79.7%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が 6.5%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 64.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 71.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 85.0%でもっとも割合が高くなっている。

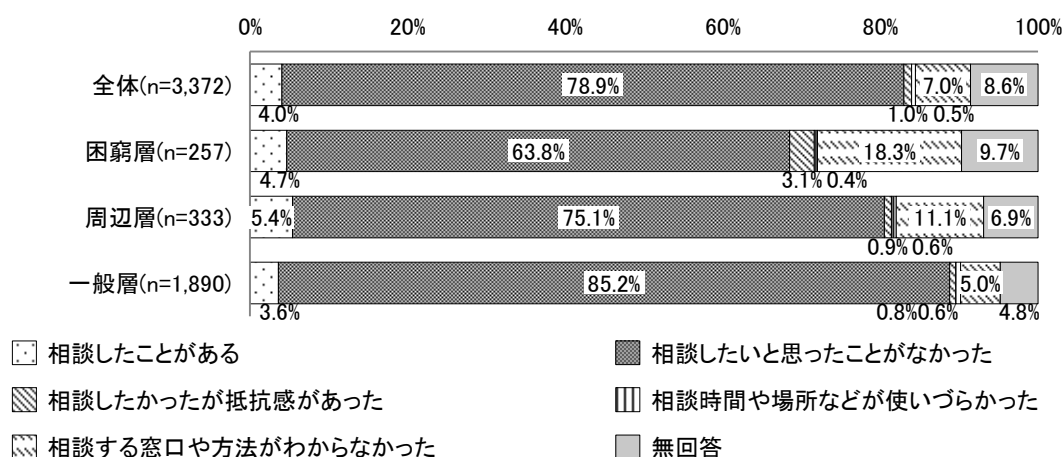
中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 78.9%でもっとも割合が高く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が 7.0%となっている。

「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 63.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 75.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 85.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 189 公的機関への相談状況_上記以外の公的機関：単数回答（Q48K）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）

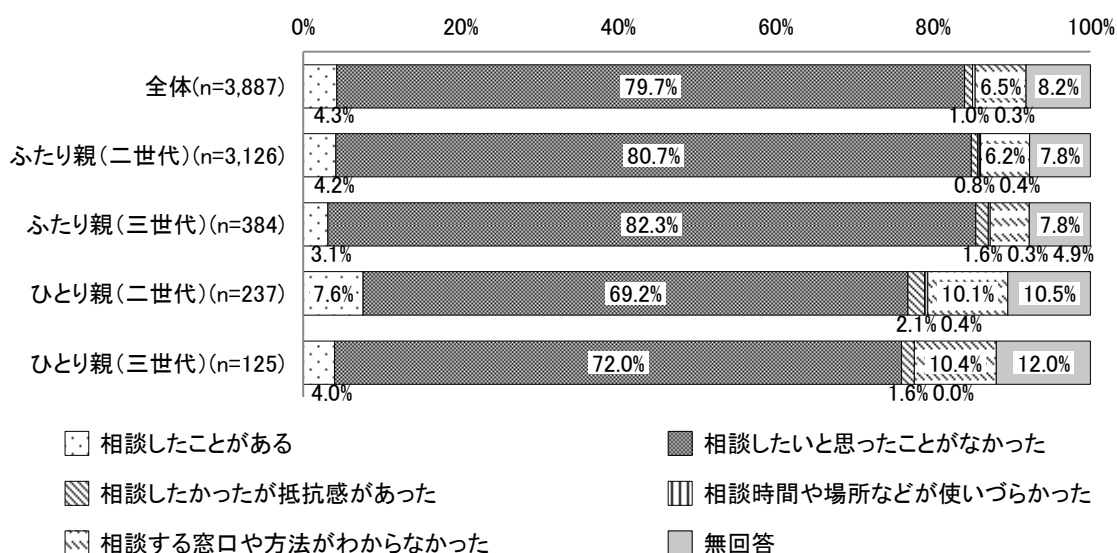


＜中学生＞（ $p<.01$ ）

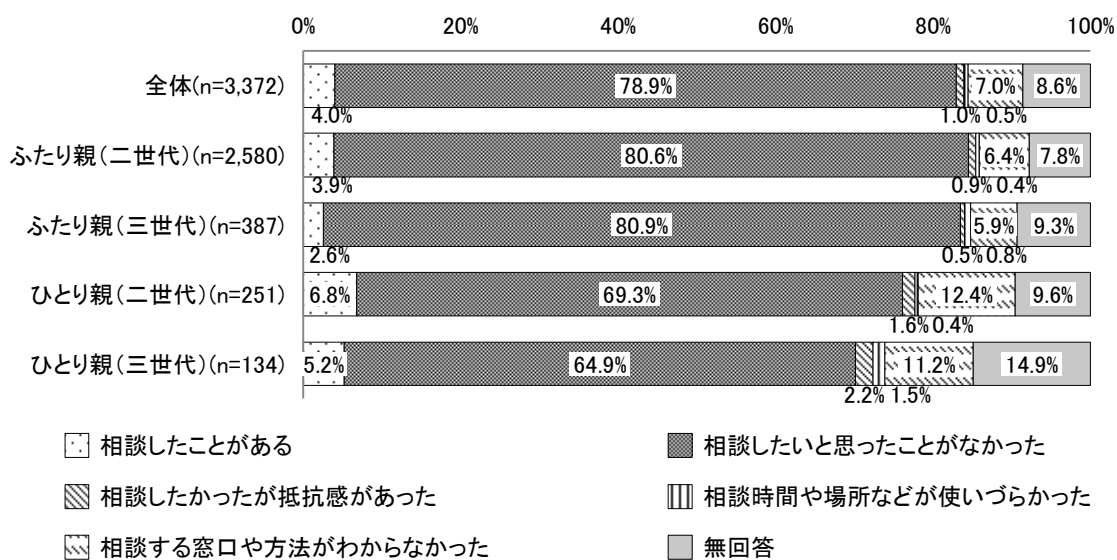


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「相談する窓口や方法がわからなかった」とする割合が高くなっている。

図表 190 公的機関への相談状況_上記以外の公的機関：単数回答（Q48K）（世帯タイプ別）
 ＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



42) こどもに関する支援制度等の情報_現在の受け取り方法

小学生の「全体」では、「学校からのお便り」が73.5%でもっとも割合が高く、次いで「学校からのメール」が56.4%となっている。

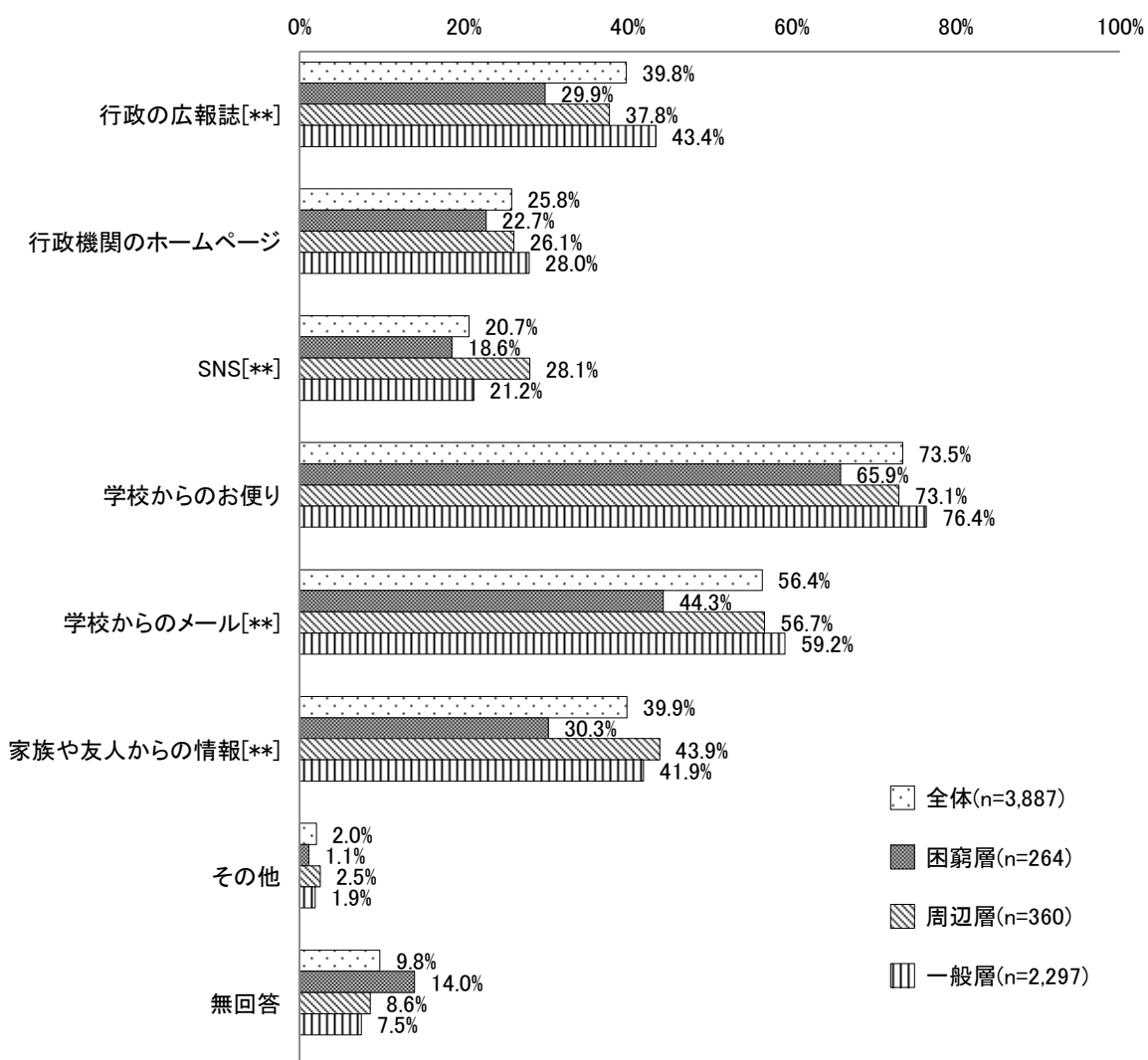
「困窮層」では、「学校からのお便り」が65.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校からのお便り」が73.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校からのお便り」が76.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「学校からのお便り」が72.6%でもっとも割合が高く、次いで「学校からのメール」が59.3%となっている。

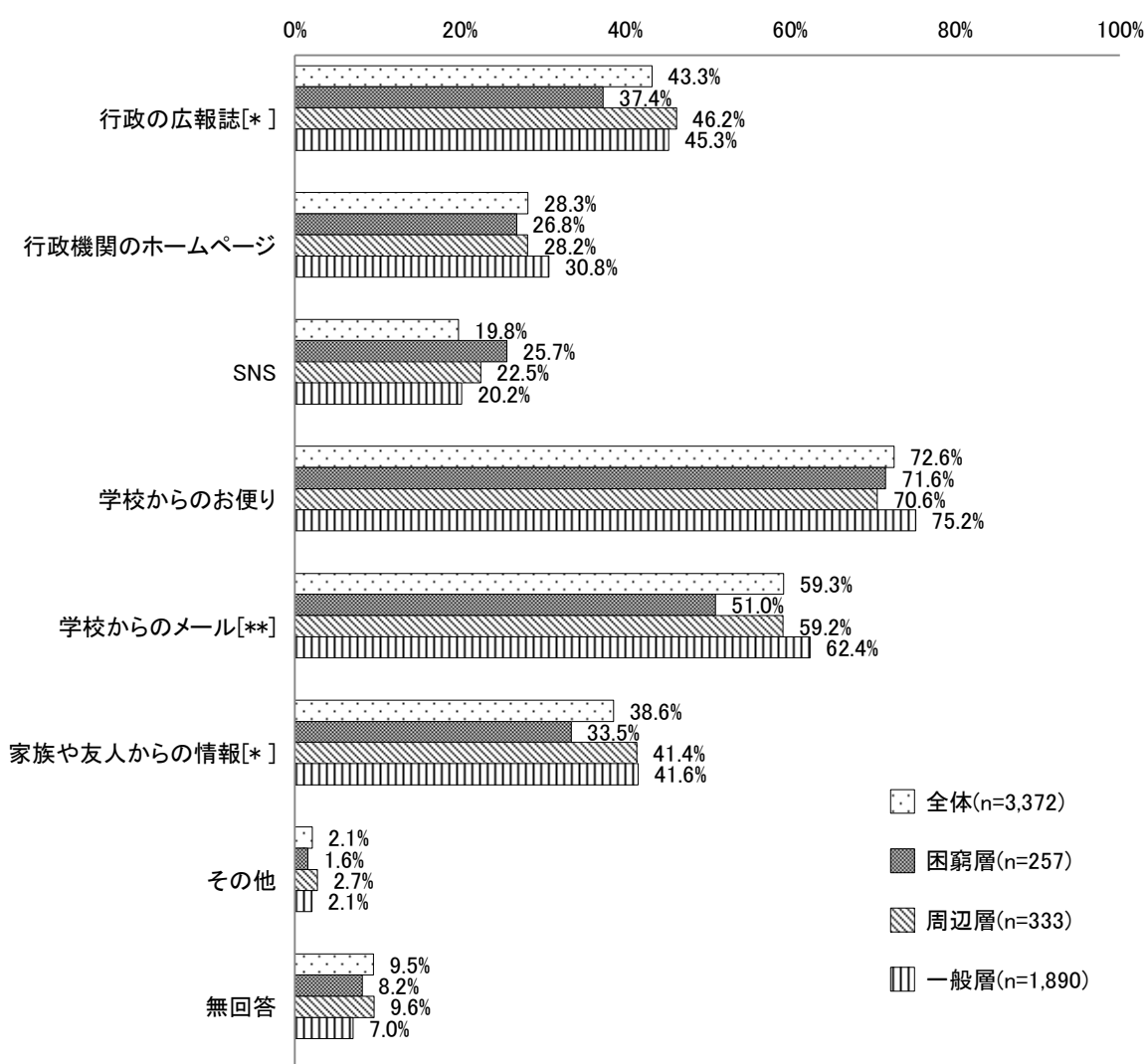
「困窮層」では、「学校からのお便り」が71.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校からのお便り」が70.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校からのお便り」が75.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 191 こどもに関する支援制度等の情報_現在の受け取り方法：複数回答（Q49_1）
（生活困難度別）

<小学生>



<中学生>



43) こどもに関する支援制度等の情報_今後、受け取りたい方法

小学生の「全体」では、「学校からのメール」が49.9%でもっとも割合が高く、次いで「学校からのお便り」が48.7%となっている。

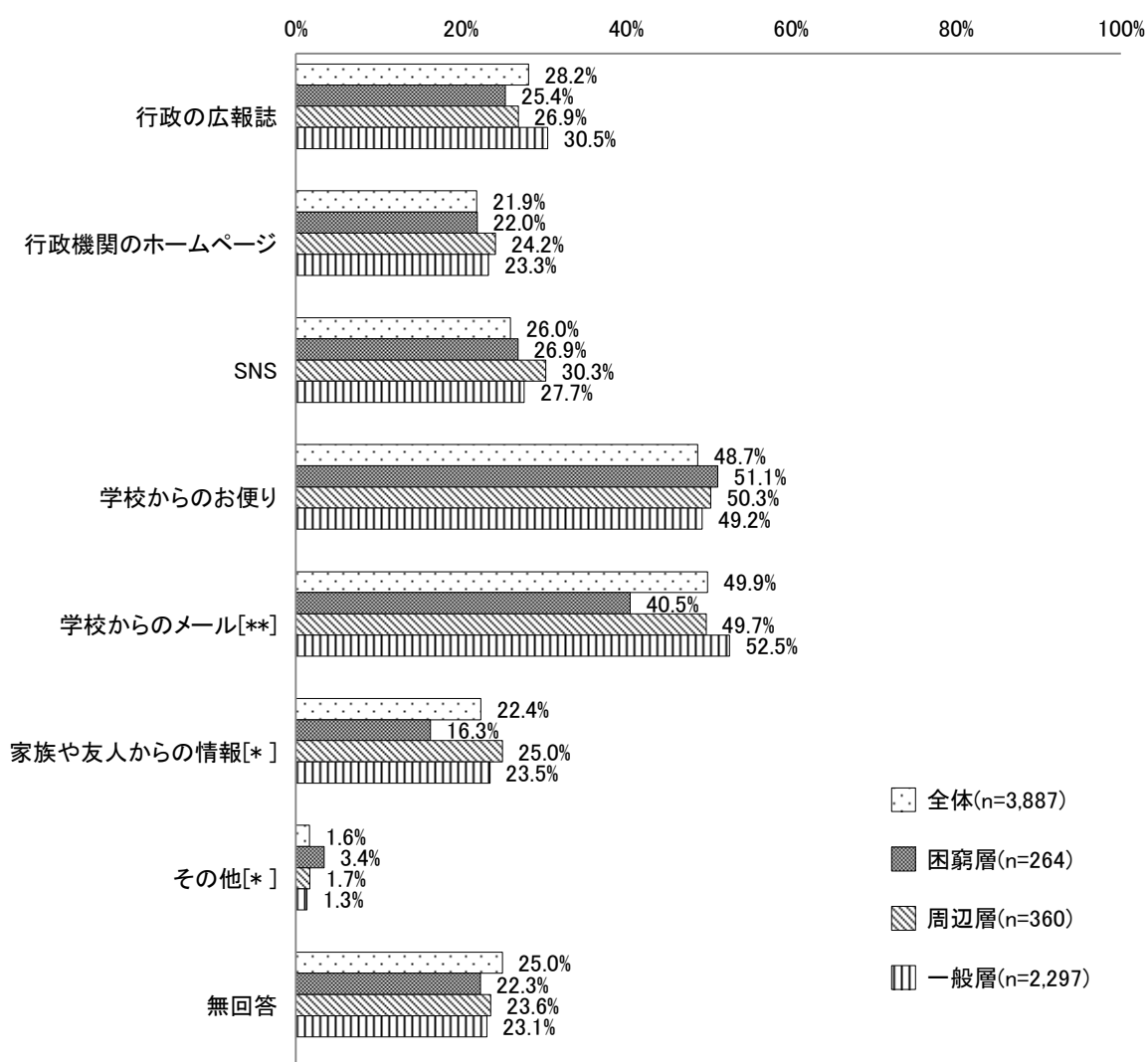
「困窮層」では、「学校からのお便り」が51.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校からのメール」が50.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校からのメール」が52.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「学校からのメール」が47.2%でもっとも割合が高く、次いで「学校からのお便り」が45.8%となっている。

「困窮層」では、「学校からのメール」が49.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校からのメール」が47.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校からのメール」が49.7%でもっとも割合が高くなっている。

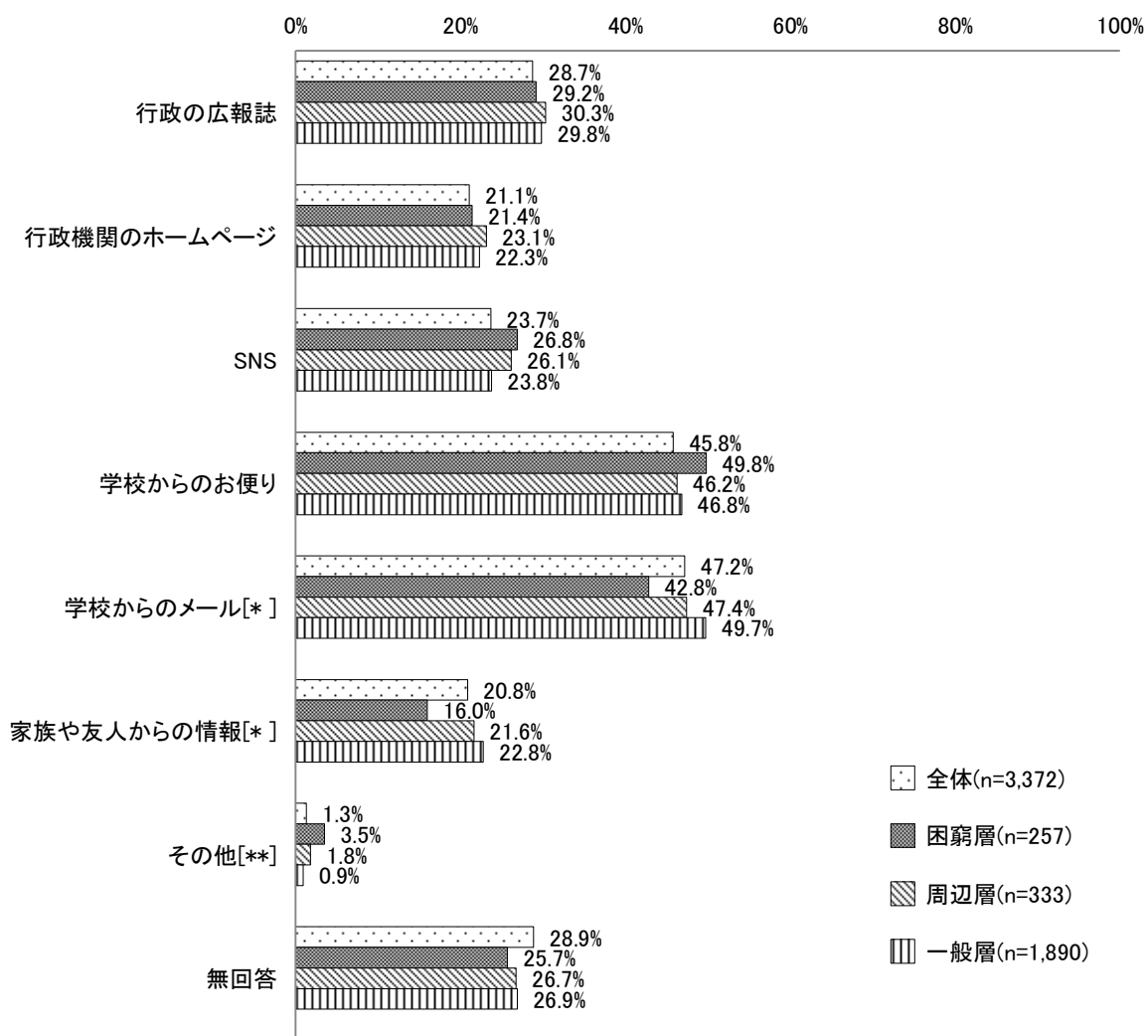
図表 192 こどもに関する支援制度等の情報_今後、受け取りたい方法：複数回答（Q49_2）
（生活困難度別）

<小学生>



<中学生>

図表 193 こどもに関する支援制度等の情報_今後、受け取りたい方法：複数回答（Q49_2）



2. こどもアンケート集計結果

(1) 学校・勉強について

1) 学校生活_算数/数学の授業

小学生の「全体」では、「楽しみ」が 30.1%でもっとも割合が高く、次いで「少し楽しみ」が 29.3%となっている。

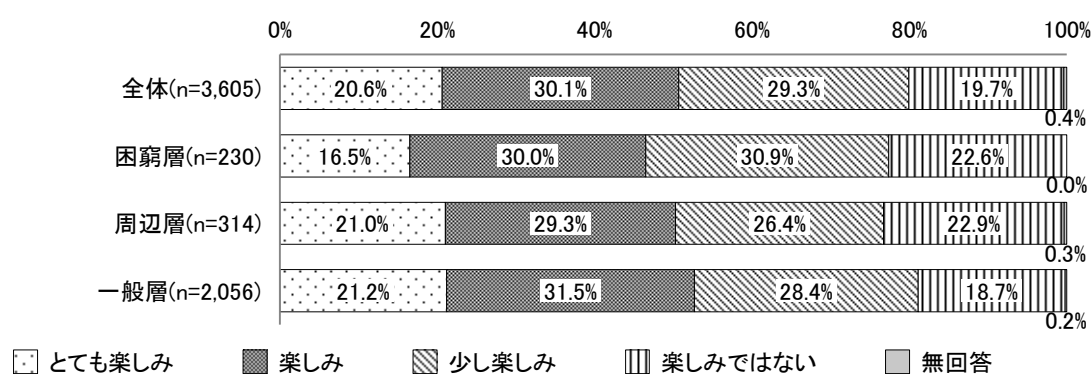
「困窮層」では、「少し楽しみ」が 30.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 29.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 31.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「少し楽しみ」が 30.1%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 28.9%となっている。

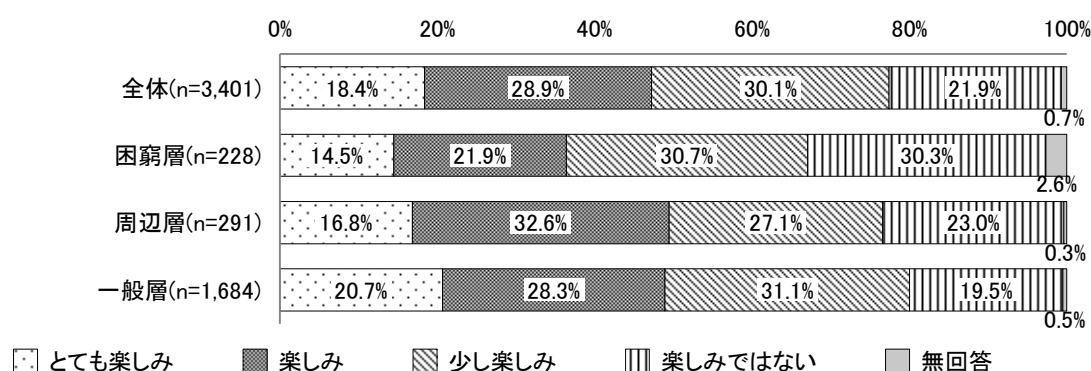
「困窮層」では、「少し楽しみ」が 30.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 32.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「少し楽しみ」が 31.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 194 学校生活_算数/数学の授業：単数回答（Q3A）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.01$ ）



2) 学校生活_国語の授業

小学生の「全体」では、「楽しみ」が 36.1%でもっとも割合が高く、次いで「少し楽しみ」が 32.7%となっている。

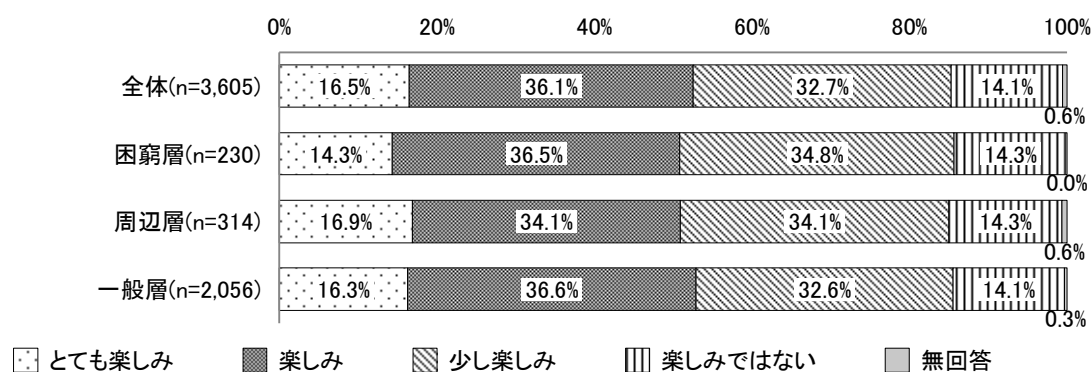
「困窮層」では、「楽しみ」が 36.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」「少し楽しみ」が 34.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 36.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が 35.2%でもっとも割合が高く、次いで「少し楽しみ」が 31.7%となっている。

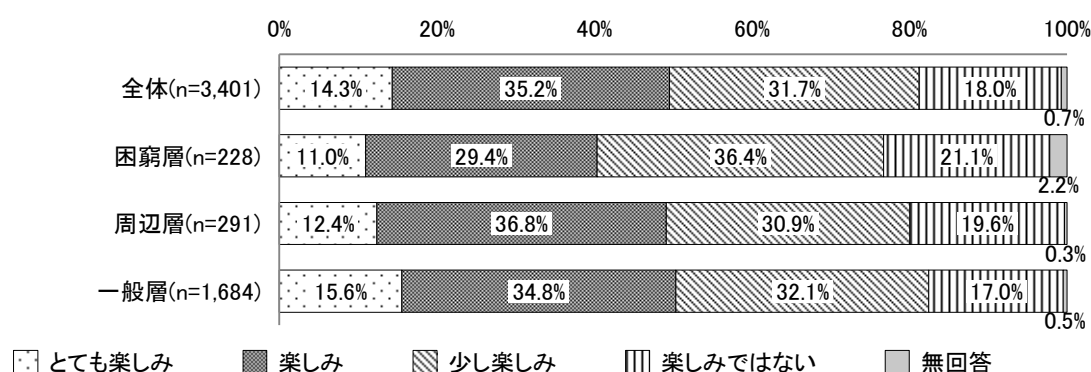
「困窮層」では、「少し楽しみ」が 36.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 36.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 34.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 195 学校生活_国語の授業：単数回答（Q3B）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



3) 学校生活_理科の授業

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 38.4%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 35.9%となっている。

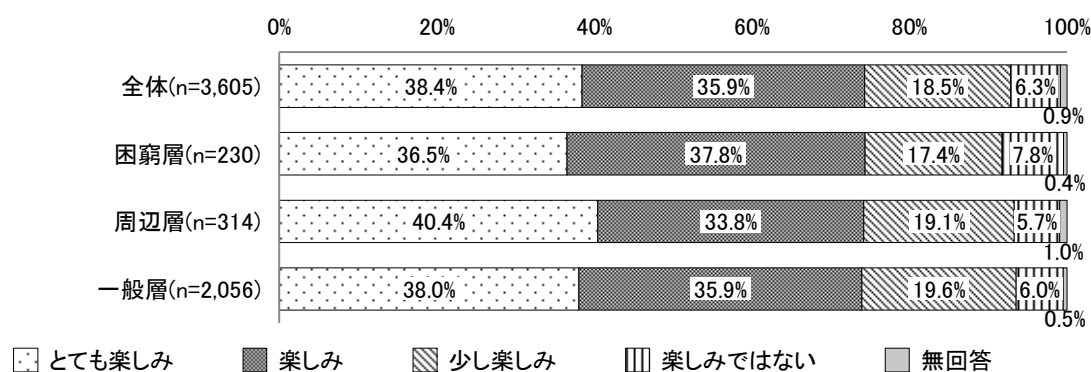
「困窮層」では、「楽しみ」が 37.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 40.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 38.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が 36.4%でもっとも割合が高く、次いで「少し楽しみ」が 26.9%となっている。

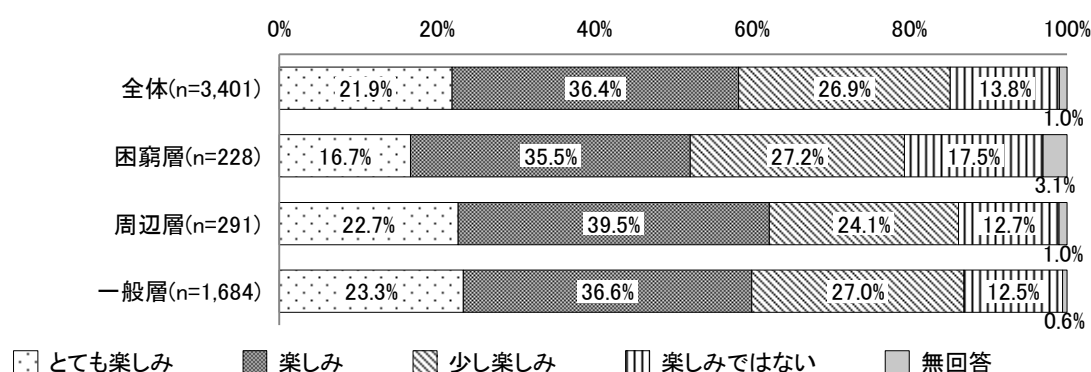
「困窮層」では、「楽しみ」が 35.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 39.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 36.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 196 学校生活_理科の授業：単数回答（Q3C）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



4) 学校生活_社会の授業

小学生の「全体」では、「楽しみ」が31.7%でもっとも割合が高く、次いで「とても楽しみ」が29.8%となっている。

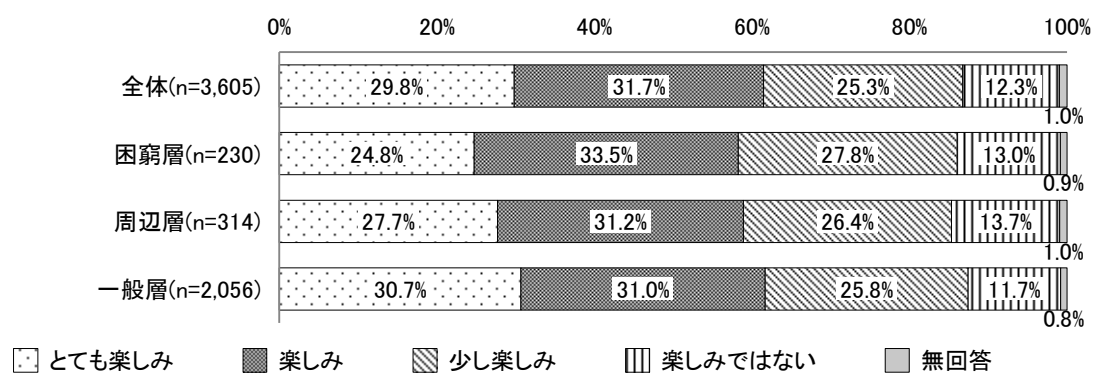
「困窮層」では、「楽しみ」が33.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が31.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が31.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が31.6%でもっとも割合が高く、次いで「少し楽しみ」が27.3%となっている。

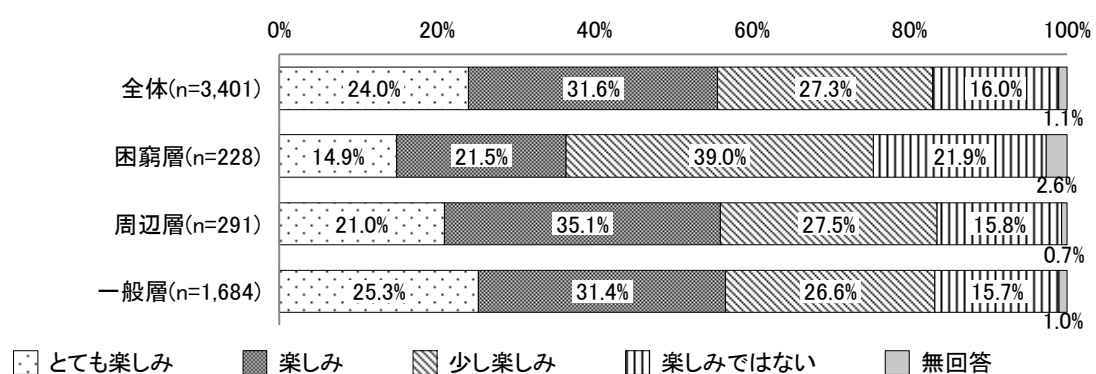
「困窮層」では、「少し楽しみ」が39.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が35.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が31.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 197 学校生活_社会の授業：単数回答（Q3D）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.01$ ）



5) 学校生活_音楽の授業

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 39.3%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 31.7%となっている。

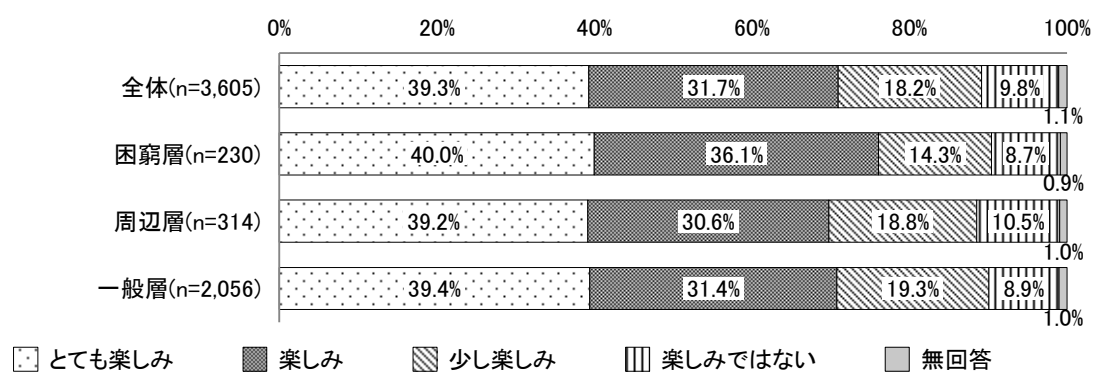
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 40.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 39.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 39.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が 31.8%でもっとも割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 28.1%となっている。

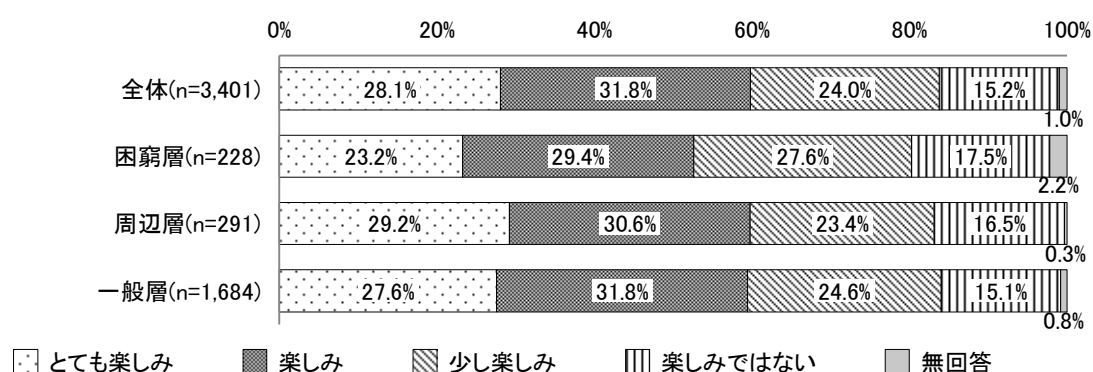
「困窮層」では、「楽しみ」が 29.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 30.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 31.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 198 学校生活_音楽の授業：単数回答（Q3E）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



6) 学校生活_図工・美術の授業

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 62.6%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 23.0%となっている。

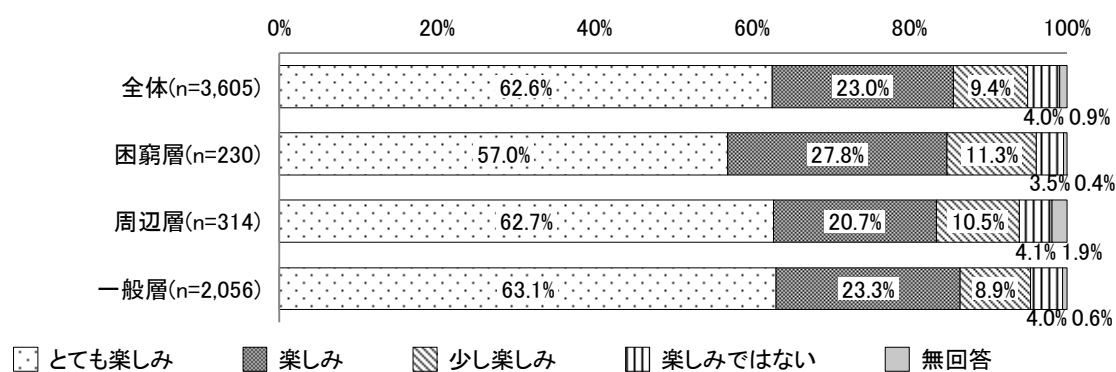
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 57.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 62.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 63.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が 32.7%でもっとも割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 31.7%となっている。

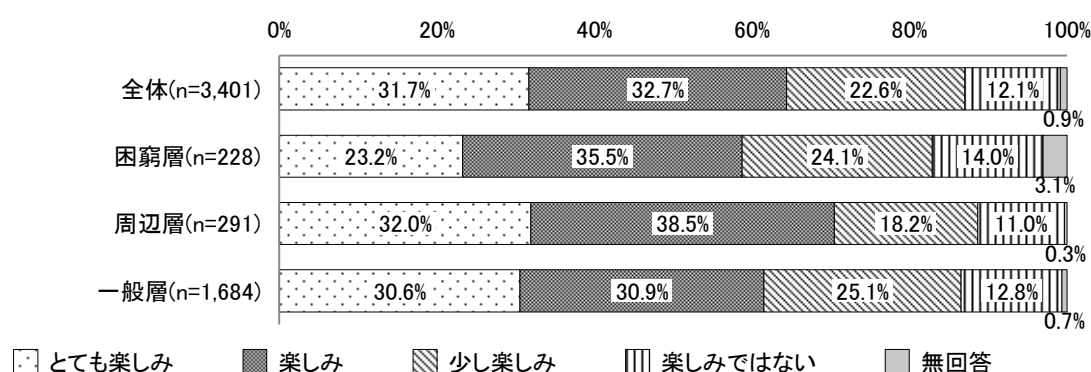
「困窮層」では、「楽しみ」が 35.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 38.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 30.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 199 学校生活_図工・美術の授業：単数回答（Q3F）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（p<.05）



7) 学校生活_技術・家庭科の授業

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 64.9%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 21.7%となっている。

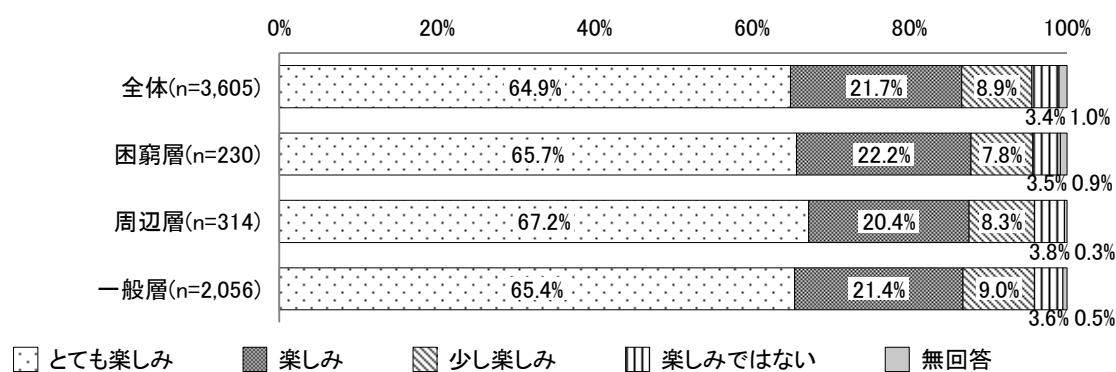
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 65.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 67.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 65.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が 34.5%でもっとも割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 29.4%となっている。

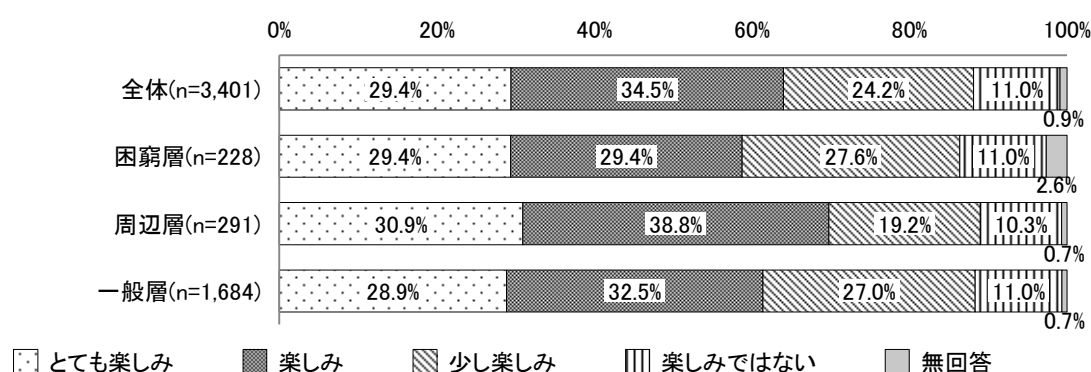
「困窮層」では、「とても楽しみ」「楽しみ」が 29.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 38.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 32.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 200 学校生活_技術・家庭科の授業：単数回答（Q3G）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



8) 学校生活_体育の授業

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 62.0%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 19.6%となっている。

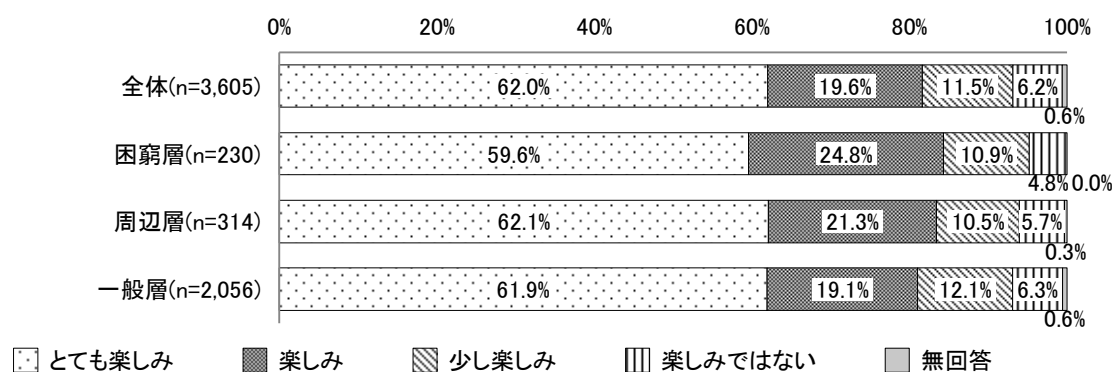
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 59.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 62.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 61.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 41.9%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 25.9%となっている。

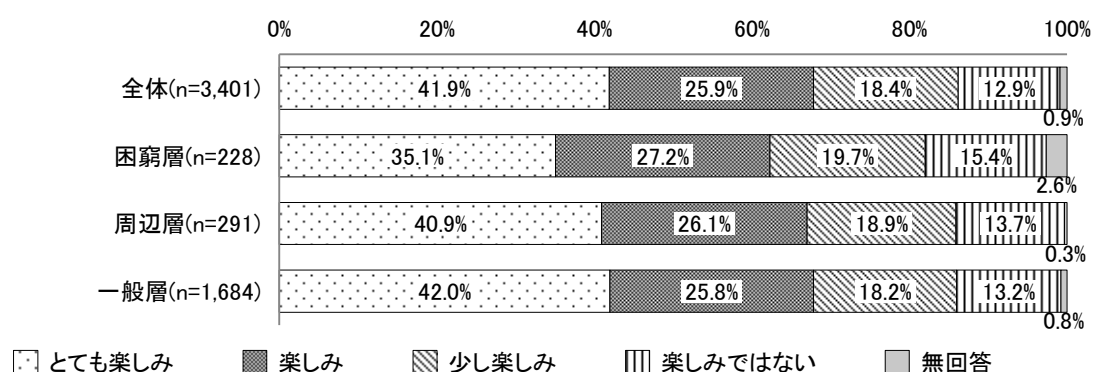
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 35.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 40.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 42.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 201 学校生活_体育の授業：単数回答（Q3H）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



9) 学校生活_英語の授業

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 35.5%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 34.5%となっている。

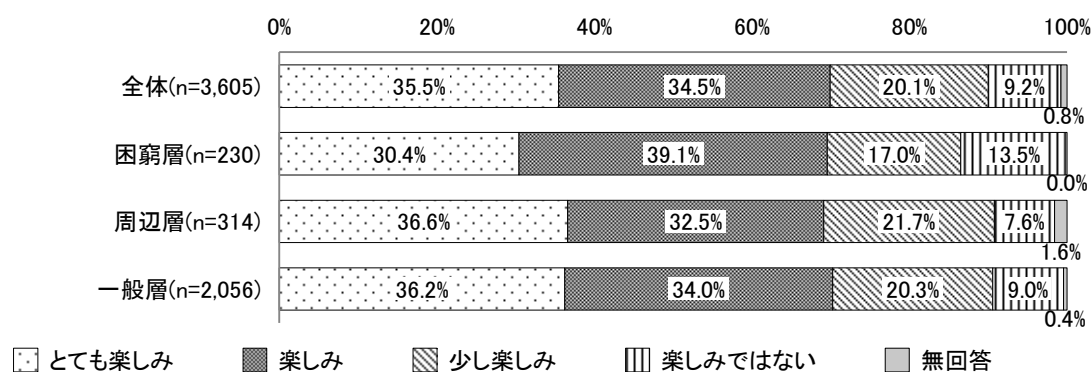
「困窮層」では、「楽しみ」が 39.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 36.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 36.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が 31.2%でもっとも割合が高く、次いで「少し楽しみ」が 29.9%となっている。

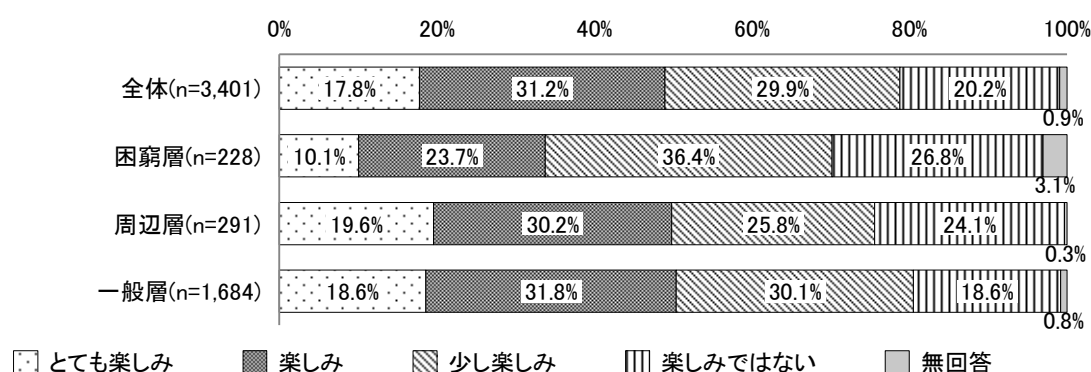
「困窮層」では、「少し楽しみ」が 36.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 30.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 31.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 202 学校生活_英語の授業：単数回答（Q3I）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（p<.01）



10) 学校生活_先生に会うこと

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 43.7%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 32.5%となっている。

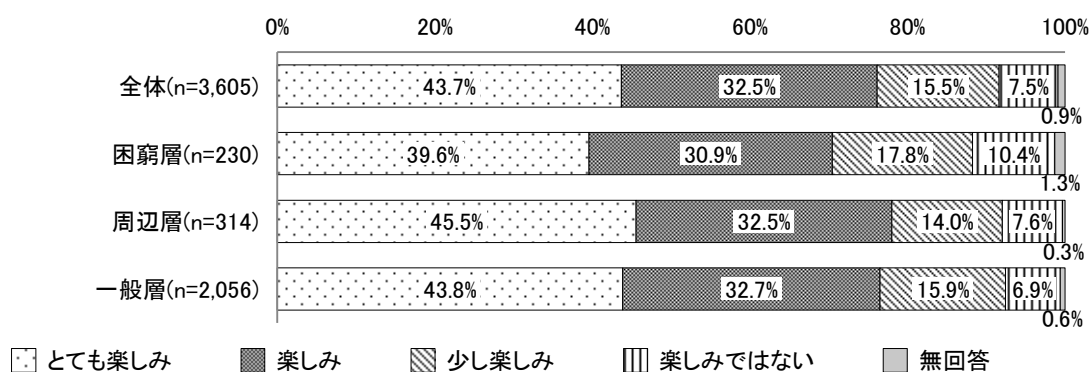
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 39.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 45.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 43.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「楽しみ」が 35.7%でもっとも割合が高く、次いで「少し楽しみ」が 28.8%となっている。

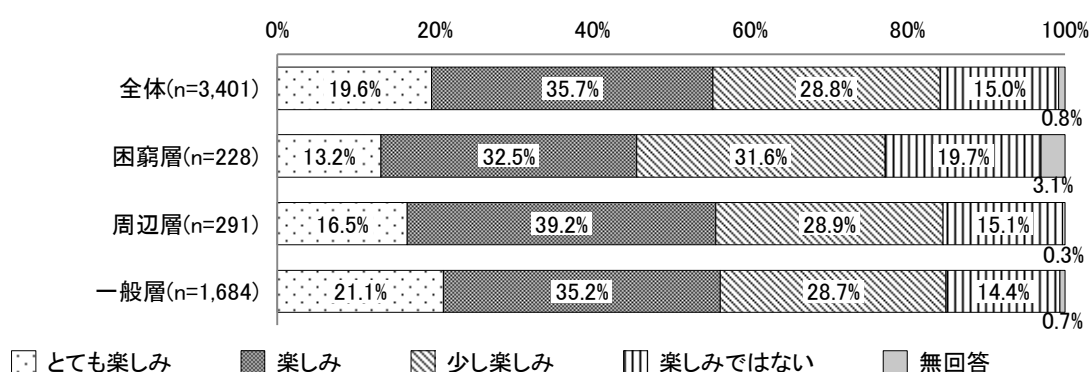
「困窮層」では、「楽しみ」が 32.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「楽しみ」が 39.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「楽しみ」が 35.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 203 学校生活_先生に会うこと：単数回答（Q3J）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.05$ ）



11) 学校生活_友だちに会うこと

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 80.2%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 14.3%となっている。

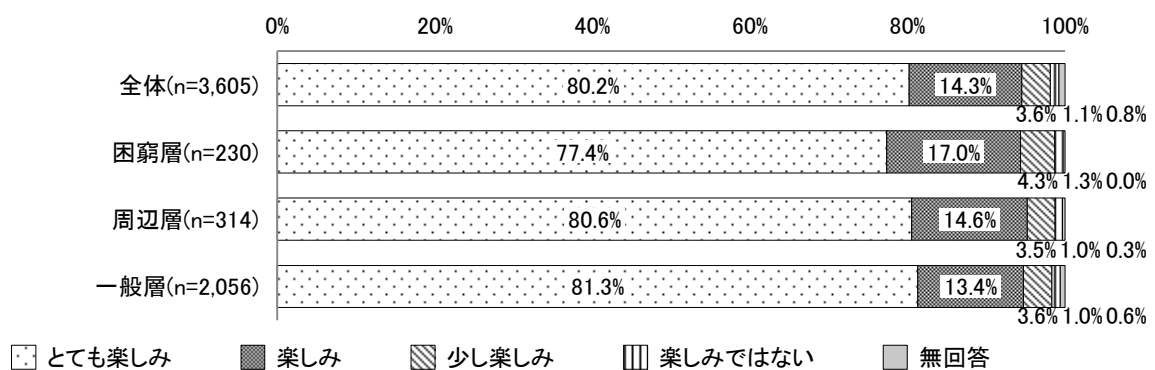
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 77.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 80.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 81.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 69.2%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 21.2%となっている。

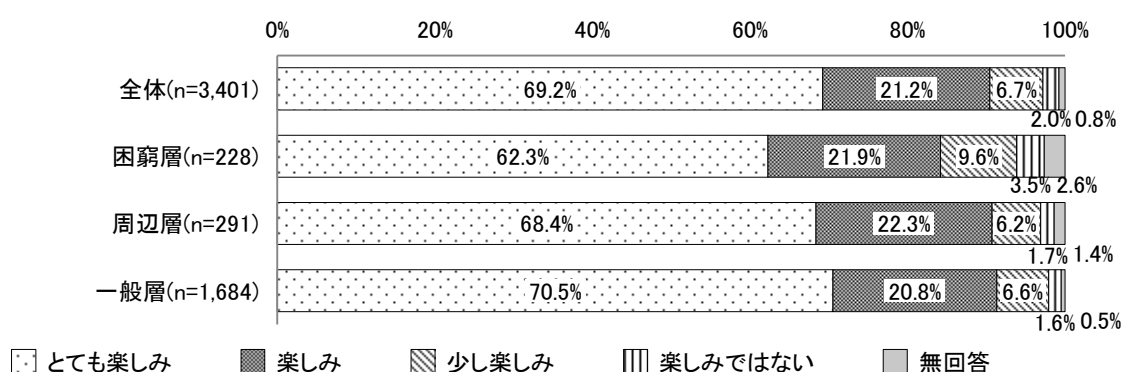
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 62.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 68.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 70.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 204 学校生活_友だちに会うこと：単数回答（Q3K）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



12) 学校生活_学校の部活動・クラブ活動

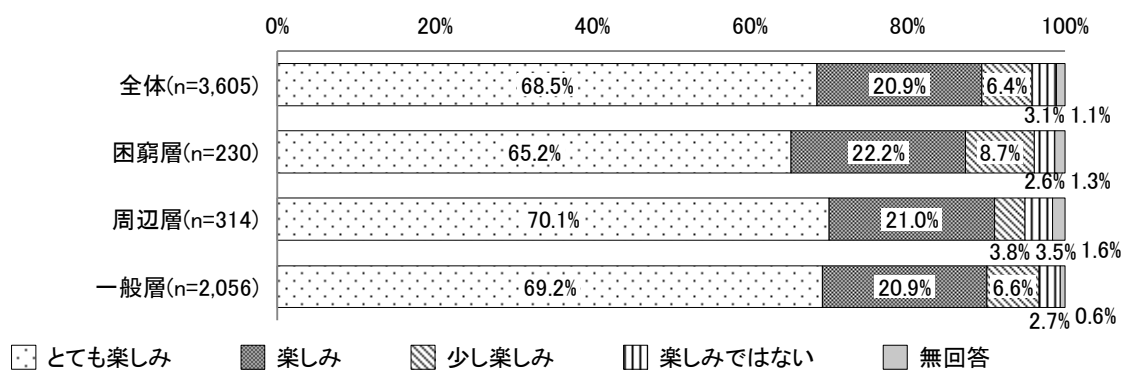
小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 68.5%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 20.9%となっている。

「困窮層」では、「とても楽しみ」が 65.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 70.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 69.2%でもっとも割合が高くなっている。

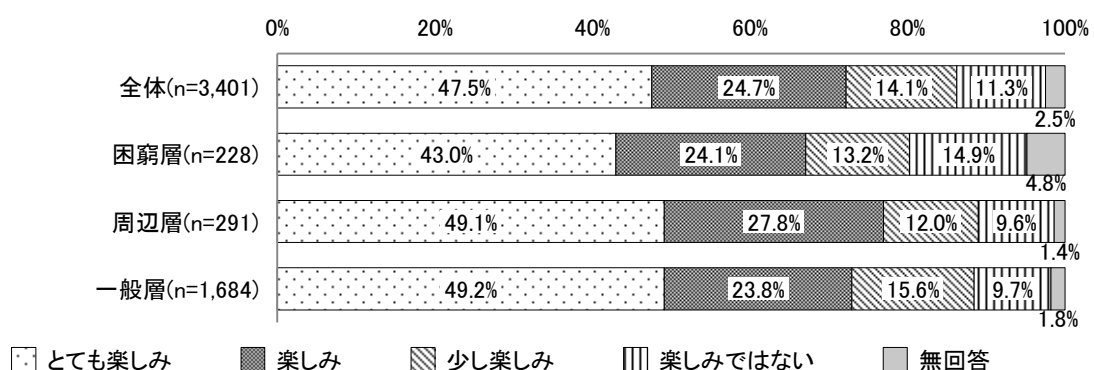
中学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 47.5%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 24.7%となっている。

「困窮層」では、「とても楽しみ」が 43.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 49.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 49.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 205 学校生活_学校の部活動・クラブ活動：単数回答（Q3L）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（有意差なし）



13) 学校生活_休み時間

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 77.8%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 15.6%となっている。

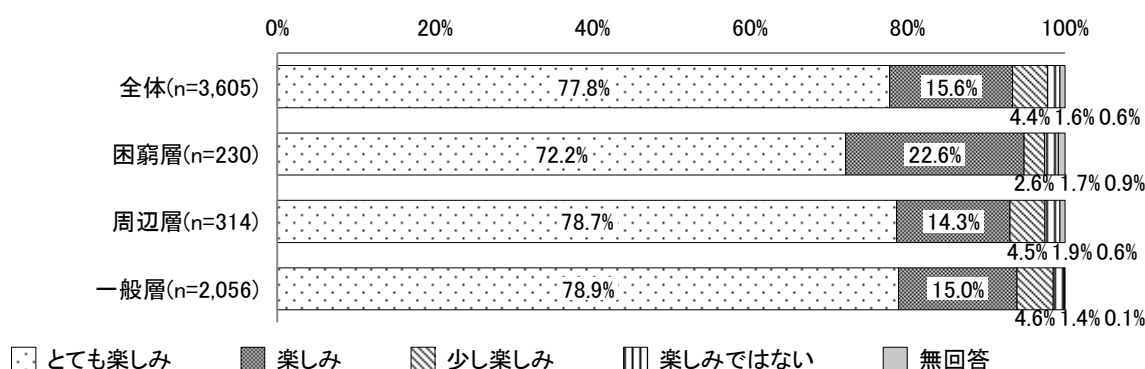
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 72.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 78.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 78.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 63.4%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 24.3%となっている。

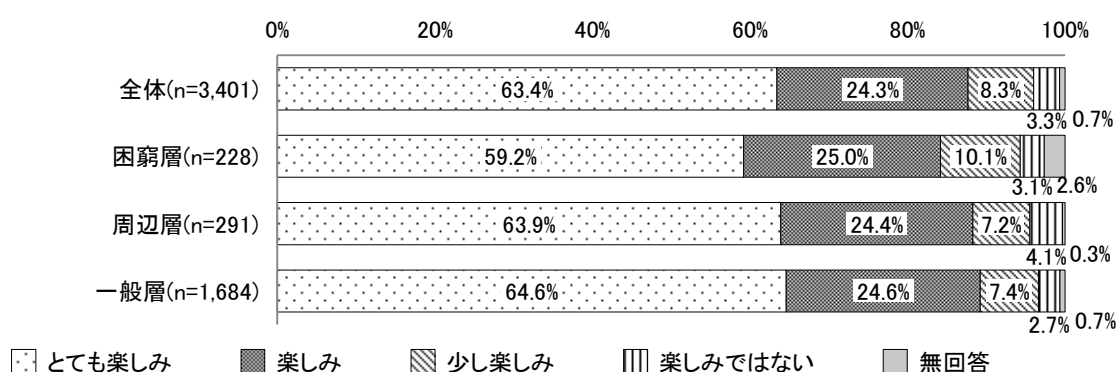
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 59.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 63.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 64.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 206 学校生活_休み時間：単数回答（Q3M）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



14) 学校生活_給食

小学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 68.4%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 20.1%となっている。

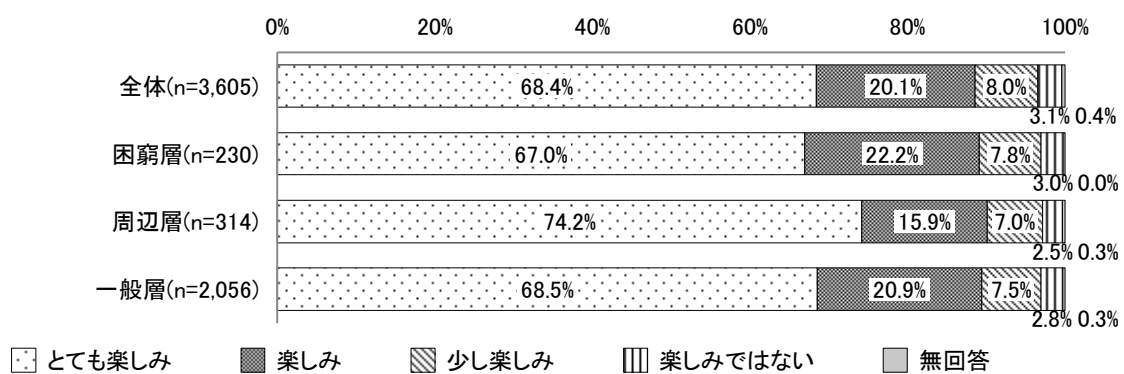
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 67.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 74.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 68.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「とても楽しみ」が 49.3%でもっとも割合が高く、次いで「楽しみ」が 29.3%となっている。

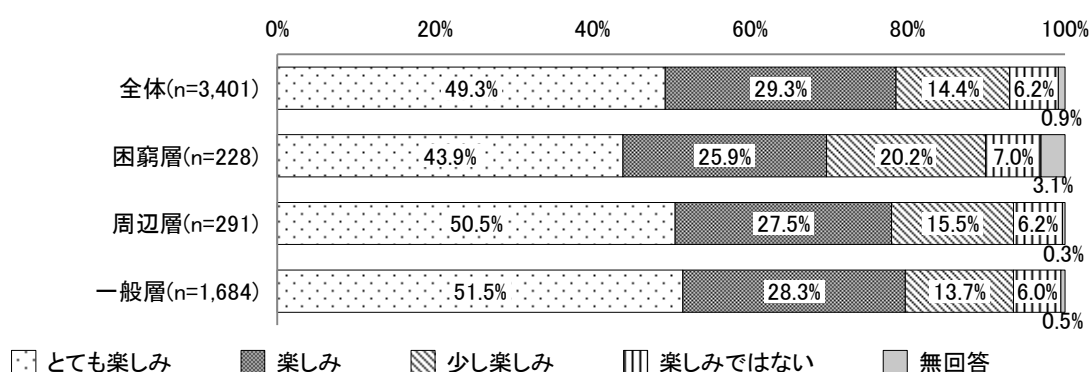
「困窮層」では、「とても楽しみ」が 43.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とても楽しみ」が 50.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とても楽しみ」が 51.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 207 学校生活_給食：単数回答（Q3N）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



15) 授業の理解度

小学生の「全体」では、「だいたいわかる」が 56.0%でもっとも割合が高く、次いで「いつもわかる」が 29.3%となっている。

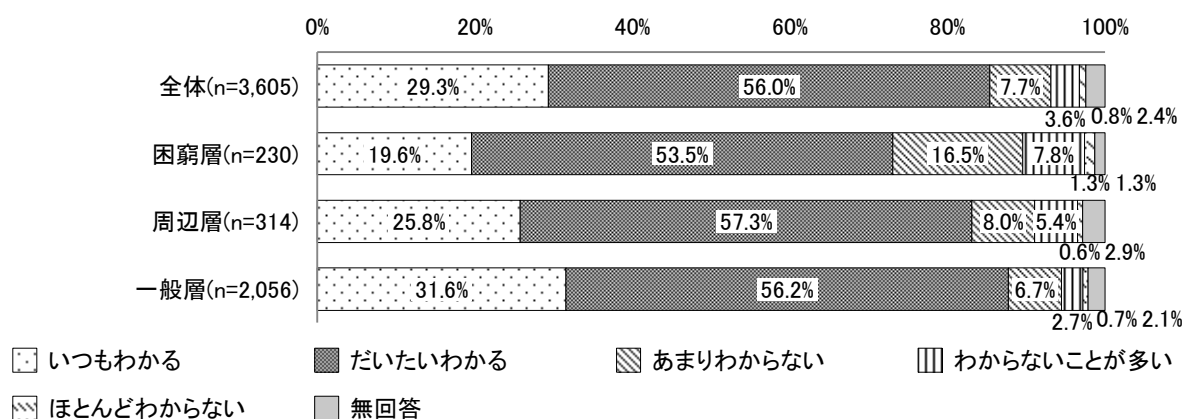
「困窮層」では、「だいたいわかる」が 53.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「だいたいわかる」が 57.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「だいたいわかる」が 56.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「だいたいわかる」が 60.0%でもっとも割合が高く、次いで「いつもわかる」が 17.0%となっている。

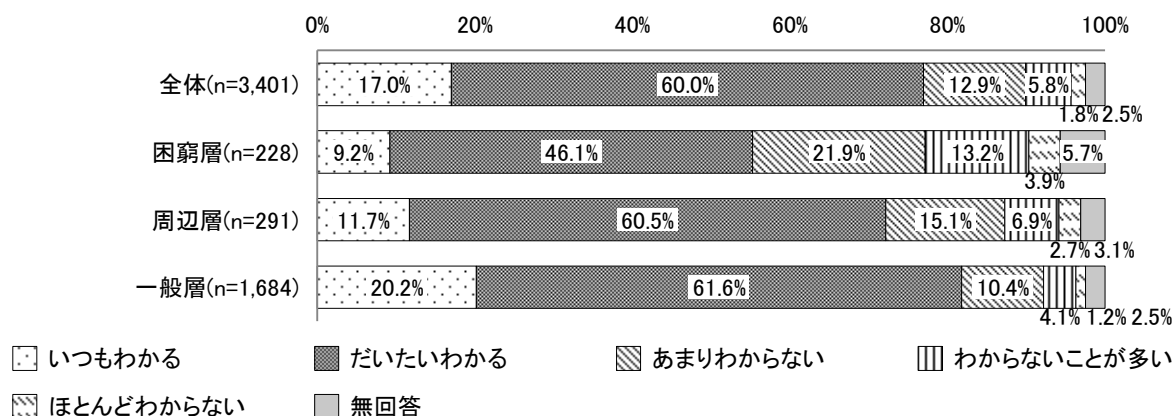
「困窮層」では、「だいたいわかる」が 46.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「だいたいわかる」が 60.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「だいたいわかる」が 61.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 208 授業の理解度：単数回答（Q4）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



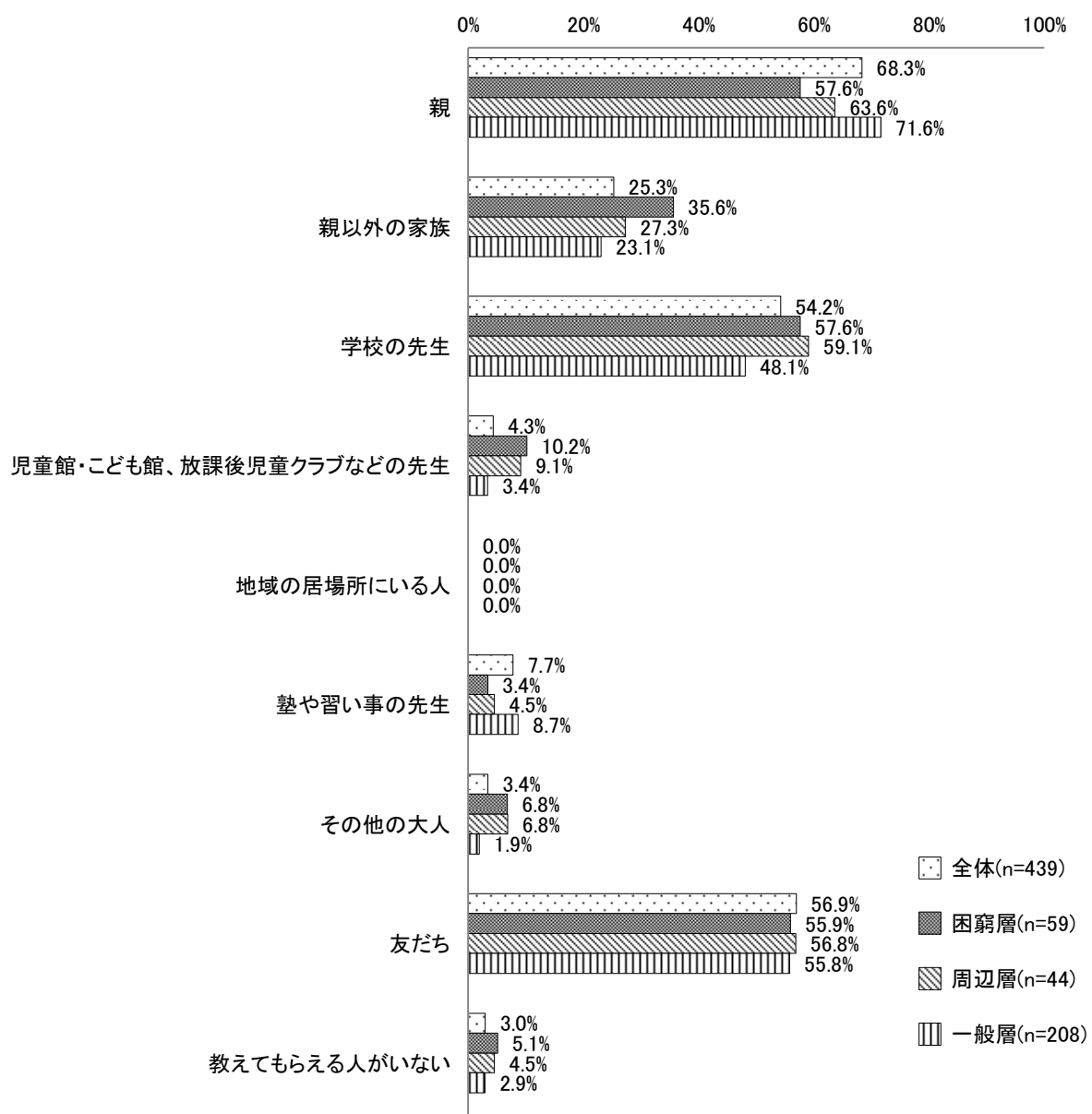
16) 勉強を教えてもらう人

授業が「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した場合について、勉強を教えてもらう人をみると、小学生の「全体」では、「親」が68.3%でもっとも割合が高く、次いで「友だち」が56.9%となっている。「困窮層」では、「親」「学校の先生」が57.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「親」が63.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「親」が71.6%でもっとも割合が高くなっている。

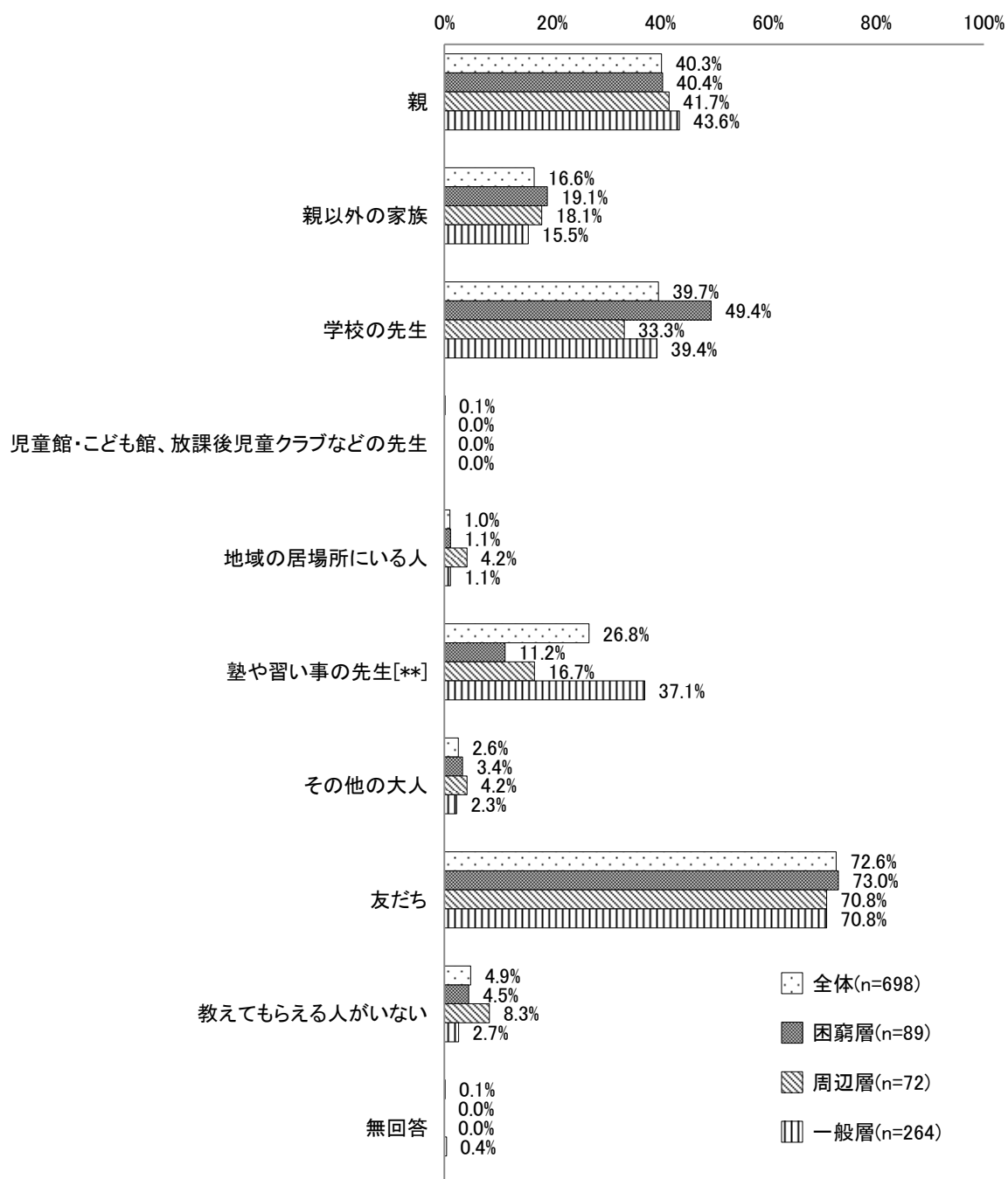
中学生の「全体」では、「友だち」が72.6%でもっとも割合が高く、次いで「親」が40.3%となっている。「困窮層」では、「友だち」が73.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「友だち」が70.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「友だち」が70.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 209 勉強を教えてもらう人：複数回答（Q5）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



< 中学生 >

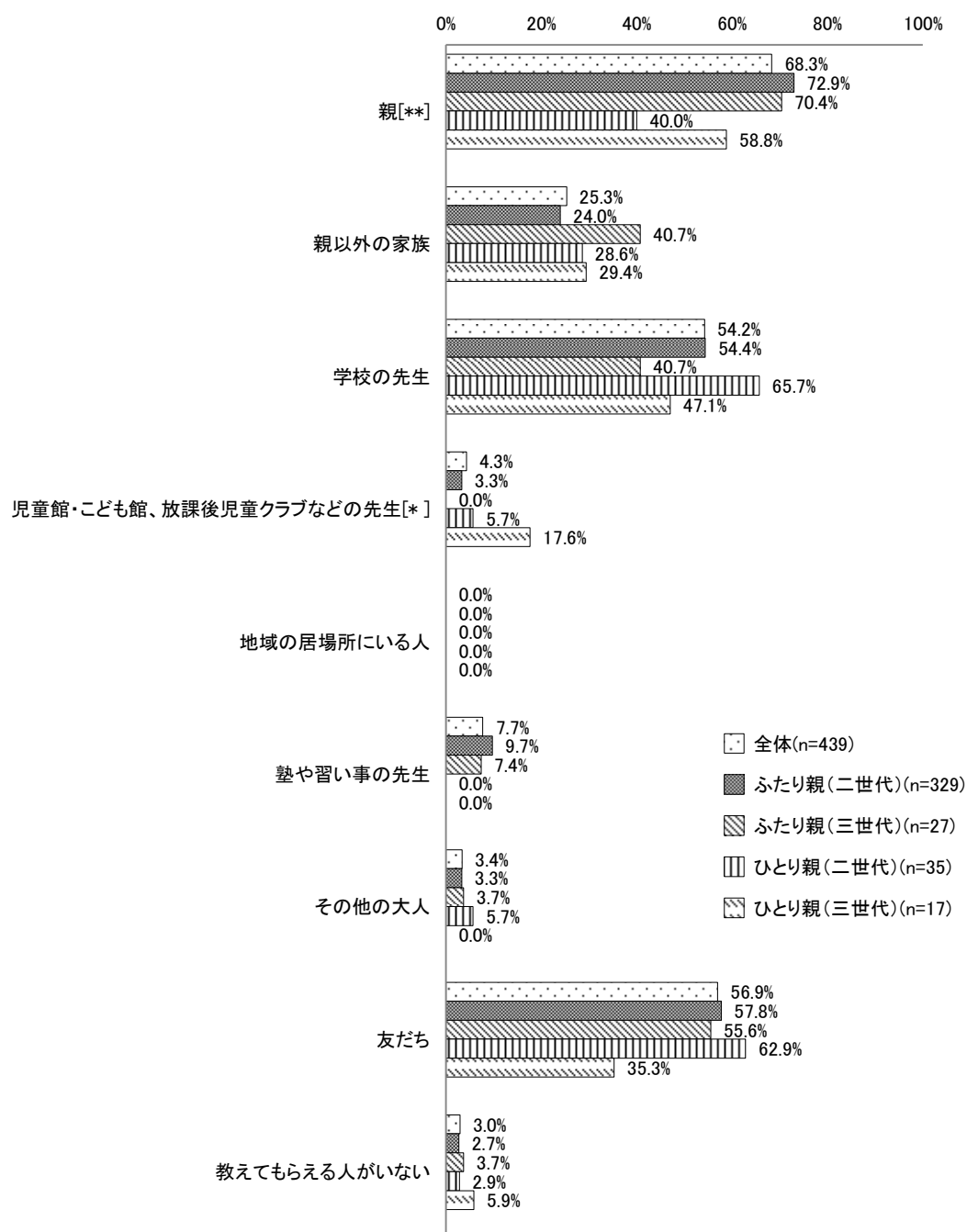


注) 対象は Q4 で「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した者に限定

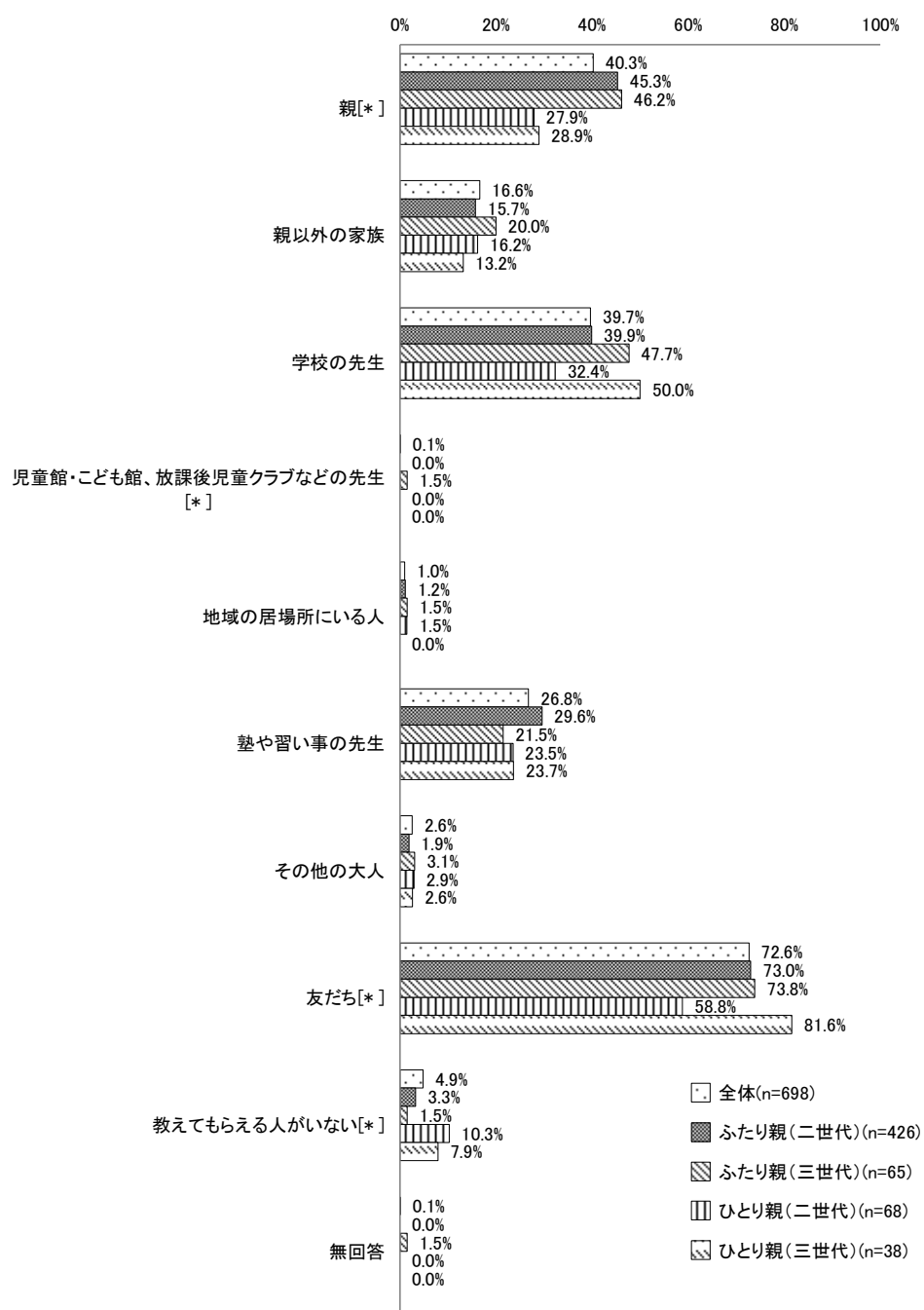
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「親」とする割合が低くなっている。また、中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「教えてもらえる人がいない」とする割合が高くなっている。

図表 210 勉強を教えてもらう人：複数回答（Q5）（世帯タイプ別）

<小学生>



<中学生>



17) クラスの中での成績

小学生の「全体」では、「真ん中のあたり」が 32.9%でもっとも割合が高く、次いで「やや上のほう」が 22.0%となっている。

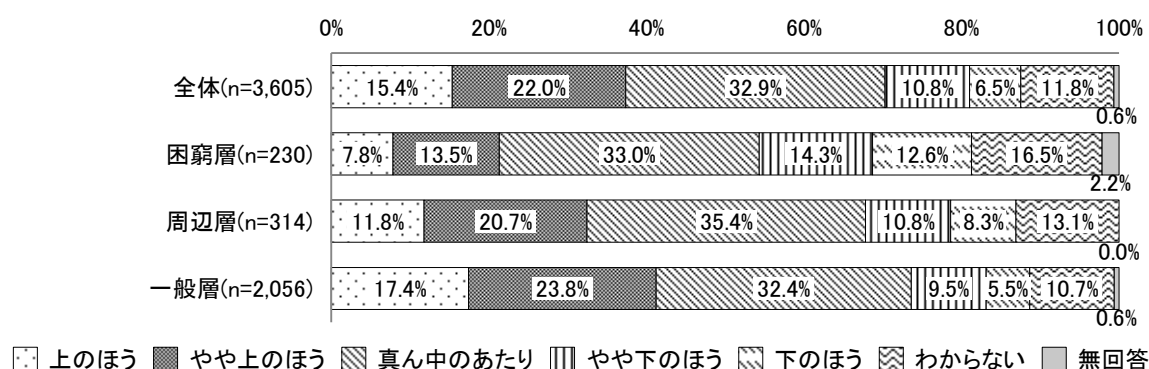
「困窮層」では、「真ん中のあたり」が 33.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「真ん中のあたり」が 35.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「真ん中のあたり」が 32.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「真ん中のあたり」が 30.5%でもっとも割合が高く、次いで「やや上のほう」が 20.0%となっている。

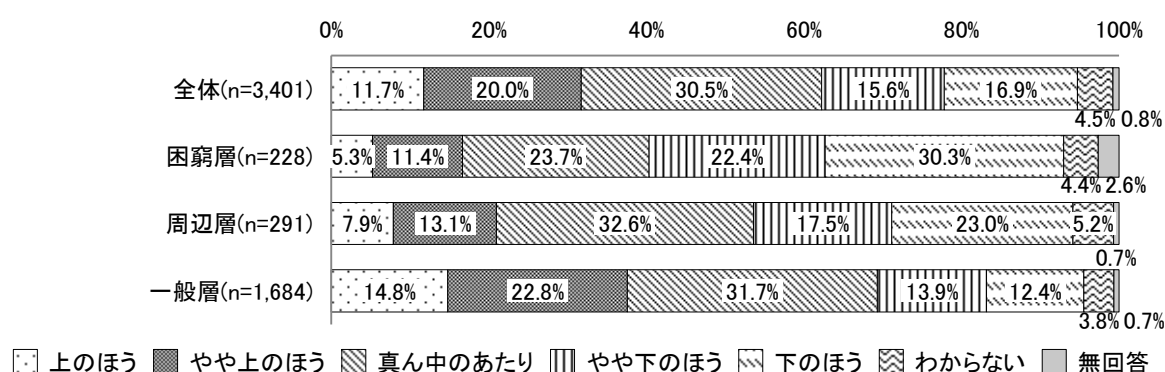
「困窮層」では、「下のほう」が 30.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「真ん中のあたり」が 32.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「真ん中のあたり」が 31.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 211 クラスの中での成績：単数回答（Q6）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



18) 授業以外での1日あたりの勉強時間

小学生の「全体」では、「30分以上、1時間より少ない」が37.5%でもっとも割合が高く、次いで「30分より少ない」が22.7%となっている。

「困窮層」では、「30分以上、1時間より少ない」が37.8%でもっとも割合が高くなっている。

「周辺層」では、「30分以上、1時間より少ない」が36.0%でもっとも割合が高くなっている。

「一般層」では、「30分以上、1時間より少ない」が37.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「1時間以上、2時間より少ない」が31.3%でもっとも割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が25.4%となっている。

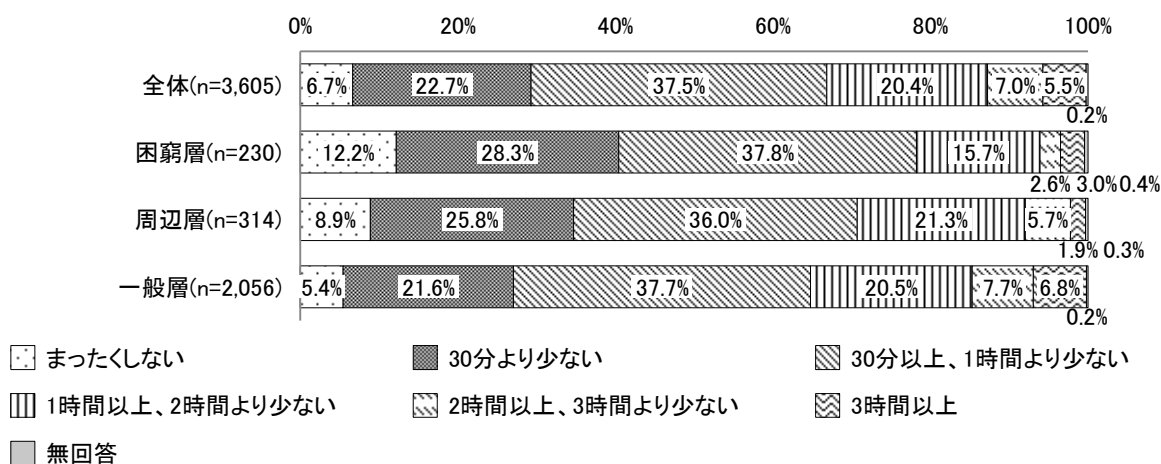
「困窮層」では、「1時間以上、2時間より少ない」が27.6%でもっとも割合が高くなっている。

「周辺層」では、「30分以上、1時間より少ない」が28.9%でもっとも割合が高くなっている。

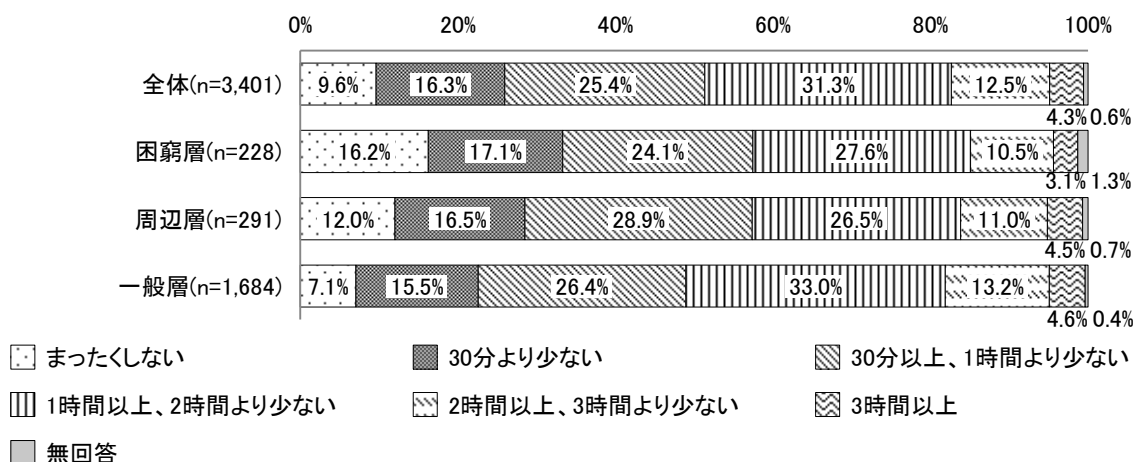
「一般層」では、「1時間以上、2時間より少ない」が33.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 212 授業以外での1日あたりの勉強時間：単数回答（Q7）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



19) 自宅で使う教材

小学生の「全体」では、「学校で配られるドリルなど」が 66.5%でもっとも割合が高く、次いで「本屋で売っているドリルや参考書」が 30.4%となっている。

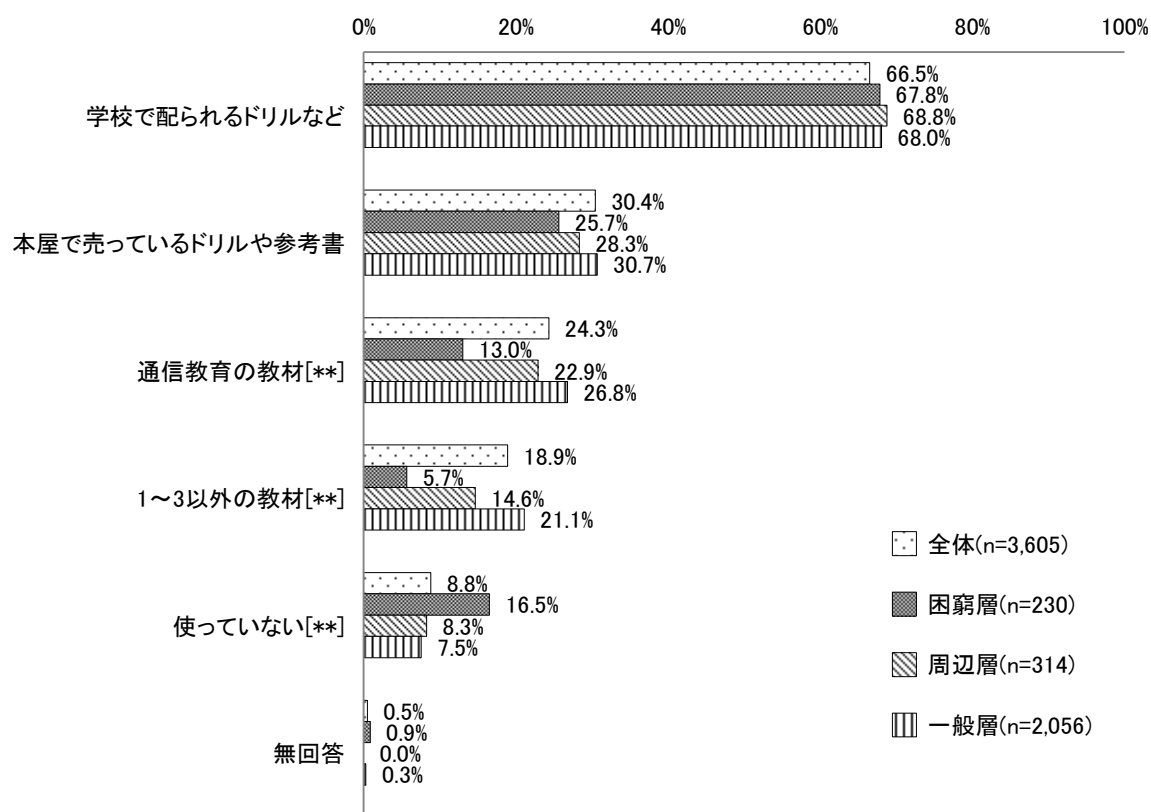
「困窮層」では、「学校で配られるドリルなど」が 67.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校で配られるドリルなど」が 68.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校で配られるドリルなど」が 68.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「学校で配られるドリルなど」が 78.0%でもっとも割合が高く、次いで「本屋で売っているドリルや参考書」が 29.0%となっている。

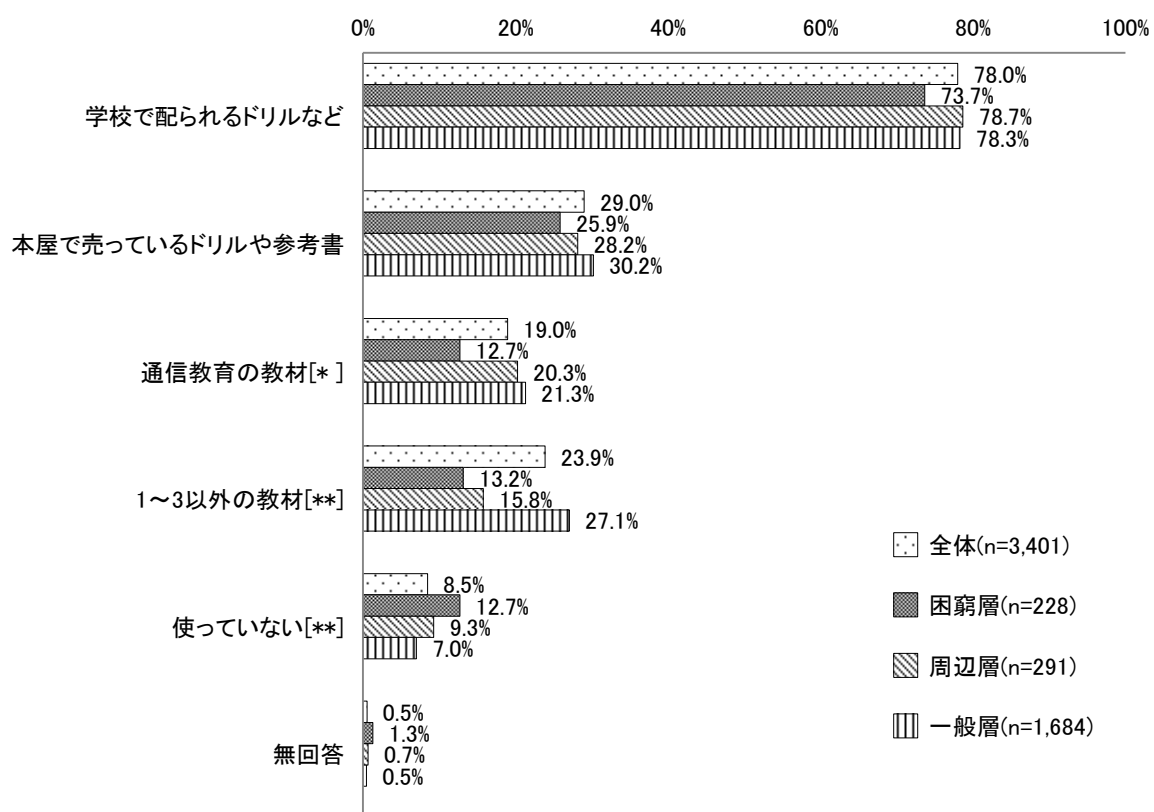
「困窮層」では、「学校で配られるドリルなど」が 73.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校で配られるドリルなど」が 78.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校で配られるドリルなど」が 78.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 213 自宅で使う教材：複数回答（Q8）（生活困難度別）

<小学生>



< 中学生 >



20) 学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらう頻度

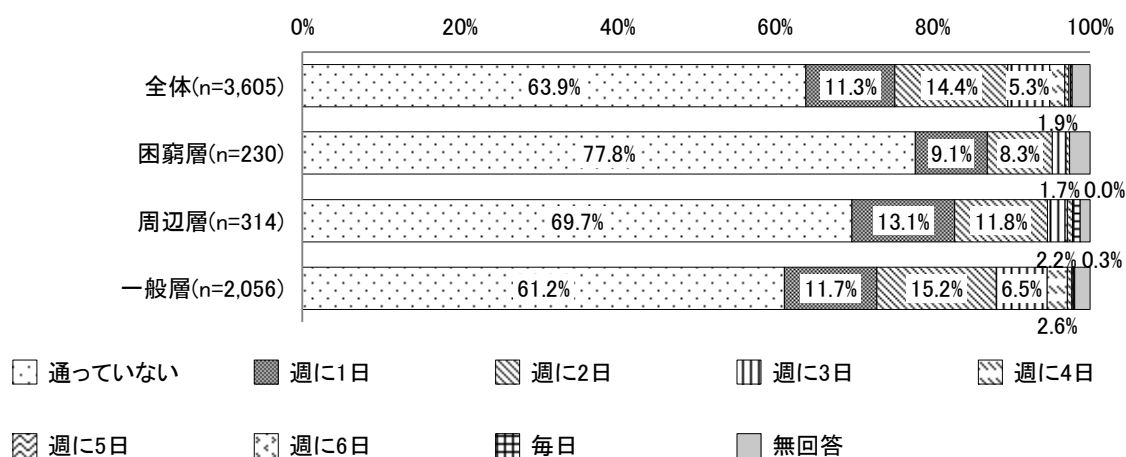
小学生の「全体」では、「通っていない」が 63.9%でもっとも割合が高く、次いで「週に 2 日」が 14.4%となっている。

「困窮層」では、「通っていない」が 77.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「通っていない」が 69.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「通っていない」が 61.2%でもっとも割合が高くなっている。

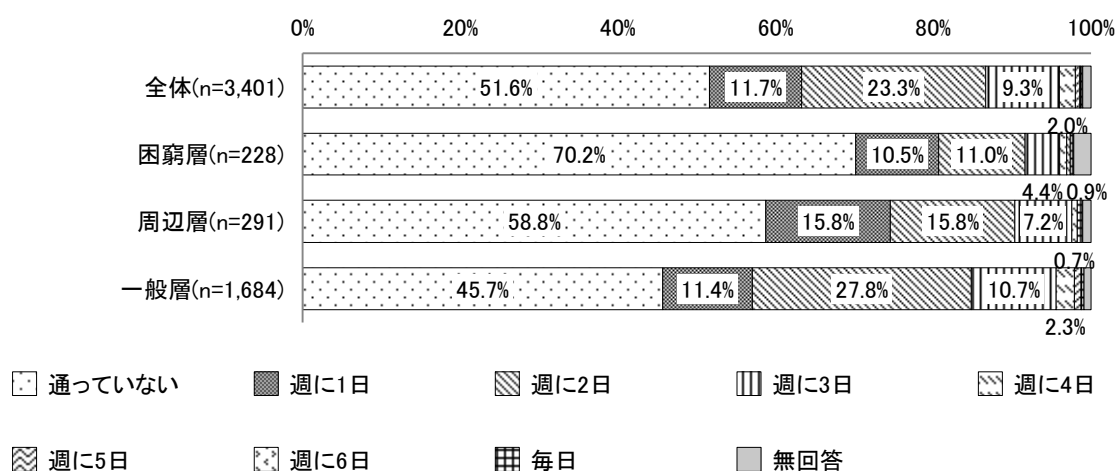
中学生の「全体」では、「通っていない」が 51.6%でもっとも割合が高く、次いで「週に 2 日」が 23.3%となっている。

「困窮層」では、「通っていない」が 70.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「通っていない」が 58.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「通っていない」が 45.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 214 学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらう頻度：単数回答（Q9）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



<数値表：小学生>

	合計	Q9 学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらう頻度								
		通っていない	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	週に5日	週に6日	毎日	無回答
全体	3,605	63.9	11.3	14.4	5.3	1.9	0.5	0.2	0.2	2.3
困窮層	230	77.8	9.1	8.3	1.7	0.0	0.4	0.0	0.0	2.6
周辺層	314	69.7	13.1	11.8	2.2	0.3	0.6	0.0	1.0	1.3
一般層	2,056	61.2	11.7	15.2	6.5	2.6	0.5	0.2	0.2	1.9

<数値表：中学生>

	合計	Q9 学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらう頻度								
		通っていない	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	週に5日	週に6日	毎日	無回答
全体	3,401	51.6	11.7	23.3	9.3	2.0	0.6	0.1	0.3	1.0
困窮層	228	70.2	10.5	11.0	4.4	0.9	0.4	0.0	0.4	2.2
周辺層	291	58.8	15.8	15.8	7.2	0.7	0.0	0.0	0.7	1.0
一般層	1,684	45.7	11.4	27.8	10.7	2.3	0.8	0.1	0.3	0.9

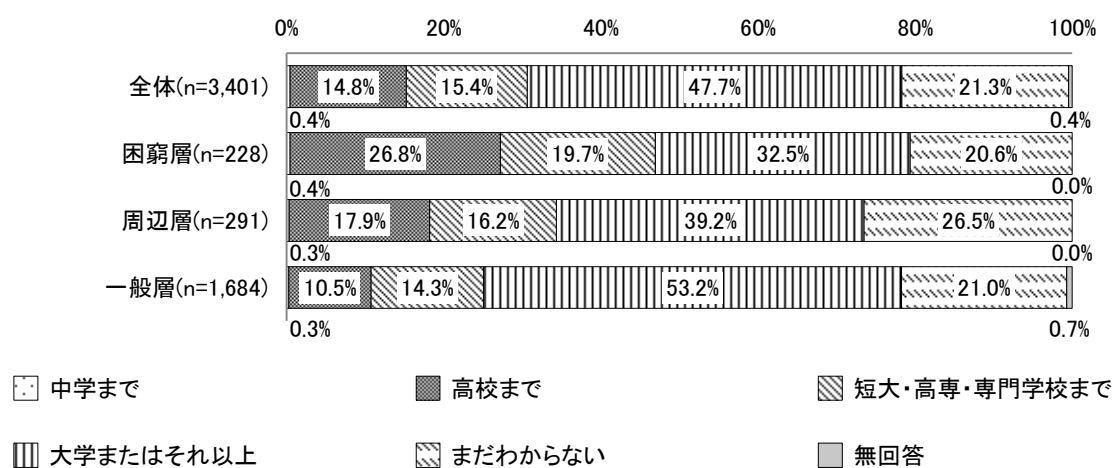
21) 進学したい段階

中学生の「全体」では、「大学またはそれ以上」が 47.7%でもっとも割合が高く、次いで「まだわからない」が 21.3%となっている。

「困窮層」では、「大学またはそれ以上」が 32.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「大学またはそれ以上」が 39.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「大学またはそれ以上」が 53.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 215 進学したい段階：単数回答（Q10）（生活困難度別）

<中学生> (p<.01)



22) 将来の夢や目標

小学生の「全体」では、「ある」が81.8%でもっとも割合が高く、次いで「ない」が15.5%となっている。

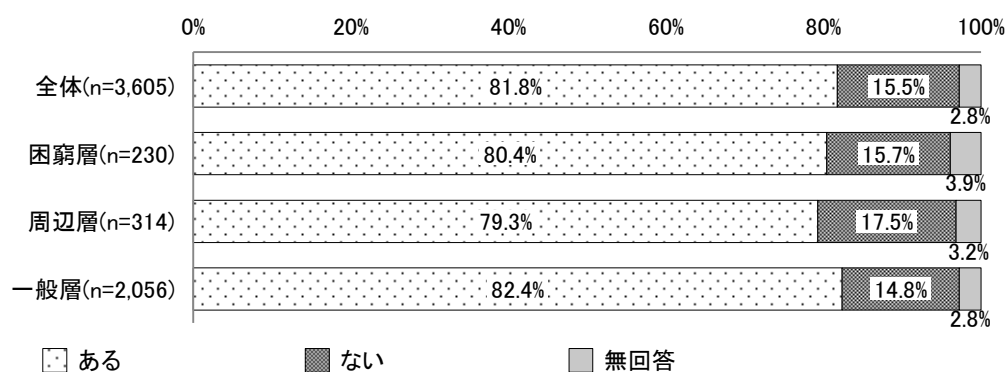
「困窮層」では、「ある」が80.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が79.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が82.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が60.6%でもっとも割合が高く、次いで「ない」が38.2%となっている。

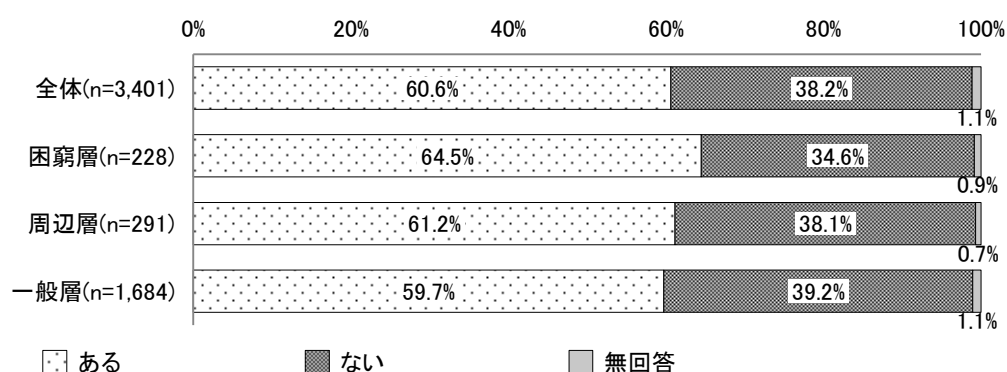
「困窮層」では、「ある」が64.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が61.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が59.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 216 将来の夢や目標：単数回答（Q11）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



23) ない理由

小学生の「全体」では、「何も思いうかばないから」が63.7%でもっとも割合が高く、次いで「わからない」が21.9%となっている。

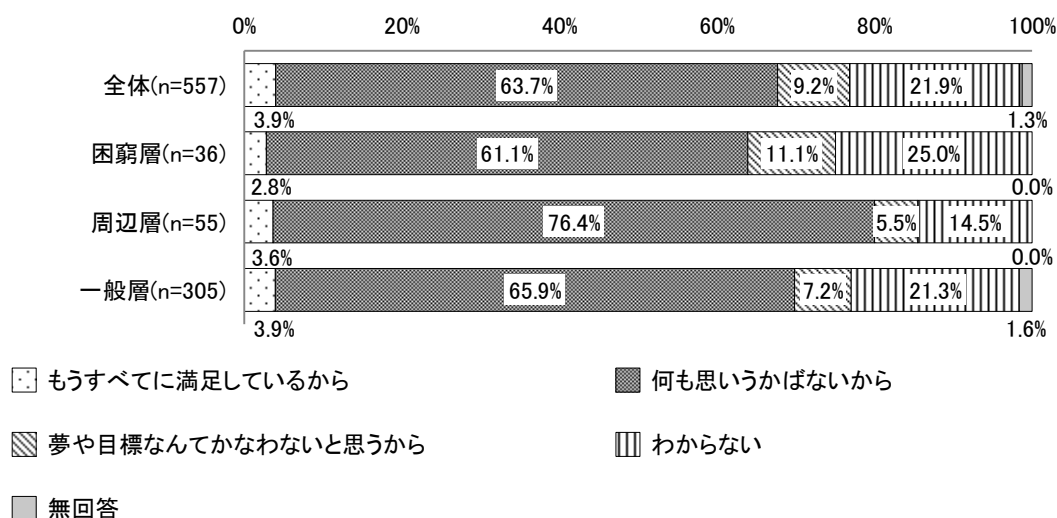
「困窮層」では、「何も思いうかばないから」が61.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「何も思いうかばないから」が76.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「何も思いうかばないから」が65.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「何も思いうかばないから」が73.5%でもっとも割合が高く、次いで「わからない」が15.5%となっている。

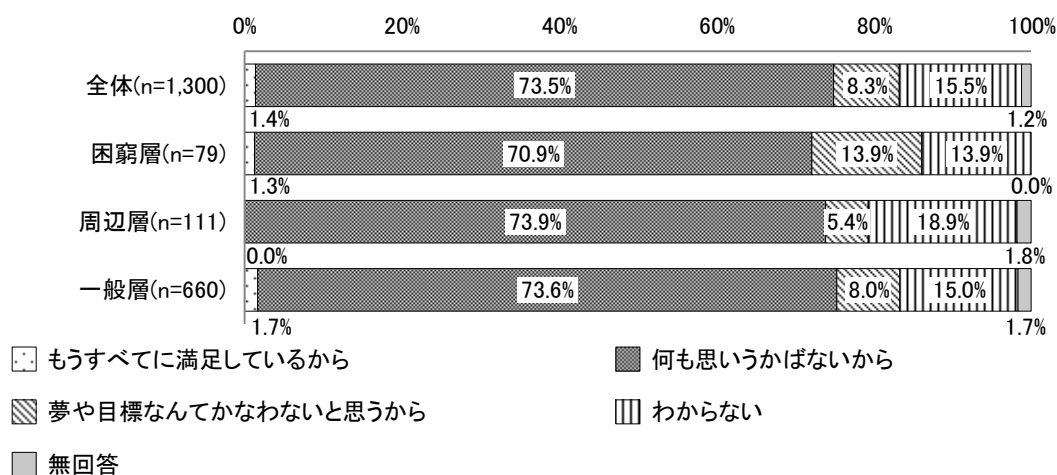
「困窮層」では、「何も思いうかばないから」が70.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「何も思いうかばないから」が73.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「何も思いうかばないから」が73.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 217 ない理由：単数回答（Q12）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



24) 将来のために、今頑張りたいと思うか

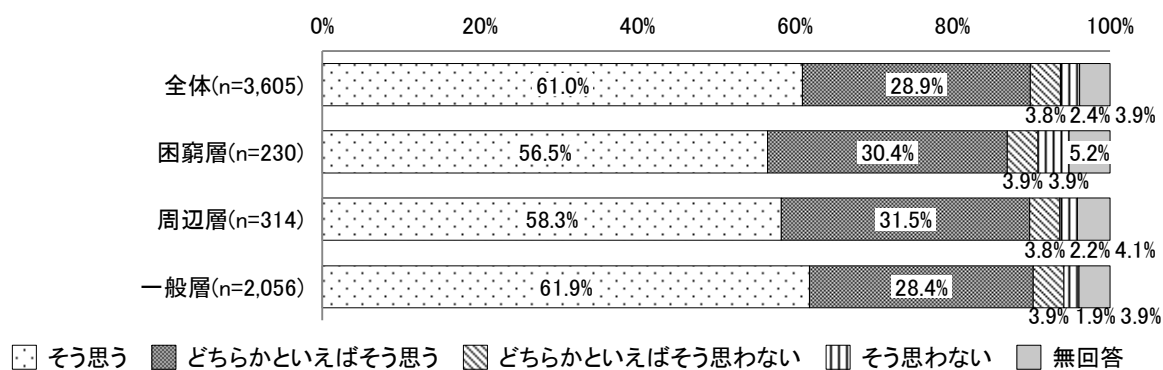
小学生の「全体」では、「そう思う」が61.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.9%となっている。

「困窮層」では、「そう思う」が56.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そう思う」が58.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そう思う」が61.9%でもっとも割合が高くなっている。

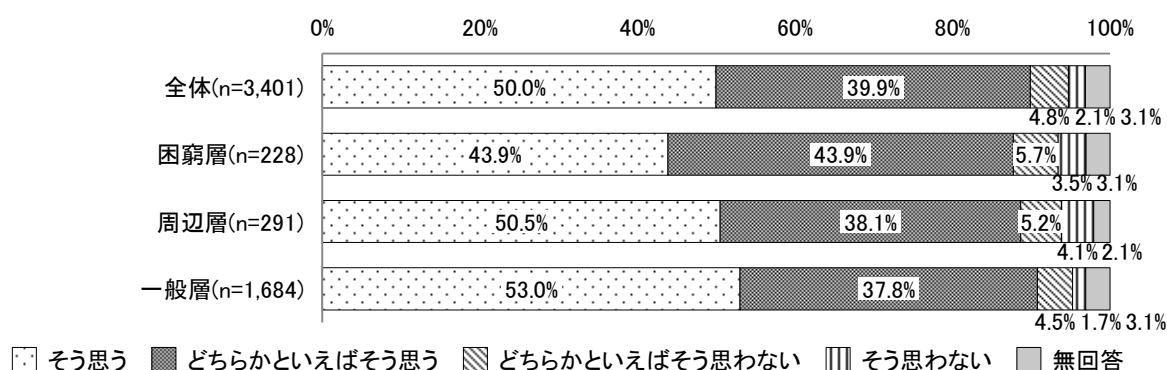
中学生の「全体」では、「そう思う」が50.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が39.9%となっている。

「困窮層」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が43.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そう思う」が50.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そう思う」が53.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 218 将来のために、今頑張りたいと思うか：単数回答（Q13）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（ $p < .05$ ）



(2) 生活習慣について

1) 平日の就寝時間

小学生の「全体」では、「午後 9 時台」が 43.7%でもっとも割合が高く、次いで「午後 10 時台」が 36.5%となっている。

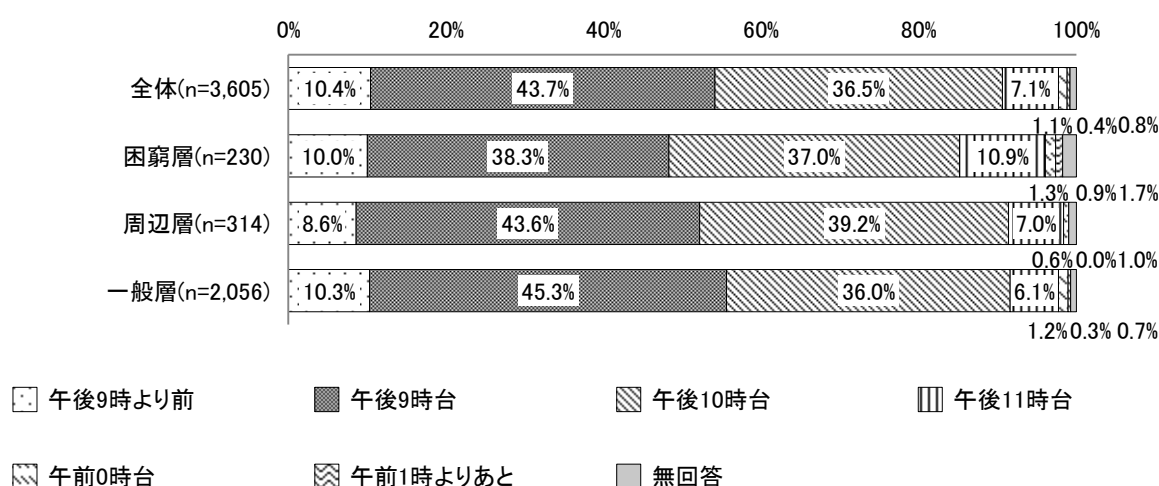
「困窮層」では、「午後 9 時台」が 38.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「午後 9 時台」が 43.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「午後 9 時台」が 45.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「午後 10 時台」が 39.3%でもっとも割合が高く、次いで「午後 11 時台」が 31.3%となっている。

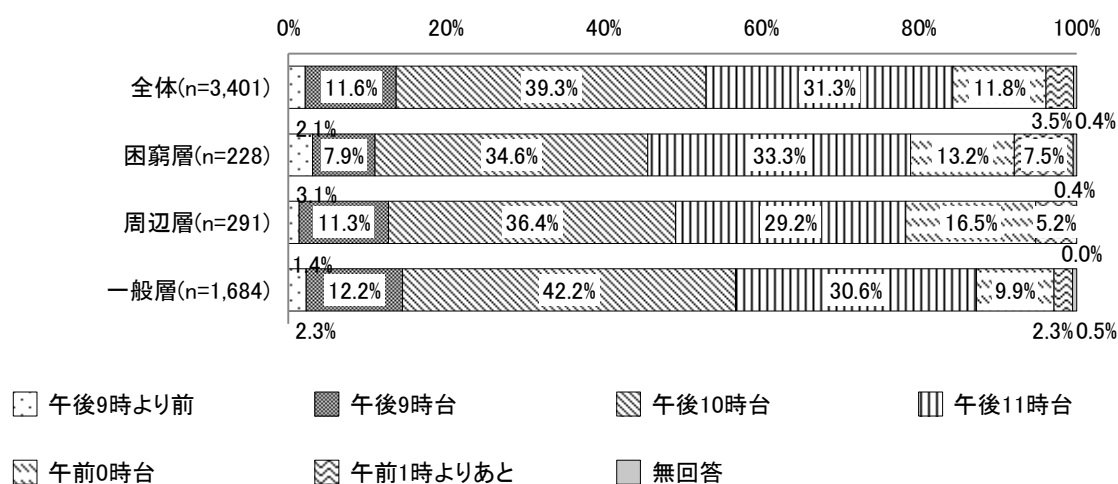
「困窮層」では、「午後 10 時台」が 34.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「午後 10 時台」が 36.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「午後 10 時台」が 42.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 219 平日の就寝時間：単数回答（Q14）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.01$ ）



2) 平日の朝ごはん摂取状況

小学生の「全体」では、「いつも食べる」が 90.6%でもっとも割合が高く、次いで「食べるほうが多い」が 5.1%となっている。

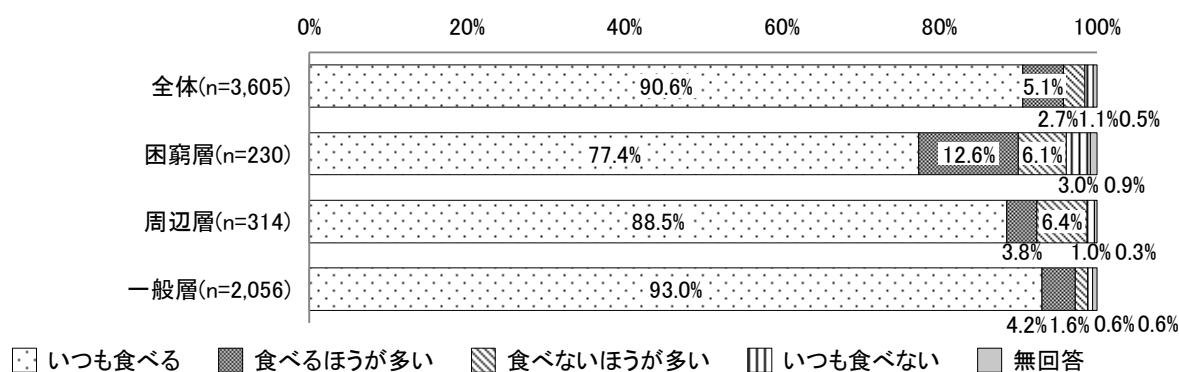
「困窮層」では、「いつも食べる」が 77.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつも食べる」が 88.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつも食べる」が 93.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いつも食べる」が 83.9%でもっとも割合が高く、次いで「食べるほうが多い」が 7.9%となっている。

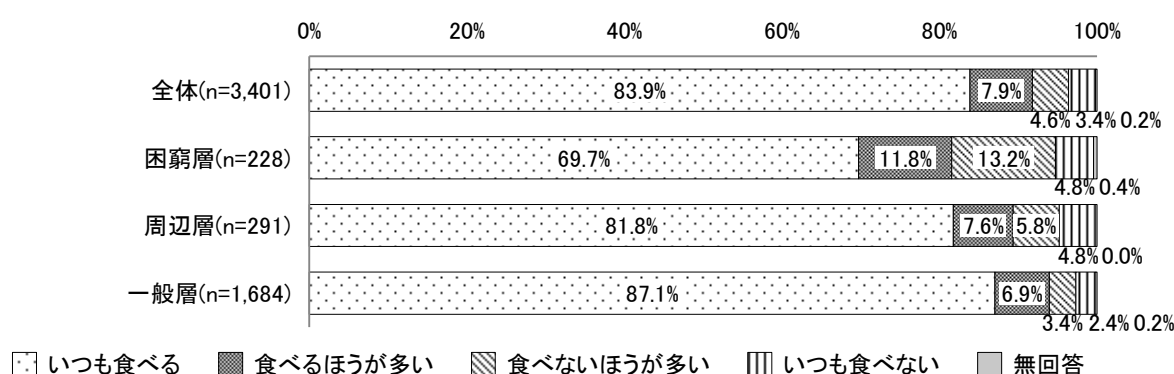
「困窮層」では、「いつも食べる」が 69.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつも食べる」が 81.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつも食べる」が 87.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 220 平日の朝ごはん摂取状況：単数回答（Q15）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



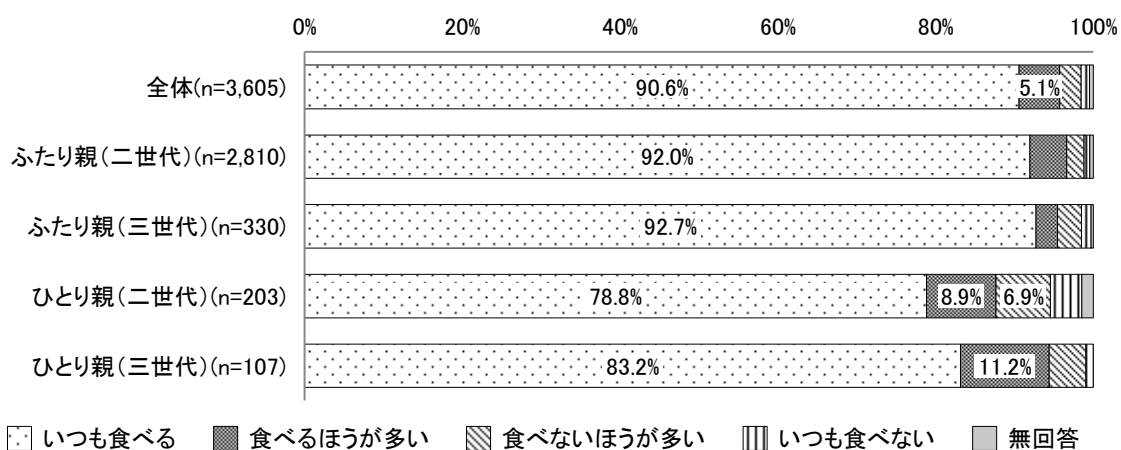
<中学生> (p<.01)



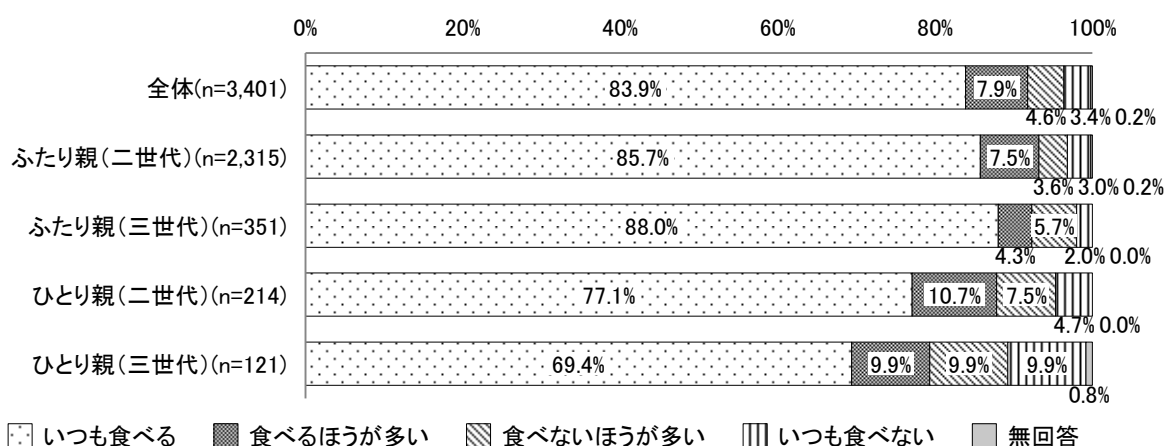
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「いつも食べる」とする割合が低くなっている。

図表 221 平日の朝ごはん摂取状況：単数回答（Q15）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



<数値表：小学生>

	合計	Q15 平日の朝ごはん摂取状況				
		いつも食べる	食べるほうが多い	食べないほうが多い	いつも食べない	無回答
全体	3,605	90.6	5.1	2.7	1.1	0.5
ふたり親（二世帯）	2,810	92.0	4.7	2.2	0.7	0.5
ふたり親（三世帯）	330	92.7	2.7	3.0	1.2	0.3
ひとり親（二世帯）	203	78.8	8.9	6.9	3.9	1.5
ひとり親（三世帯）	107	83.2	11.2	4.7	0.9	0.0

3) 長期休暇中の昼ごはんの摂取状況

小学生の「全体」では、「いつも食べる」が 90.7%でもっとも割合が高く、次いで「食べるほうが多い」が 5.9%となっている。

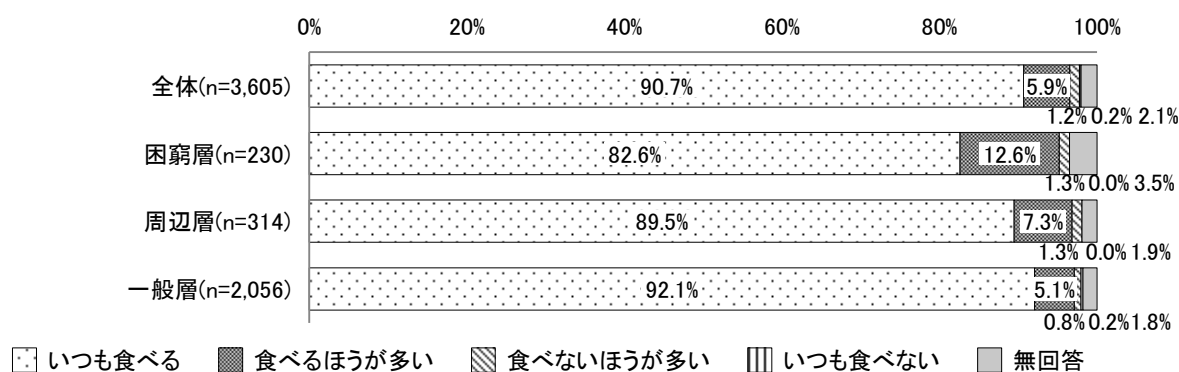
「困窮層」では、「いつも食べる」が 82.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつも食べる」が 89.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつも食べる」が 92.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いつも食べる」が 82.8%でもっとも割合が高く、次いで「食べるほうが多い」が 12.6%となっている。

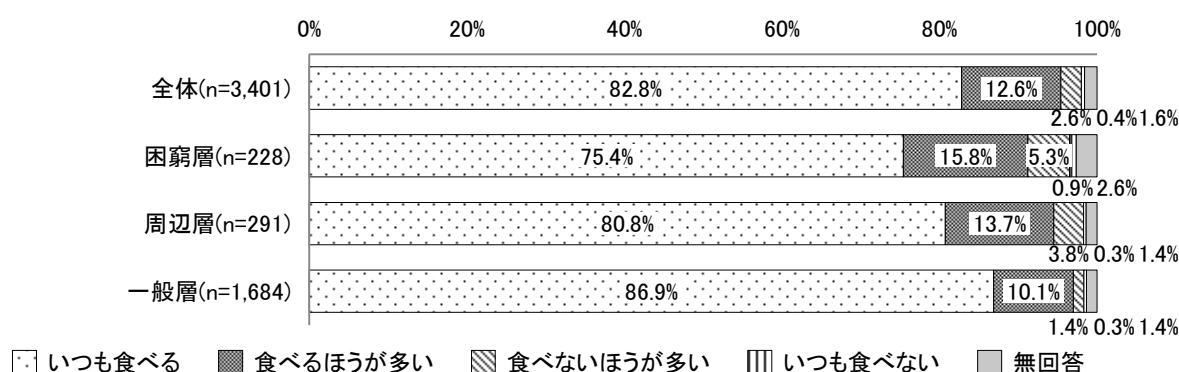
「困窮層」では、「いつも食べる」が 75.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつも食べる」が 80.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつも食べる」が 86.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 222 長期休暇中の昼ごはんの摂取状況：単数回答（Q16）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



4) 給食以外での摂取状況_野菜

小学生の「全体」では、「毎日食べる」が67.0%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に4～5日」が17.4%となっている。

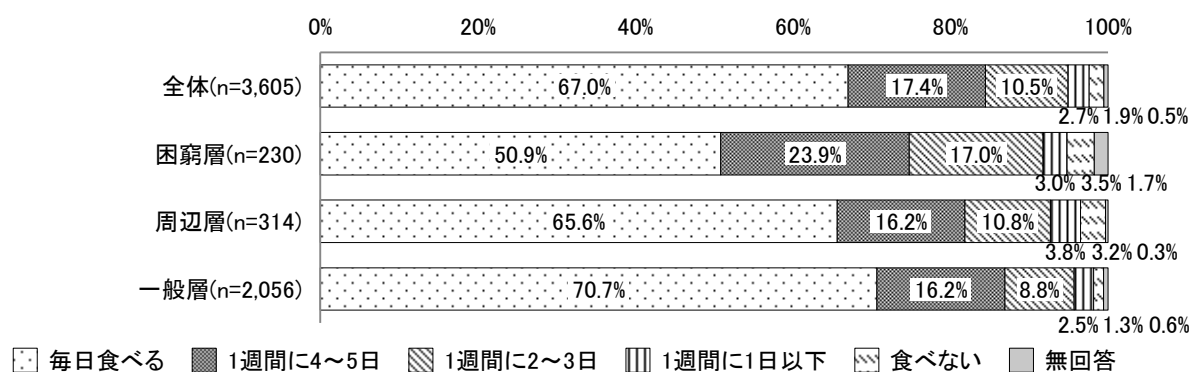
「困窮層」では、「毎日食べる」が50.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日食べる」が65.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日食べる」が70.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「毎日食べる」が65.6%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に4～5日」が19.7%となっている。

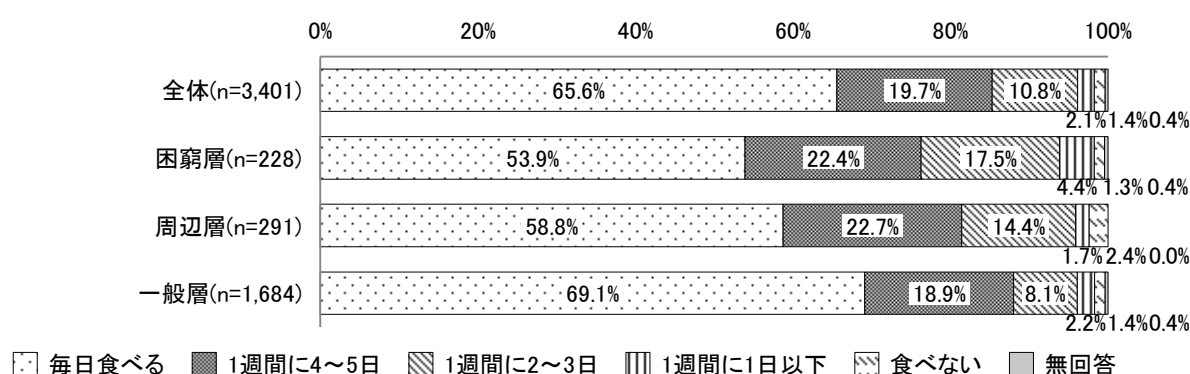
「困窮層」では、「毎日食べる」が53.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日食べる」が58.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日食べる」が69.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 223 給食以外での摂取状況_野菜：単数回答（Q17A）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)

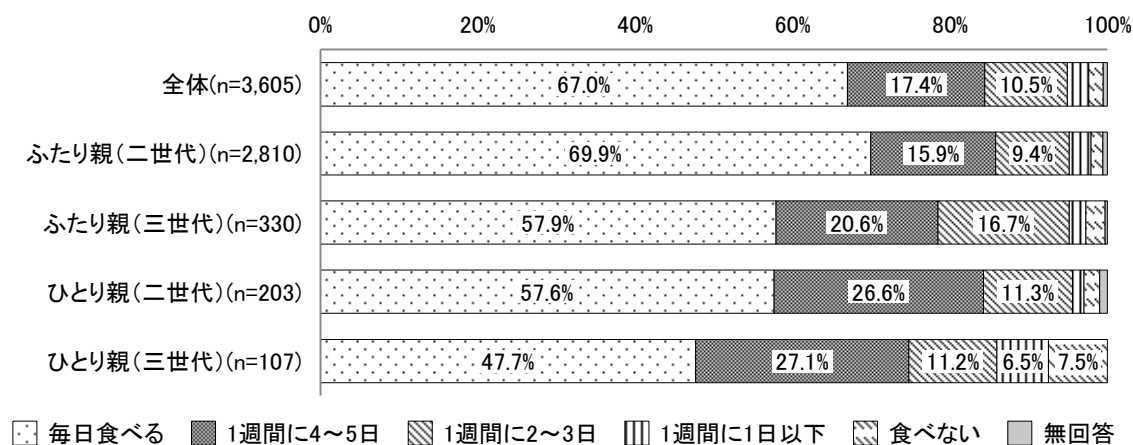


<中学生> (p<.01)

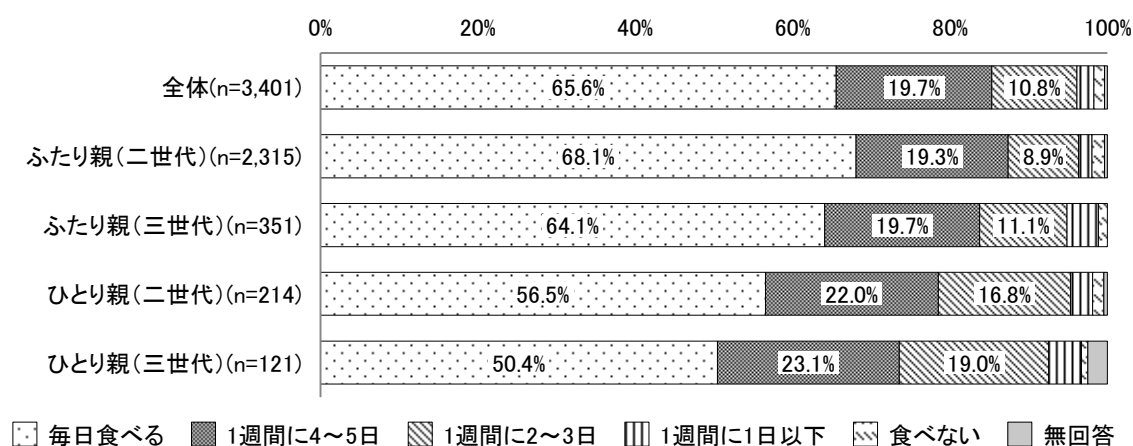


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「毎日食べる」とする割合が低くなっている。小学生では「ふたり親（三世代）」についても、全体に比べて「毎日食べる」とする割合が低い。

図表 224 給食以外での摂取状況_野菜：単数回答（Q17A）（世帯タイプ別）
 ＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



<数値表：小学生>

	合計	Q17A 給食以外での摂取状況 野菜					
		毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	無回答
全体	3,605	67.0	17.4	10.5	2.7	1.9	0.5
ふたり親（二世代）	2,810	69.9	15.9	9.4	2.8	1.5	0.6
ふたり親（三世代）	330	57.9	20.6	16.7	2.1	2.4	0.3
ひとり親（二世代）	203	57.6	26.6	11.3	1.5	2.0	1.0
ひとり親（三世代）	107	47.7	27.1	11.2	6.5	7.5	0.0

<数値表：中学生>

	合計	Q17A 給食以外での摂取状況 野菜					
		毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	無回答
全体	3,401	65.6	19.7	10.8	2.1	1.4	0.4
ふたり親（二世代）	2,315	68.1	19.3	8.9	1.7	1.6	0.4
ふたり親（三世代）	351	64.1	19.7	11.1	4.0	1.1	0.0
ひとり親（二世代）	214	56.5	22.0	16.8	2.8	1.4	0.5
ひとり親（三世代）	121	50.4	23.1	19.0	4.1	0.8	2.5

5) 給食以外での摂取状況_くだもの

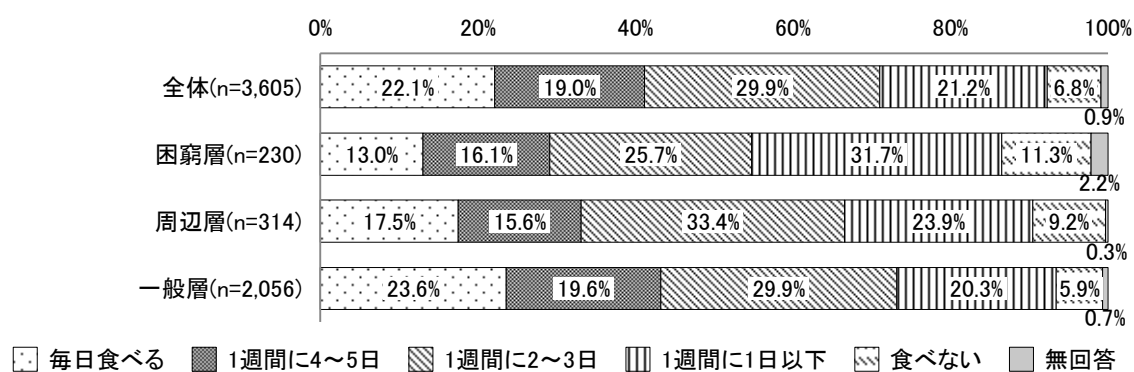
小学生の「全体」では、「1週間に2～3日」が29.9%でもっとも割合が高く、次いで「毎日食べる」が22.1%となっている。

「困窮層」では、「1週間に1日以下」が31.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「1週間に2～3日」が33.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に2～3日」が29.9%でもっとも割合が高くなっている。

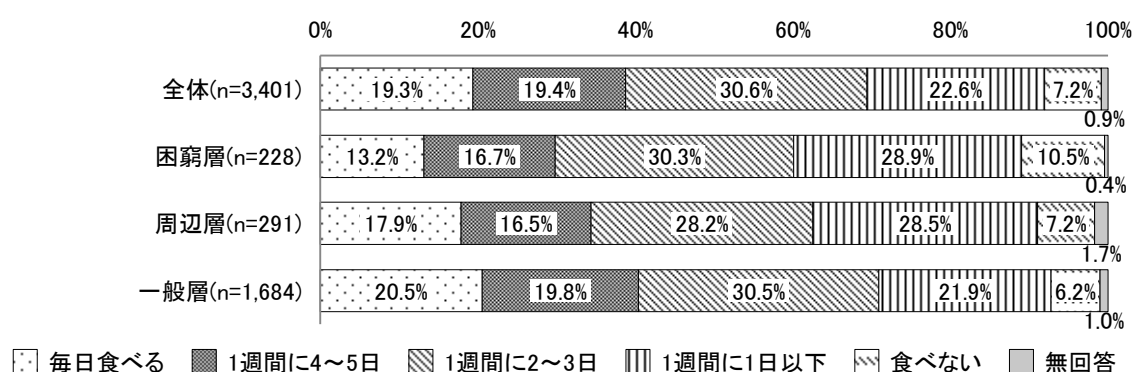
中学生の「全体」では、「1週間に2～3日」が30.6%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に1日以下」が22.6%となっている。

「困窮層」では、「1週間に2～3日」が30.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「1週間に1日以下」が28.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に2～3日」が30.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 225 給食以外での摂取状況_くだもの：単数回答（Q17B）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）

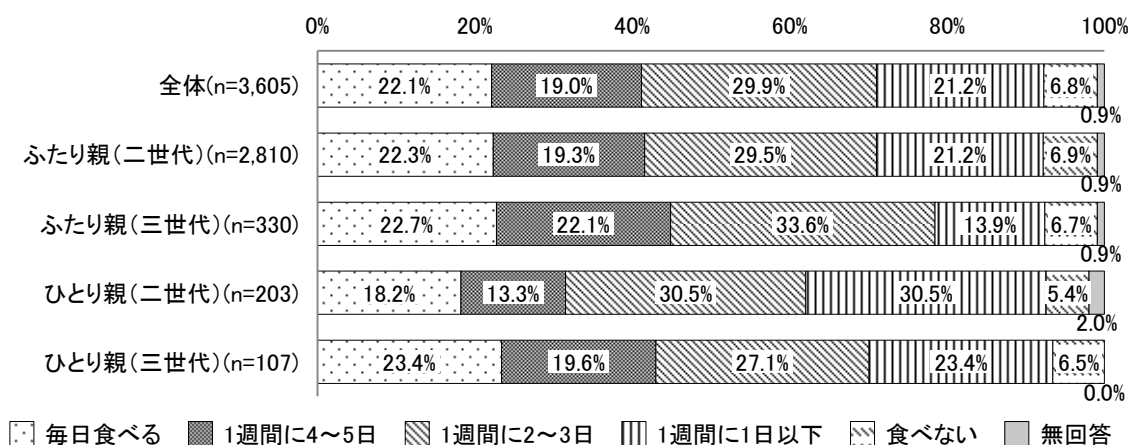


＜中学生＞（ $p<.01$ ）

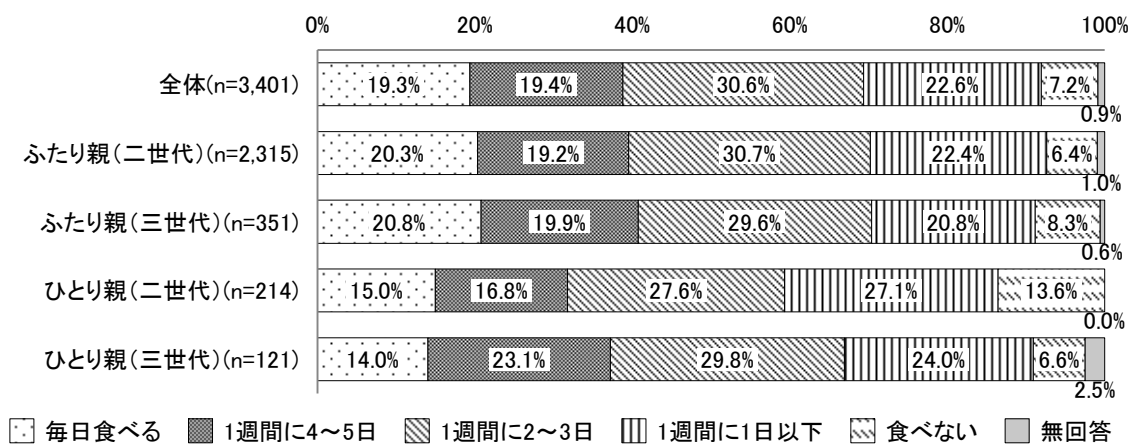


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「毎日食べる」とする割合が低く、「1週間に1日以下」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「毎日食べる」とする割合が低く、「ひとり親（二世帯）」では「食べない」とする割合が高くなっている。

図表 226 給食以外での摂取状況_くだもの：単数回答（Q17B）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.01$ ）



<中学生>（ $p<.05$ ）



6) 給食以外での摂取状況_肉か魚

小学生の「全体」では、「毎日食べる」が61.6%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に4～5日」が22.6%となっている。

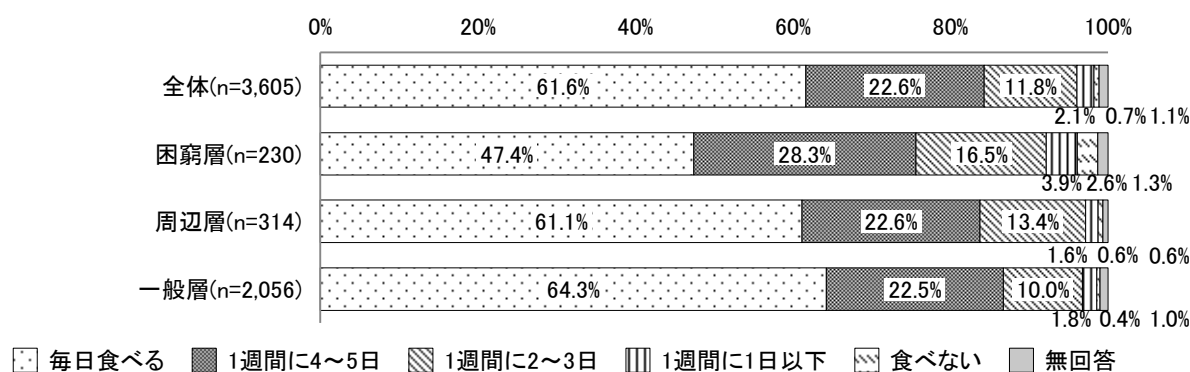
「困窮層」では、「毎日食べる」が47.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日食べる」が61.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日食べる」が64.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「毎日食べる」が63.8%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に4～5日」が23.6%となっている。

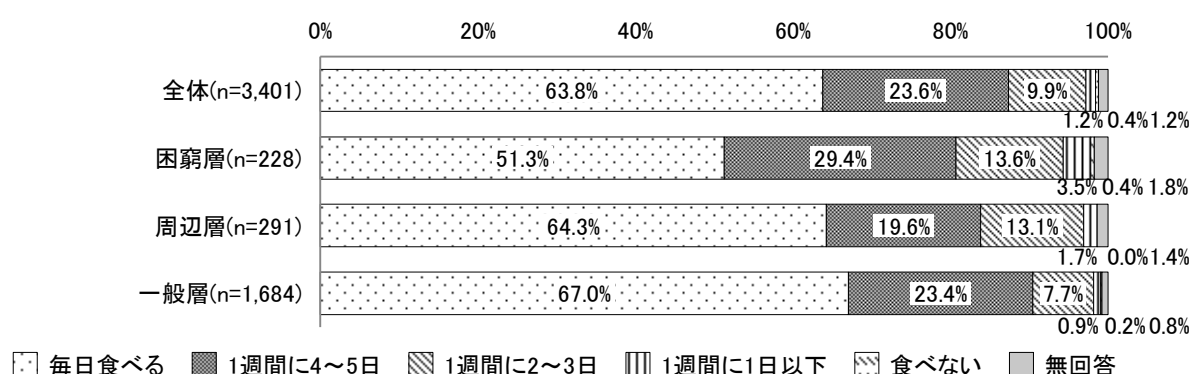
「困窮層」では、「毎日食べる」が51.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日食べる」が64.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日食べる」が67.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 227 給食以外での摂取状況_肉か魚：単数回答（Q17C）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)

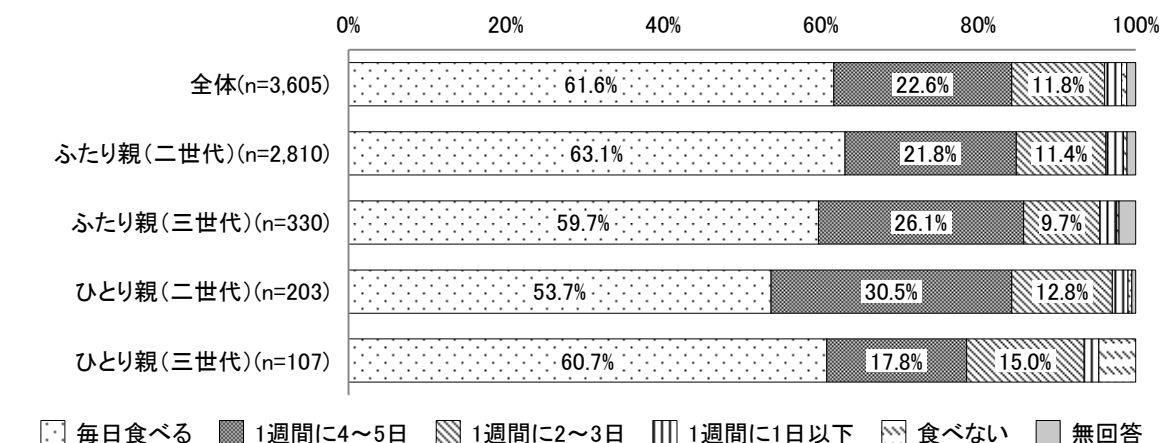


<中学生> (p<.01)

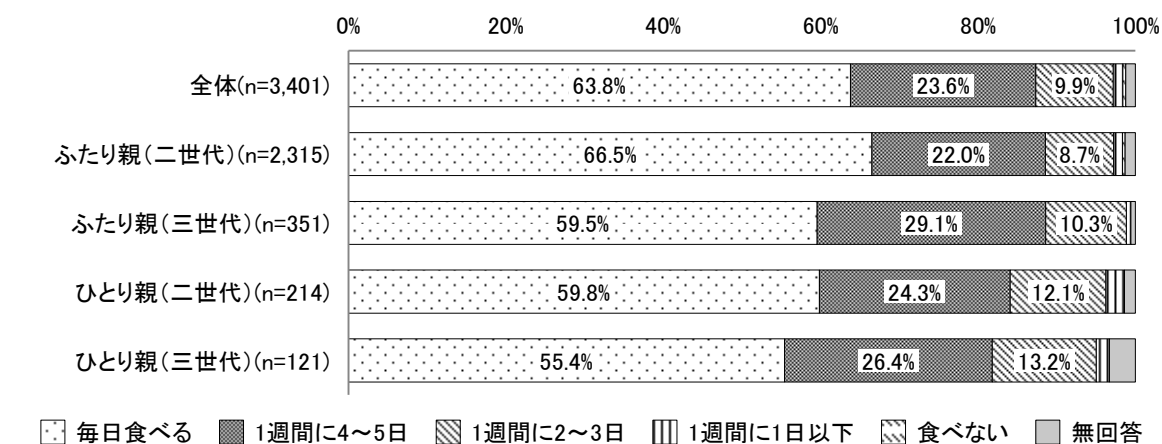


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「毎日食べる」とする割合が低く、「1週間に4～5日」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世帯）」において「毎日食べる」とする割合が低くなっている。

図表 228 給食以外での摂取状況_肉か魚：単数回答（Q17C）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.01$ ）



<中学生>（ $p<.05$ ）



<数値表：小学生>

	合計	Q17C 給食以外での摂取状況 肉か魚					
		毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	無回答
全体	3,605	61.6	22.6	11.8	2.1	0.7	1.1
ふたり親（二世代）	2,810	63.1	21.8	11.4	2.2	0.5	1.1
ふたり親（三世代）	330	59.7	26.1	9.7	2.1	0.3	2.1
ひとり親（二世代）	203	53.7	30.5	12.8	2.0	0.5	0.5
ひとり親（三世代）	107	60.7	17.8	15.0	1.9	4.7	0.0

<数値表：中学生>

	合計	Q17C 給食以外での摂取状況 肉か魚					
		毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	無回答
全体	3,401	63.8	23.6	9.9	1.2	0.4	1.2
ふたり親（二世代）	2,315	66.5	22.0	8.7	1.1	0.3	1.3
ふたり親（三世代）	351	59.5	29.1	10.3	0.6	0.0	0.6
ひとり親（二世代）	214	59.8	24.3	12.1	2.3	0.0	1.4
ひとり親（三世代）	121	55.4	26.4	13.2	1.7	0.0	3.3

7) 給食以外での摂取状況_カップめん・インスタントめん

小学生の「全体」では、「1週間に1日以下」が58.0%でもっとも割合が高く、次いで「食べない」が26.7%となっている。

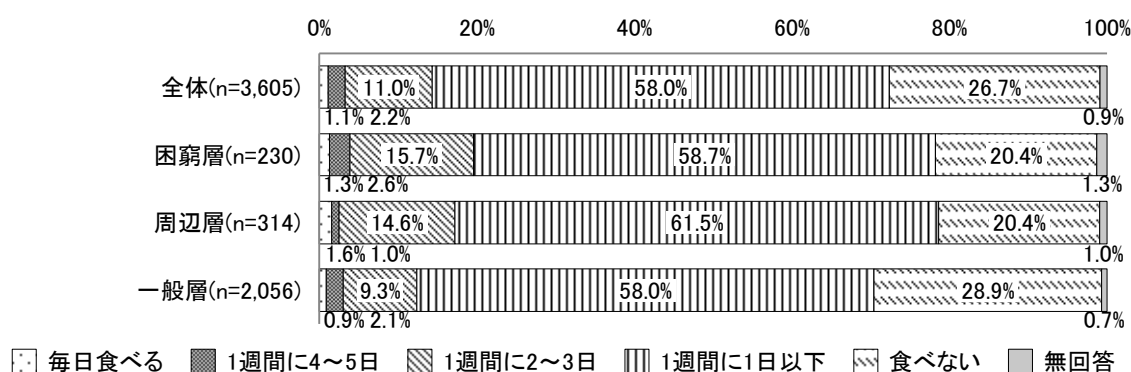
「困窮層」では、「1週間に1日以下」が58.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「1週間に1日以下」が61.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に1日以下」が58.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「1週間に1日以下」が56.9%でもっとも割合が高く、次いで「食べない」が25.0%となっている。

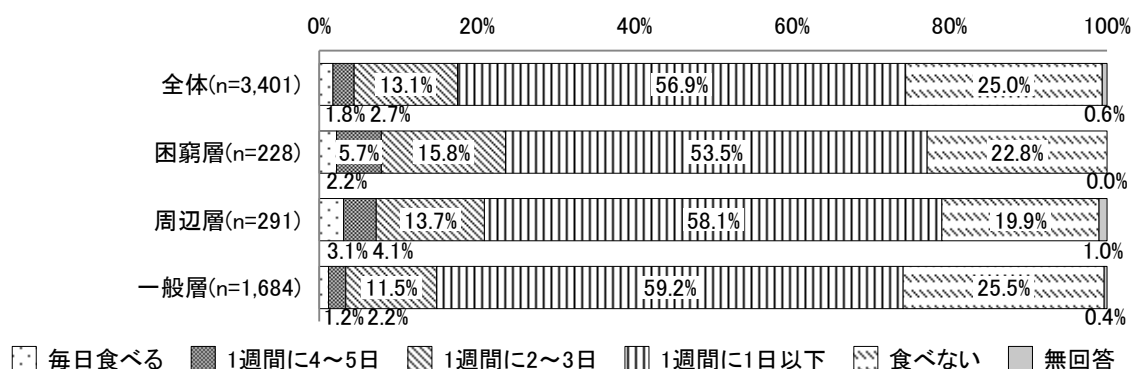
「困窮層」では、「1週間に1日以下」が53.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「1週間に1日以下」が58.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に1日以下」が59.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 229 給食以外での摂取状況_カップめん・インスタントめん：単数回答（Q17D）（生活困
難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



8) 給食以外での摂取状況_コンビニのおにぎり・お弁当

小学生の「全体」では、「1週間に1日以下」が53.6%でもっとも割合が高く、次いで「食べない」が28.9%となっている。

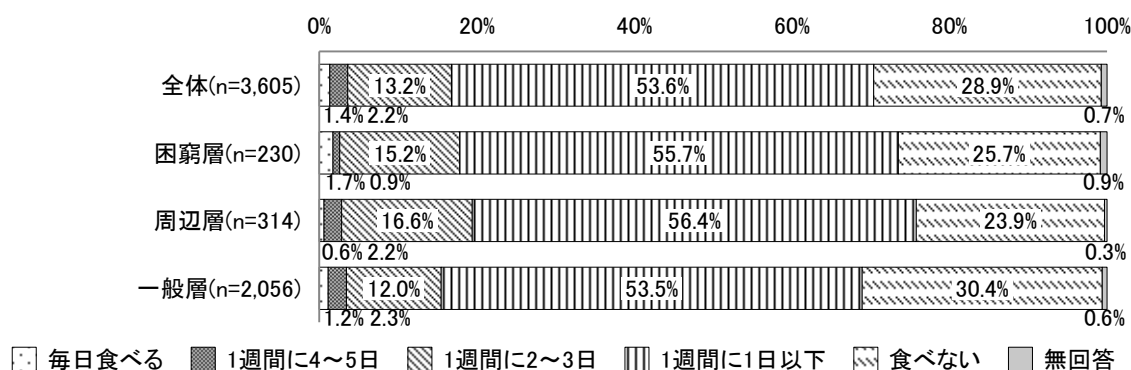
「困窮層」では、「1週間に1日以下」が55.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「1週間に1日以下」が56.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に1日以下」が53.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「1週間に1日以下」が53.8%でもっとも割合が高く、次いで「食べない」が28.3%となっている。

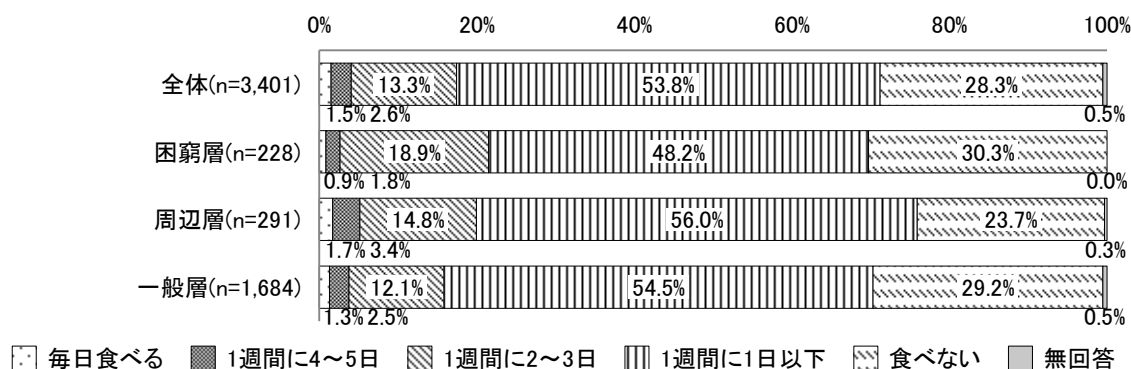
「困窮層」では、「1週間に1日以下」が48.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「1週間に1日以下」が56.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に1日以下」が54.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 230 給食以外での摂取状況_コンビニのおにぎり・お弁当：単数回答（Q17E）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



9) 給食以外での摂取状況_お菓子

小学生の「全体」では、「毎日食べる」が49.2%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に4～5日」が26.1%となっている。

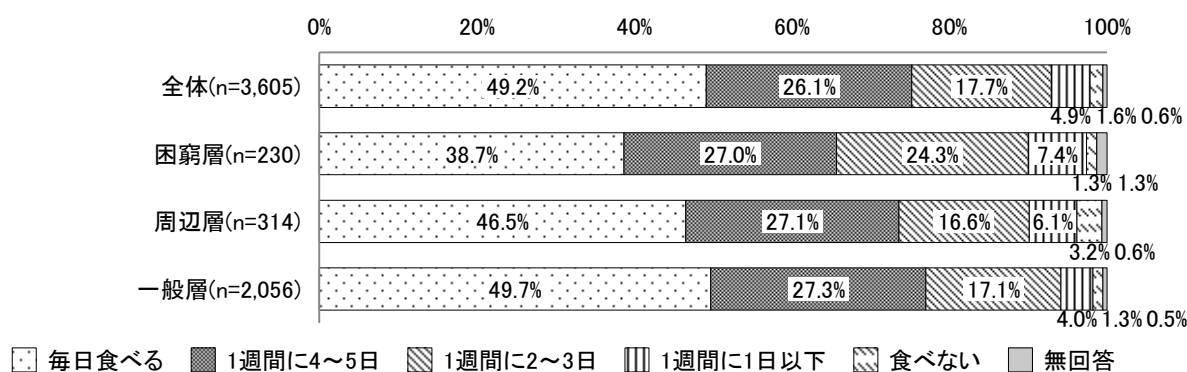
「困窮層」では、「毎日食べる」が38.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日食べる」が46.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日食べる」が49.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「毎日食べる」が32.5%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に4～5日」が28.8%となっている。

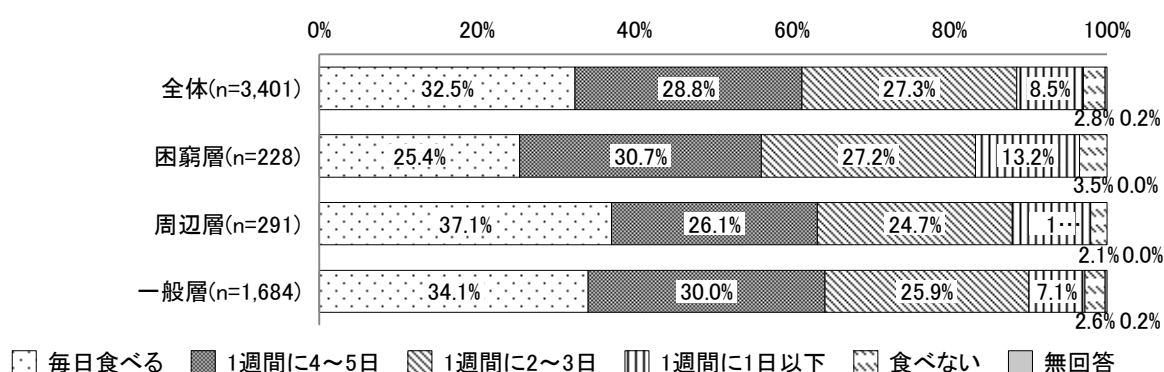
「困窮層」では、「1週間に4～5日」が30.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日食べる」が37.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日食べる」が34.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 231 給食以外での摂取状況_お菓子：単数回答（Q17F）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)

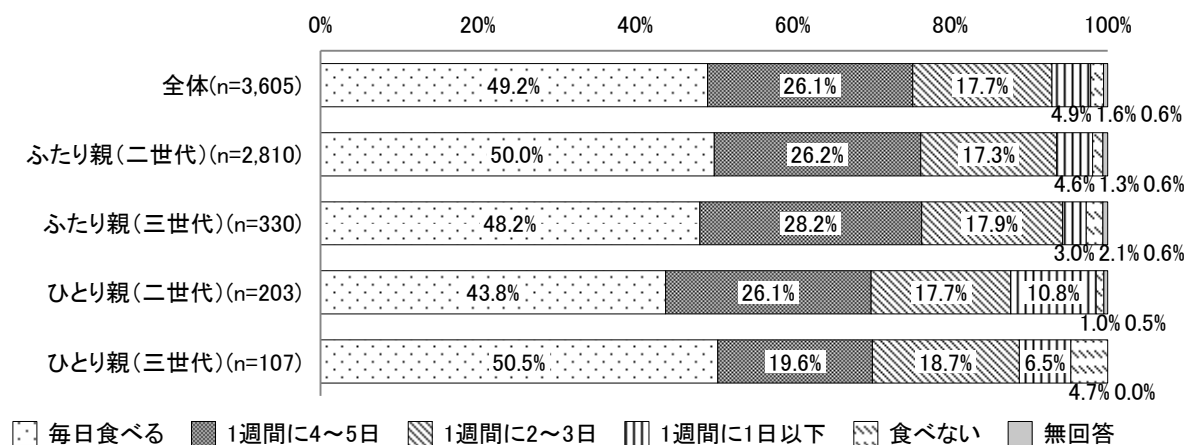


<中学生> (p<.05)



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「1週間に1日程度」とする割合が高くなっている。中学生では有意な差がみられない。

図表 232 給食以外での摂取状況_お菓子：単数回答（Q17F）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.01$ ）



(3) 平日放課後や休日の過ごし方について

1) 平日の放課後に過ごす人

小学生の「全体」では、「家族」が 57.2%でもっとも割合が高く、次いで「学校の友だち」が 24.2%となっている。

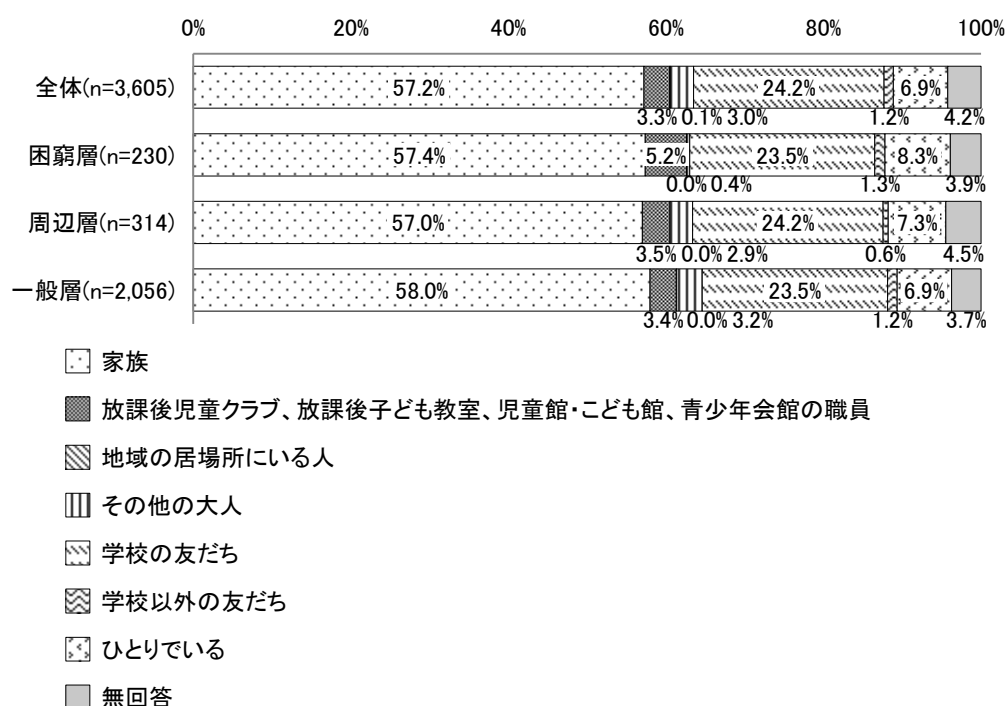
「困窮層」では、「家族」が 57.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「家族」が 57.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「家族」が 58.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「家族」が 49.3%でもっとも割合が高く、次いで「学校の友だち」が 30.5%となっている。

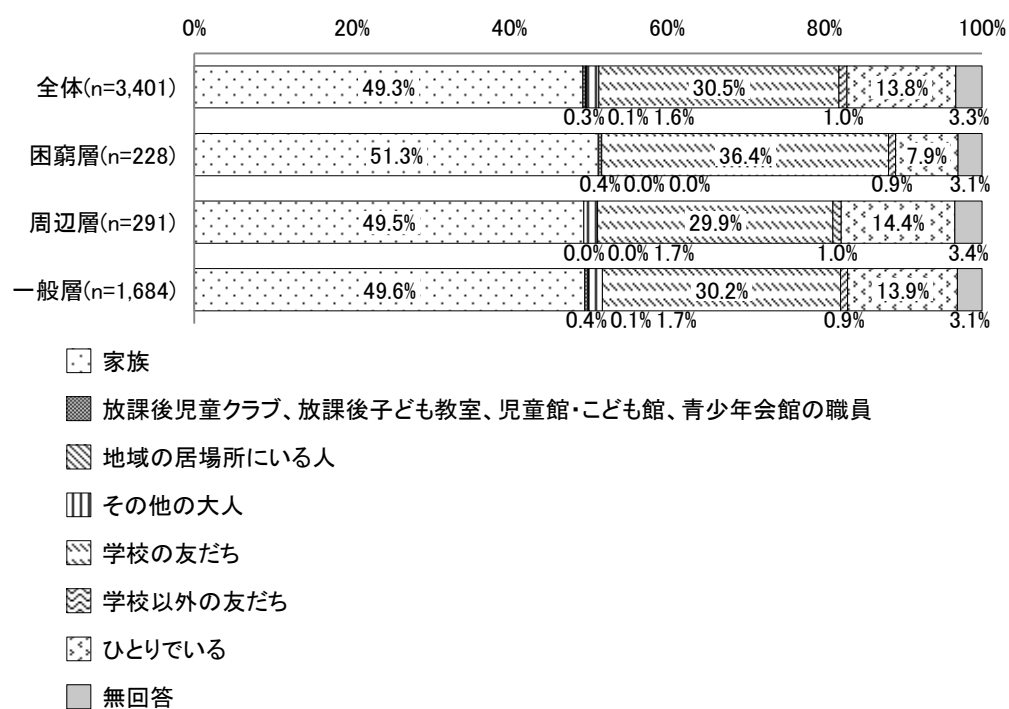
「困窮層」では、「家族」が 51.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「家族」が 49.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「家族」が 49.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 233 平日の放課後に過ごす人：単数回答（Q18）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



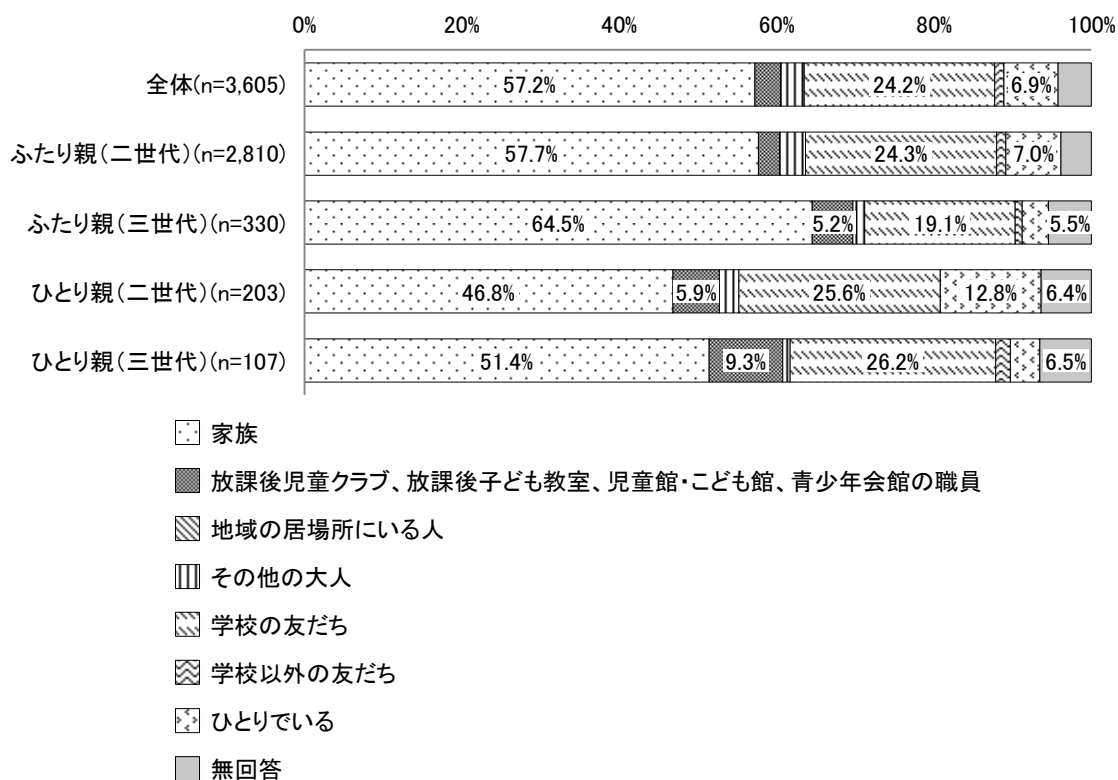
<中学生> (有意差なし)



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「家族」とする割合が低く、「ひとりである」とする割合が高くなっている。中学生では有意な差がみられない。

図表 234 平日の放課後に過ごす人：単数回答（Q18）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<数値表：小学生>

	合計	Q18 平日の放課後に過ごす人							
		家族	放課後児童クラブ、放課後子ども教室、児童館・こども館、青少年会館の職員	地域の居場所にいる人	その他の大人	学校の友だち	学校以外の友だち	ひとりである	無回答
全体	3,605	57.2	3.3	0.1	3.0	24.2	1.2	6.9	4.2
ふたり親（二世帯）	2,810	57.7	2.7	0.0	3.3	24.3	1.2	7.0	3.9
ふたり親（三世帯）	330	64.5	5.2	0.0	1.5	19.1	0.9	3.3	5.5
ひとり親（二世帯）	203	46.8	5.9	0.0	2.5	25.6	0.0	12.8	6.4
ひとり親（三世帯）	107	51.4	9.3	0.0	0.9	26.2	1.9	3.7	6.5

2) 平日の放課後に過ごす場所_自分の家

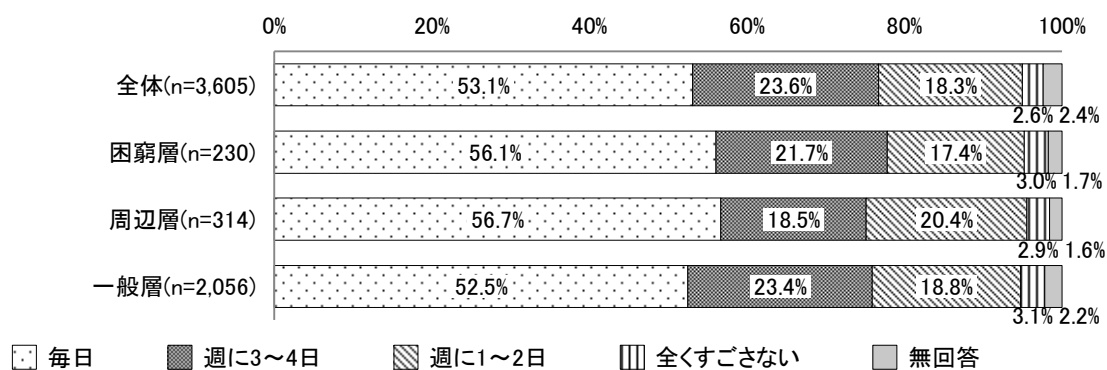
小学生の「全体」では、「毎日」が 53.1%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3～4 日」が 23.6%となっている。

「困窮層」では、「毎日」が 56.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日」が 56.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日」が 52.5%でもっとも割合が高くなっている。

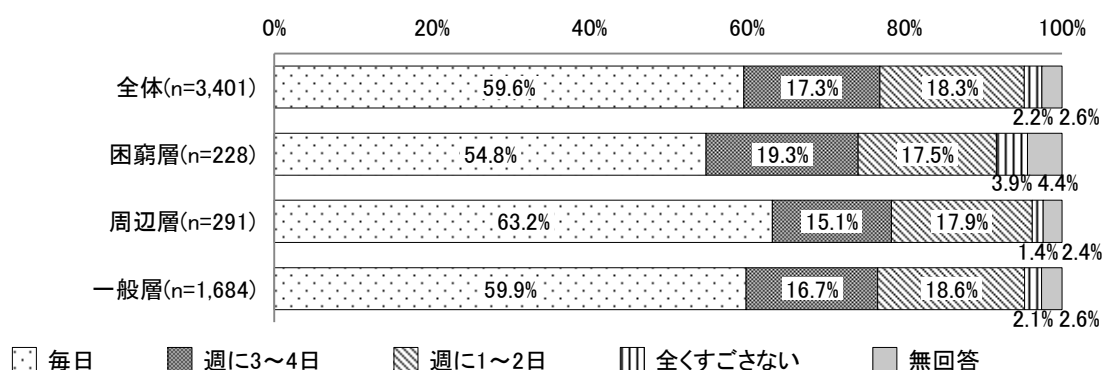
中学生の「全体」では、「毎日」が 59.6%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 18.3%となっている。

「困窮層」では、「毎日」が 54.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日」が 63.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日」が 59.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 235 平日の放課後に過ごす場所_自分の家：単数回答（Q19A）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）

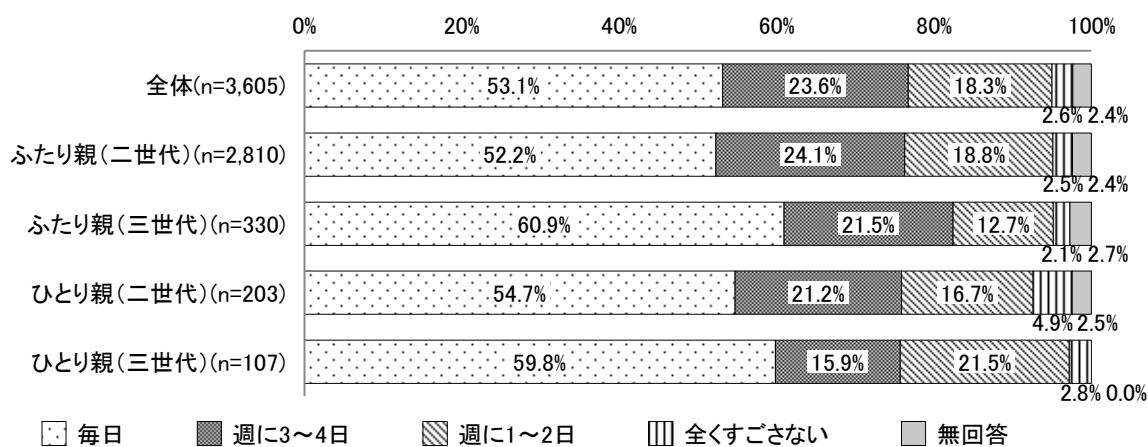


＜中学生＞（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「毎日」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 236 平日の放課後に過ごす場所_自分の家：単数回答（Q19A）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.05$ ）



3) 平日の放課後に過ごす場所_友だちの家

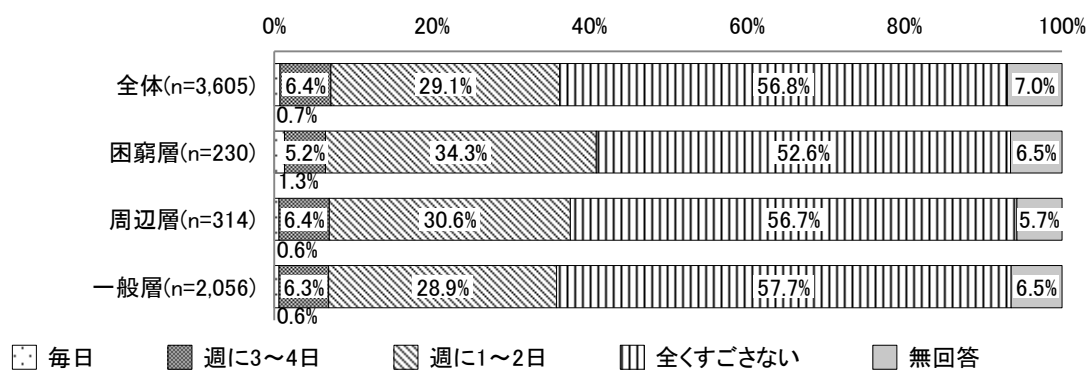
小学生の「全体」では、「全くすごさない」が 56.8%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 29.1%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が 52.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 56.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 57.7%でもっとも割合が高くなっている。

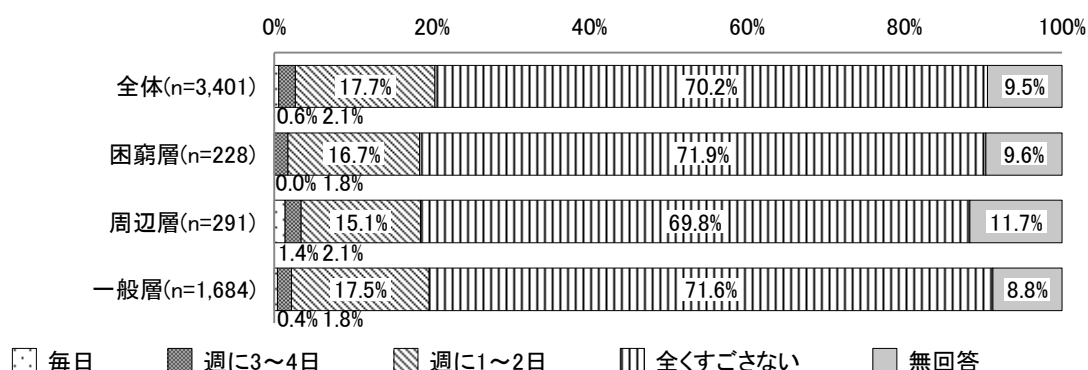
中学生の「全体」では、「全くすごさない」が 70.2%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 17.7%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が 71.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 69.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 71.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 237 平日の放課後に過ごす場所_友だちの家：単数回答（Q19B）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）

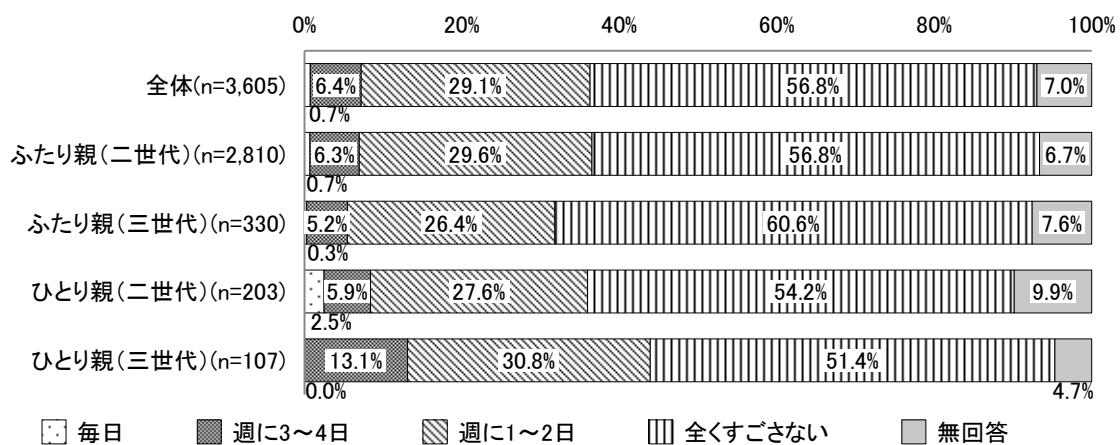


＜中学生＞（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「週に3 | 4日」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 238 平日の放課後に過ごす場所_友だちの家：単数回答（Q19B）（世帯タイプ別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



4) 平日の放課後に過ごす場所_塾や習い事

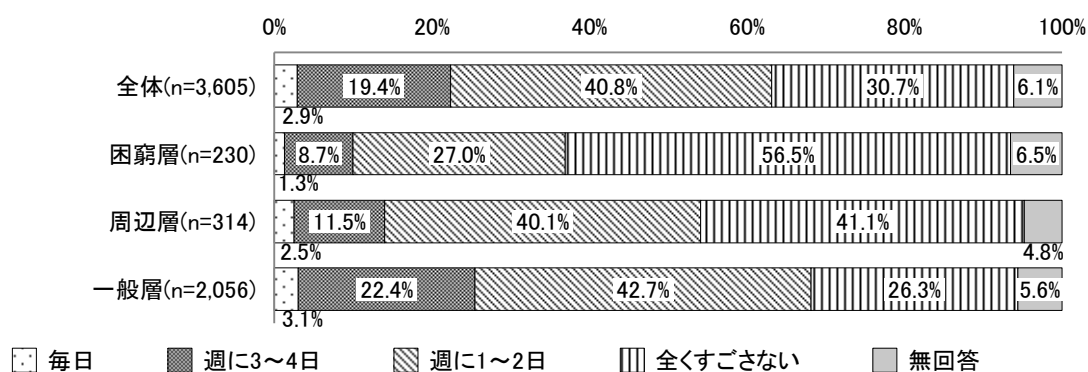
小学生の「全体」では、「週に1～2日」が40.8%でもっとも割合が高く、次いで「全くすごさない」が30.7%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が56.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が41.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に1～2日」が42.7%でもっとも割合が高くなっている。

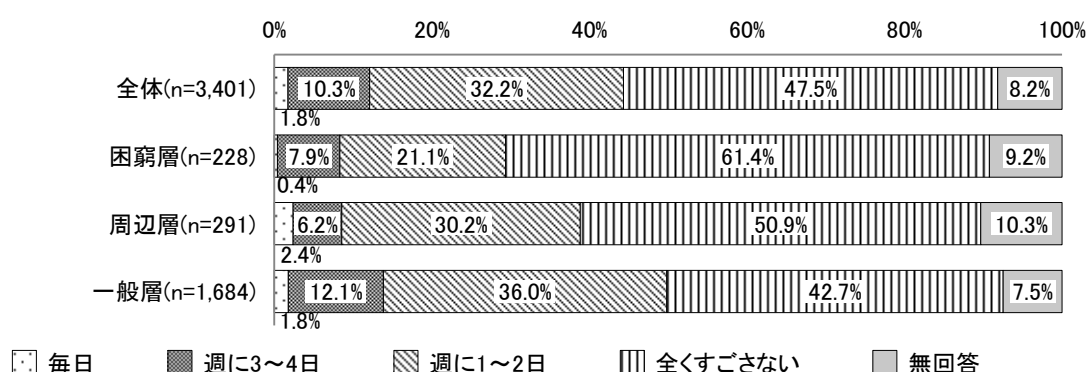
中学生の「全体」では、「全くすごさない」が47.5%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が32.2%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が61.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が50.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が42.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 239 平日の放課後に過ごす場所_塾や習い事：単数回答（Q19C）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）

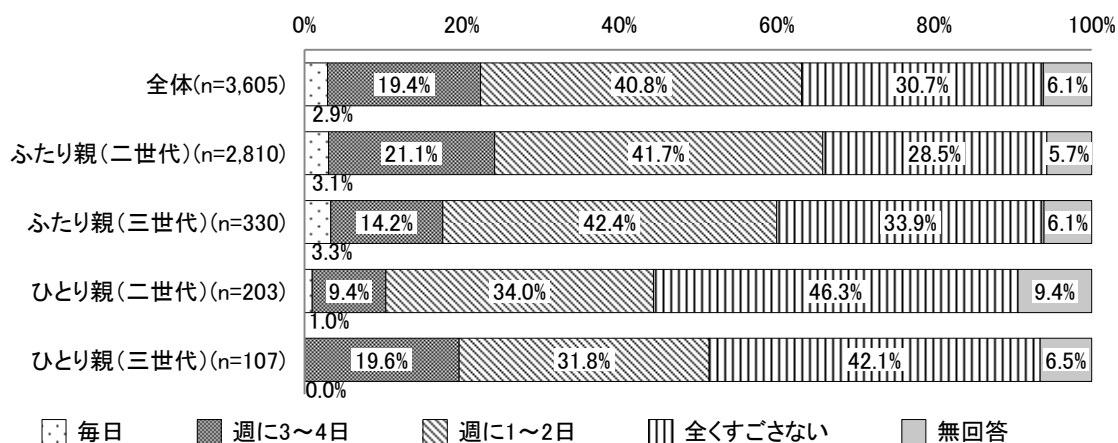


＜中学生＞（ $p<.01$ ）

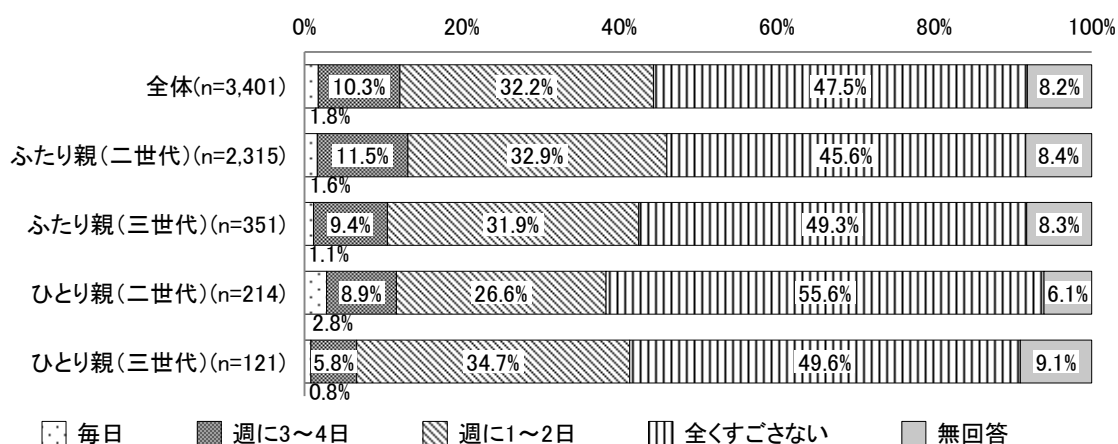


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「全くすごさない」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 240 平日の放課後に過ごす場所_塾や習い事：単数回答（Q19C）（世帯タイプ別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（有意差なし）



5) 平日の放課後に過ごす場所_放課後児童クラブ、放課後子ども教室

小学生の「全体」では、「全くすごさない」が83.2%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が5.2%となっている。

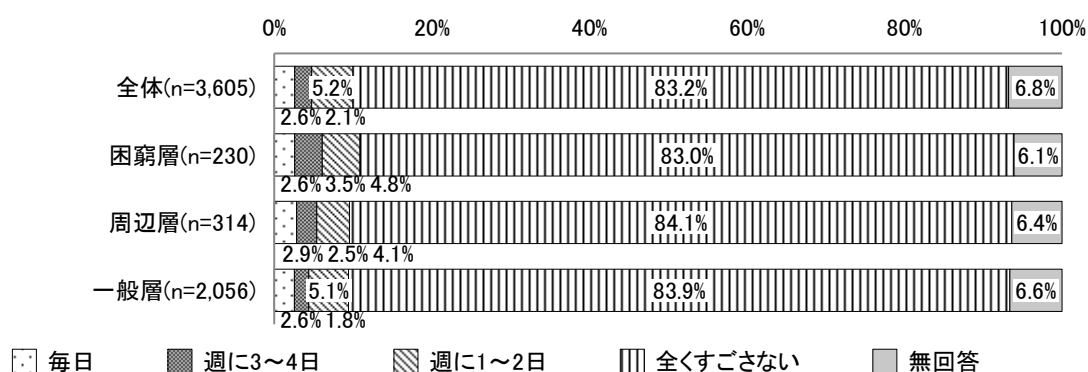
「困窮層」では、「全くすごさない」が83.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が84.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が83.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「全くすごさない」が87.9%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が1.4%となっている。

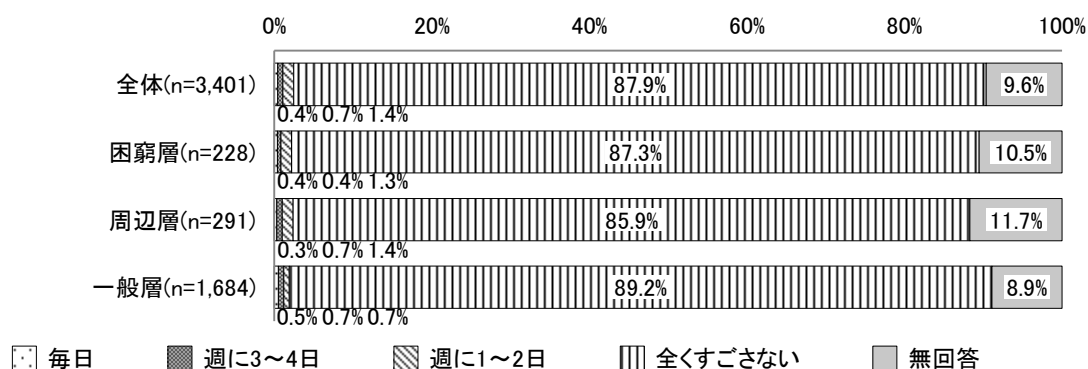
「困窮層」では、「全くすごさない」が87.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が85.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が89.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 241 平日の放課後に過ごす場所_放課後児童クラブ、放課後子ども教室：単数回答
(Q19D) (生活困難度別)

<小学生> (有意差なし)



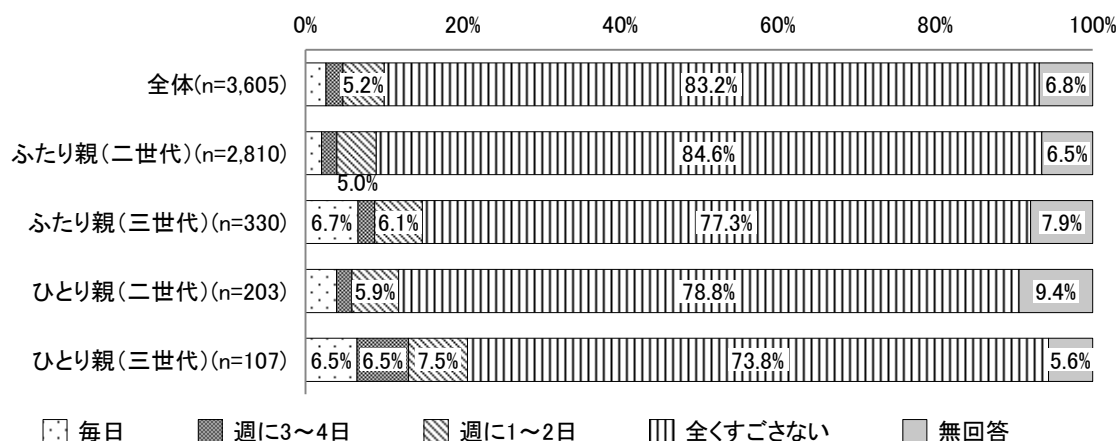
<中学生> (有意差なし)



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「全く過ごさない」とする割合が低くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 242 平日の放課後に過ごす場所_放課後児童クラブ、放課後子ども教室：単数回答
(Q19D)（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<数値表：小学生>

	合計	Q19D 平日の放課後に過ごす場所_放課後児童クラブ、放課後子ども教室				
		毎日	週に3~4日	週に1~2日	全く過ごさない	無回答
全体	3,605	2.6	2.1	5.2	83.2	6.8
ふたり親（二世帯）	2,810	2.0	2.0	5.0	84.6	6.5
ふたり親（三世帯）	330	6.7	2.1	6.1	77.3	7.9
ひとり親（二世帯）	203	3.9	2.0	5.9	78.8	9.4
ひとり親（三世帯）	107	6.5	6.5	7.5	73.8	5.6

6) 平日の放課後に過ごす場所_学校の部活動

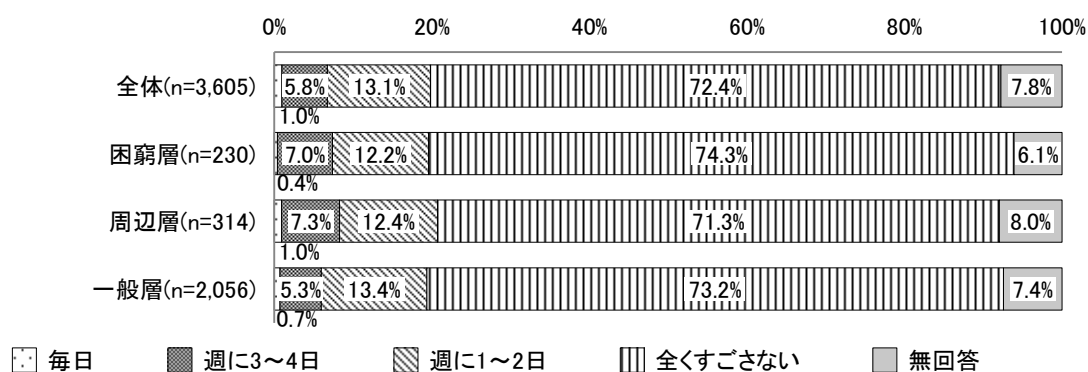
小学生の「全体」では、「全くすごさない」が72.4%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が13.1%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が74.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が71.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が73.2%でもっとも割合が高くなっている。

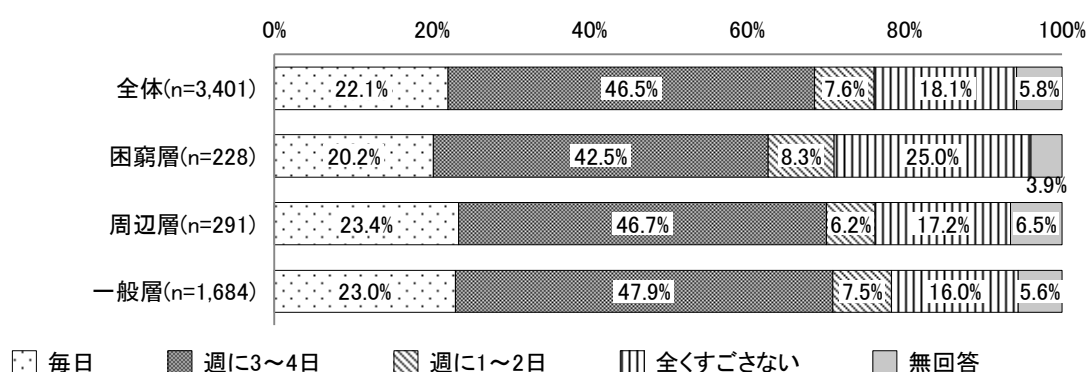
中学生の「全体」では、「週に3～4日」が46.5%でもっとも割合が高く、次いで「毎日」が22.1%となっている。

「困窮層」では、「週に3～4日」が42.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に3～4日」が46.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に3～4日」が47.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 243 平日の放課後に過ごす場所_学校の部活動：単数回答（Q19E）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（有意差なし）



7) 平日の放課後に過ごす場所_D、E 以外で、学校の図書館、教室、校庭

小学生の「全体」では、「全くすごさない」が 77.6%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 8.0%となっている。

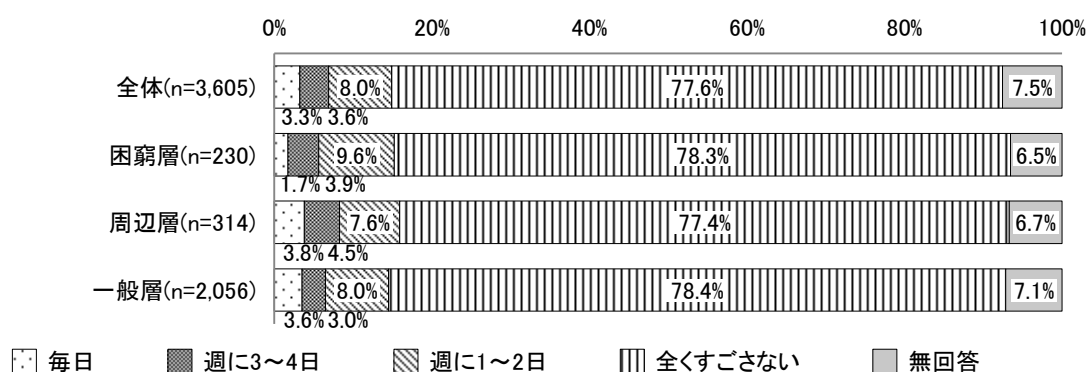
「困窮層」では、「全くすごさない」が 78.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 77.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 78.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「全くすごさない」が 82.4%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 3.7%となっている。

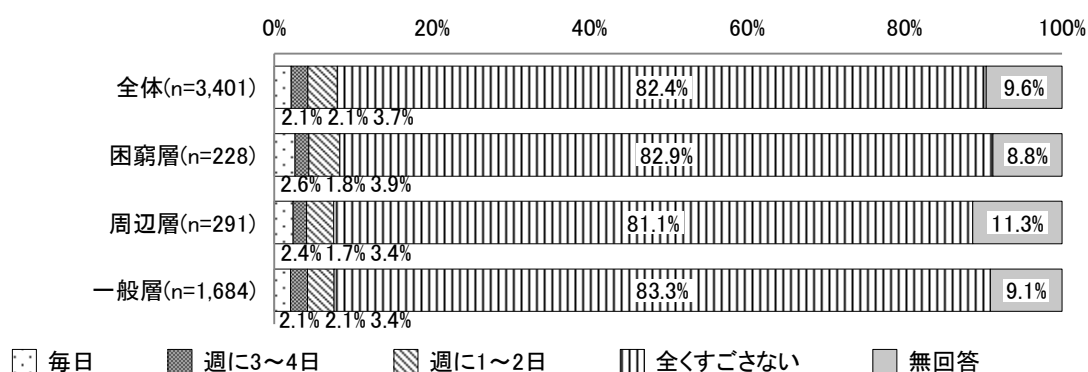
「困窮層」では、「全くすごさない」が 82.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 81.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 83.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 244 平日の放課後に過ごす場所_D、E 以外で、学校の図書館、教室、校庭：単数回答
(Q19F) (生活困難度別)

<小学生> (有意差なし)



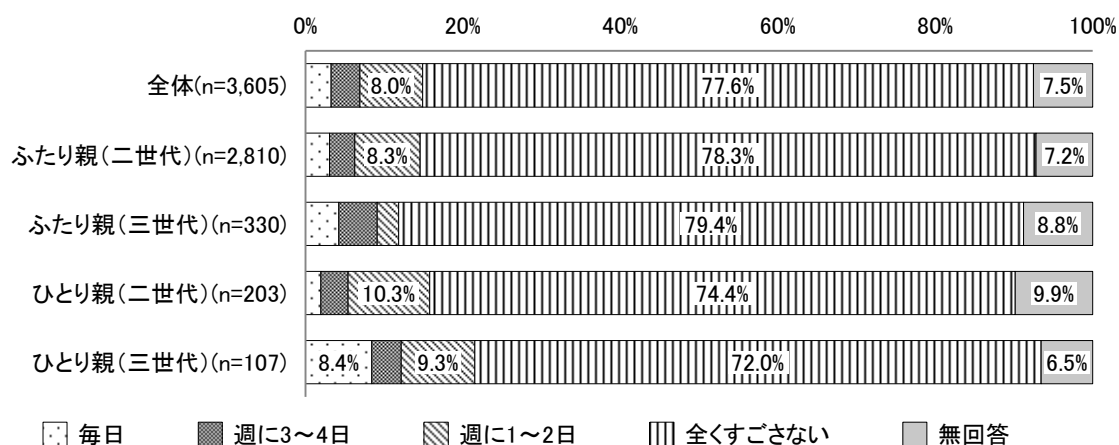
<中学生> (有意差なし)



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「毎日」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 245 平日の放課後に過ごす場所_D、E以外で、学校の図書館、教室、校庭：単数回答
(Q19F)（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<数値表：小学生>

	合計	Q19F 平日の放課後に過ごす場所_D、E以外で、学校の図書館、教室、校庭				
		毎日	週に3～4日	週に1～2日	全く過ごさない	無回答
全体	3,605	3.3	3.6	8.0	77.6	7.5
ふたり親（二世帯）	2,810	3.1	3.2	8.3	78.3	7.2
ふたり親（三世代）	330	4.2	4.8	2.7	79.4	8.8
ひとり親（二世帯）	203	2.0	3.4	10.3	74.4	9.9
ひとり親（三世代）	107	8.4	3.7	9.3	72.0	6.5

8) 平日の放課後に過ごす場所_地域の居場所

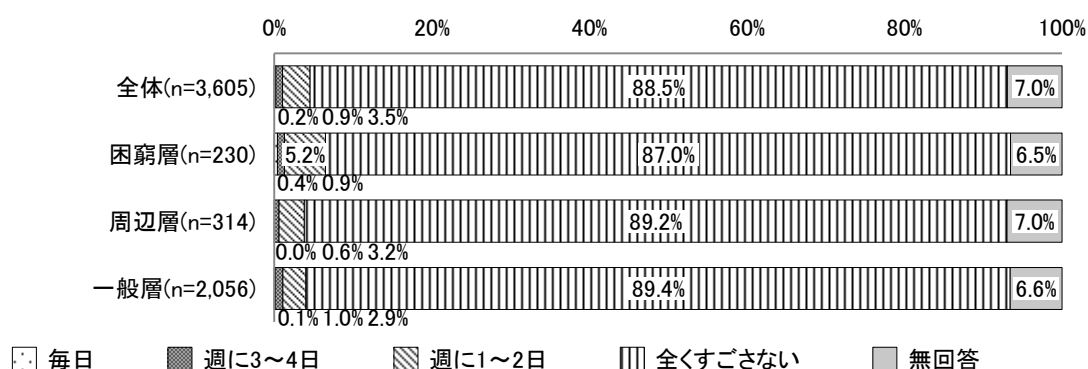
小学生の「全体」では、「全くすごさない」が88.5%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が3.5%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が87.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が89.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が89.4%でもっとも割合が高くなっている。

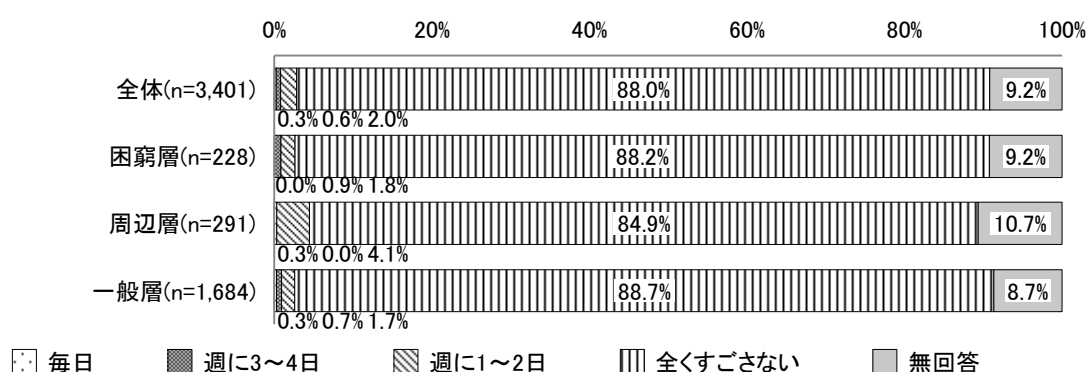
中学生の「全体」では、「全くすごさない」が88.0%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が2.0%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が88.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が84.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が88.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 246 平日の放課後に過ごす場所_地域の居場所：単数回答（Q19G）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（有意差なし）



9) 平日の放課後に過ごす場所_学校外のスポーツクラブの活動の場

小学生の「全体」では、「全くすごさない」が 72.7%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 13.4%となっている。

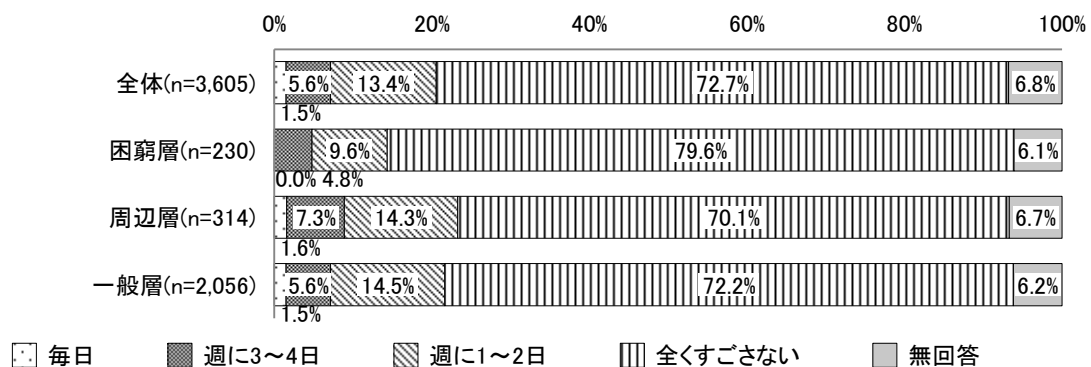
「困窮層」では、「全くすごさない」が 79.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 70.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 72.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「全くすごさない」が 77.3%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 7.7%となっている。

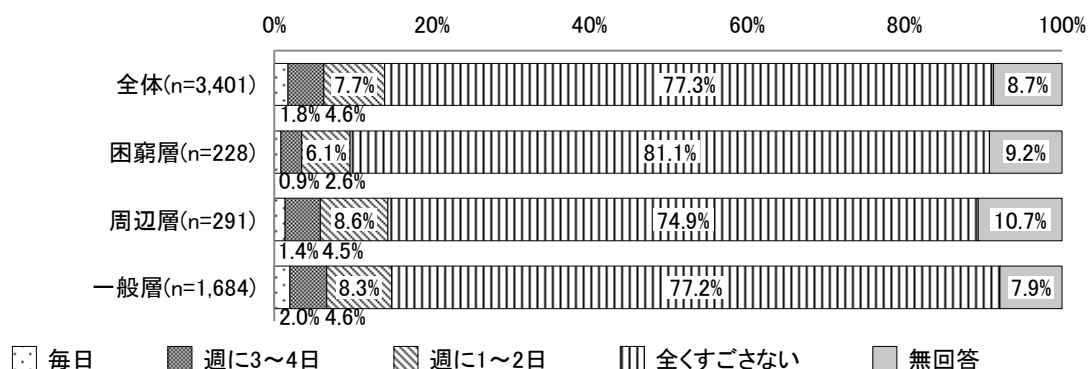
「困窮層」では、「全くすごさない」が 81.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 74.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 77.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 247 平日の放課後に過ごす場所_学校外のスポーツクラブの活動の場：単数回答
(Q19H) (生活困難度別)

<小学生> (有意差なし)



<中学生> (有意差なし)



10) 平日の放課後に過ごす場所_公園

小学生の「全体」では、「全くすごさない」が 37.1%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 34.3%となっている。

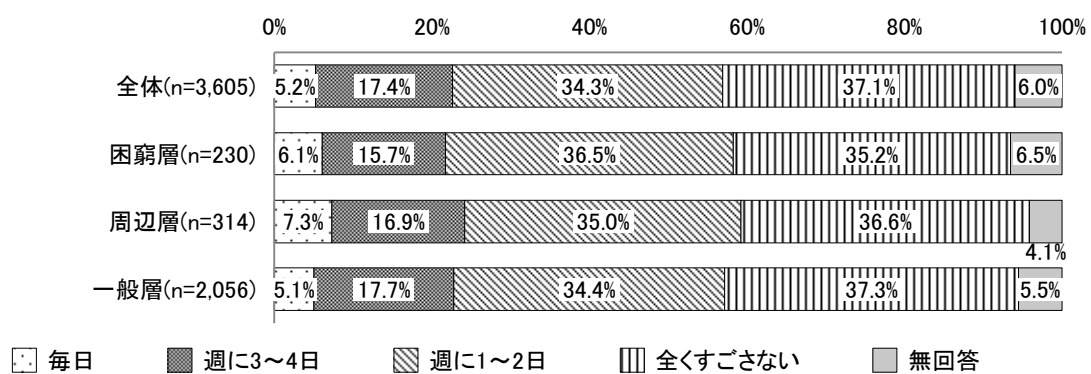
「困窮層」では、「週に 1～2 日」が 36.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 36.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 37.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「全くすごさない」が 66.2%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 19.1%となっている。

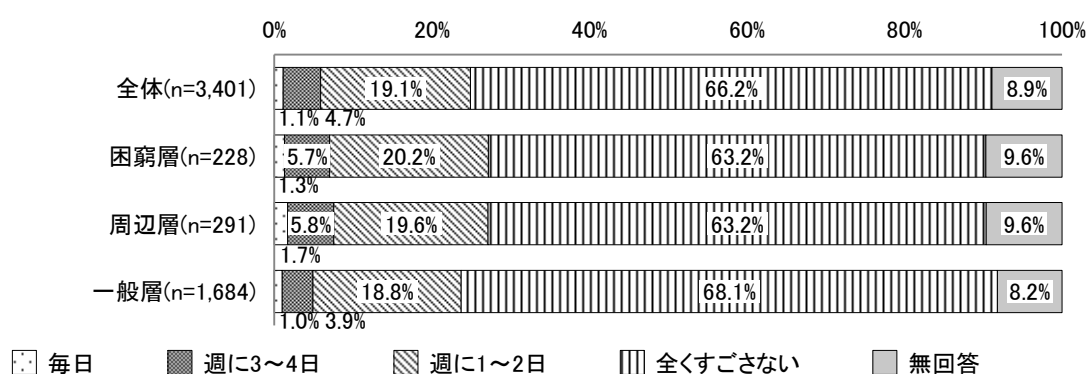
「困窮層」では、「全くすごさない」が 63.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 63.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 68.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 248 平日の放課後に過ごす場所_公園：単数回答（Q19I）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）

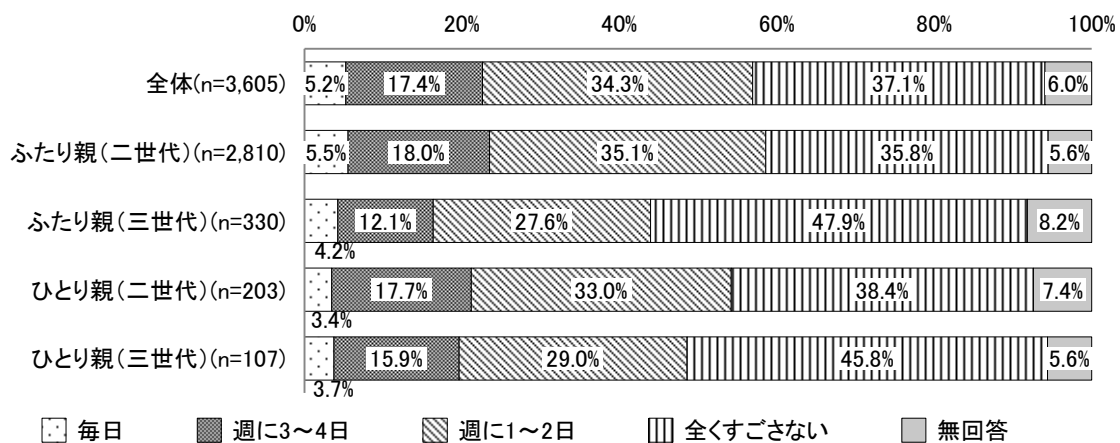


<中学生>（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ふたり親（三世代）」において「全く過ごさない」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 249 平日の放課後に過ごす場所_公園：単数回答（Q19I）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.01$ ）



11) 平日の放課後に過ごす場所_図書館

小学生の「全体」では、「全くすごさない」が85.0%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が7.1%となっている。

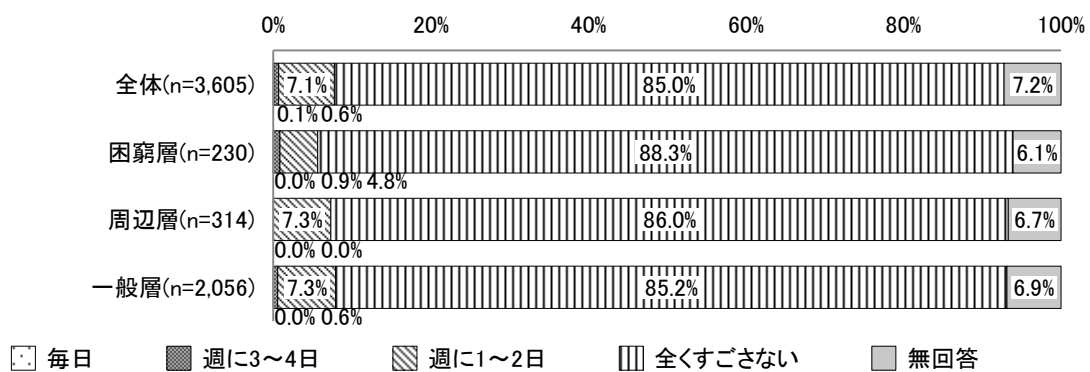
「困窮層」では、「全くすごさない」が88.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が86.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が85.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「全くすごさない」が86.6%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が9.1%となっている。

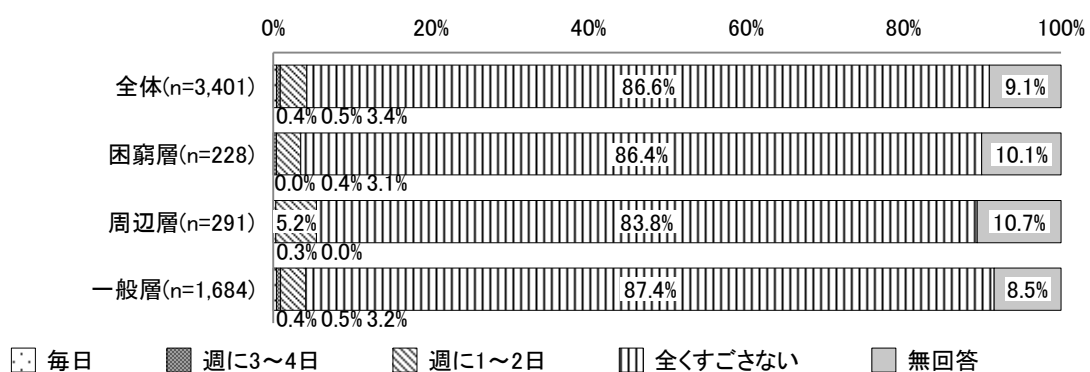
「困窮層」では、「全くすごさない」が86.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が83.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が87.4%でもっとも割合が高くなっている。

f

図表 250 平日の放課後に過ごす場所_図書館：単数回答（Q19J）（生活困難度別）
＜小学生＞（検定不可）



＜中学生＞（有意差なし）



12) 平日の放課後に過ごす場所_公民館

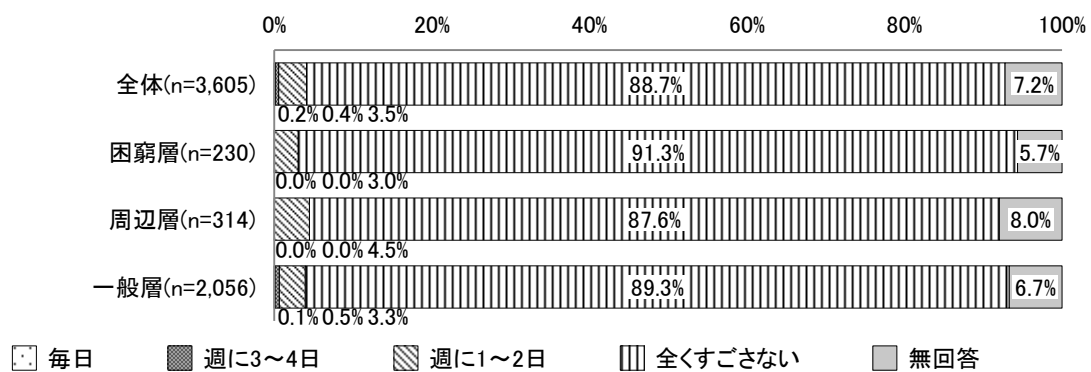
小学生の「全体」では、「全くすごさない」が 88.7%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 3.5%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が 91.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 87.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 89.3%でもっとも割合が高くなっている。

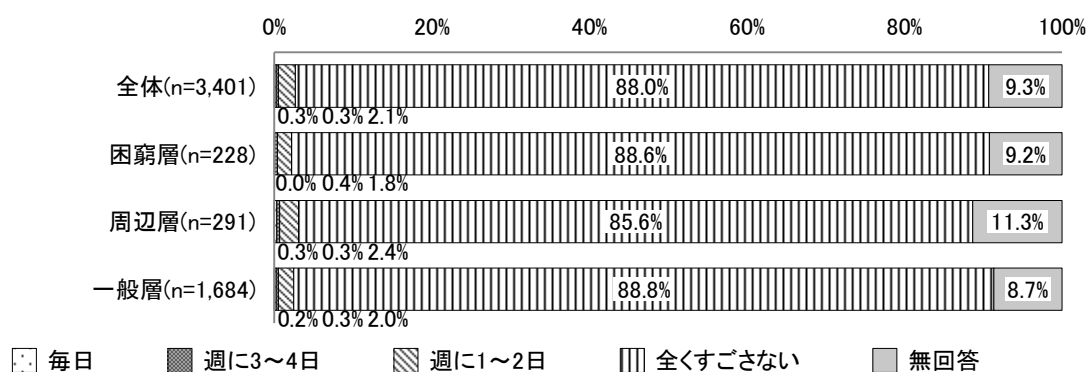
中学生の「全体」では、「全くすごさない」が 88.0%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 日」が 2.1%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が 88.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 85.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 88.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 251 平日の放課後に過ごす場所_公民館：単数回答（Q19K）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（有意差なし）



13) 平日の放課後に過ごす場所_児童館・こども館、青少年会館

小学生の「全体」では、「全くすごさない」が 87.5%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 4.7%となっている。

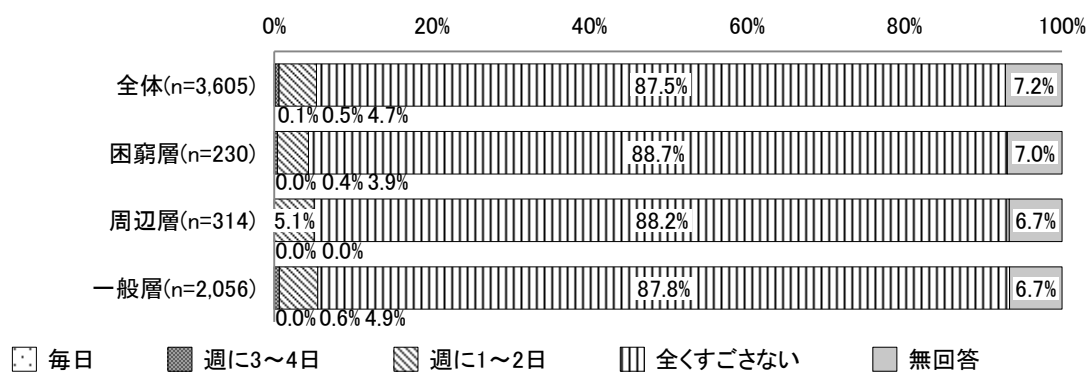
「困窮層」では、「全くすごさない」が 88.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 88.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 87.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「全くすごさない」が 88.7%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 1.3%となっている。

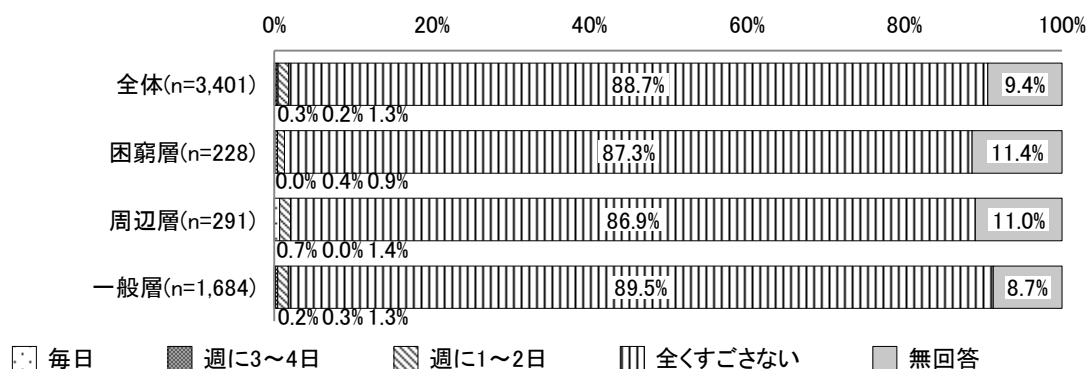
「困窮層」では、「全くすごさない」が 87.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 86.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 89.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 252 平日の放課後に過ごす場所_児童館・こども館、青少年会館：単数回答（Q19L）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



14) 平日の放課後に過ごす場所_ファストフード店、ショッピングモール、ゲームセンター

小学生の「全体」では、「全くすごさない」が71.3%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が18.4%となっている。

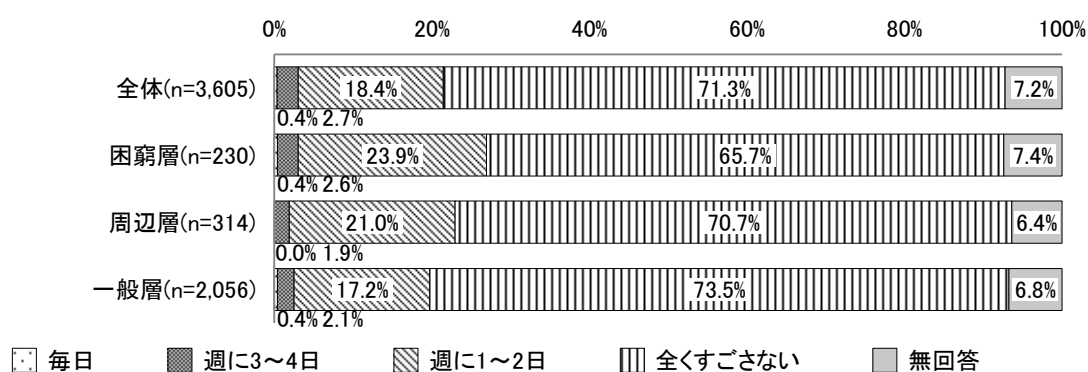
「困窮層」では、「全くすごさない」が65.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が70.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が73.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「全くすごさない」が65.7%でもっとも割合が高く、次いで「週に1～2日」が21.5%となっている。

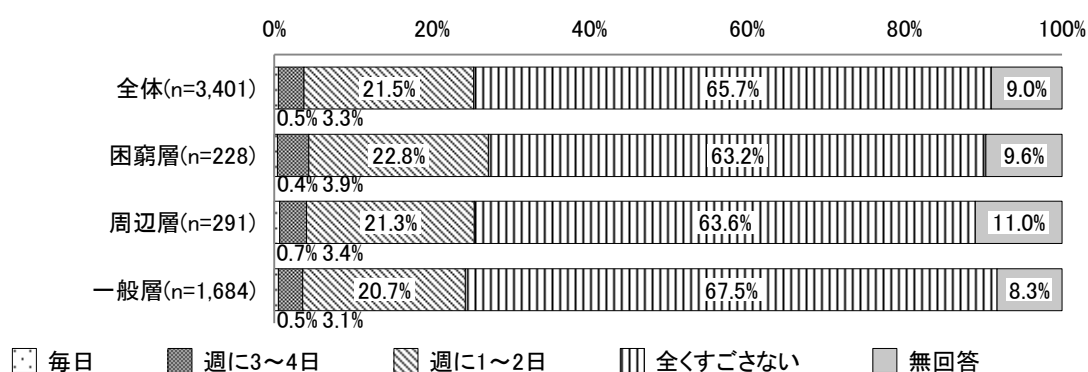
「困窮層」では、「全くすごさない」が63.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が63.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が67.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 253 平日の放課後に過ごす場所_ファストフード店、ショッピングモール、ゲームセンター：単数回答（Q19M）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



15) 平日の放課後に過ごす場所_その他

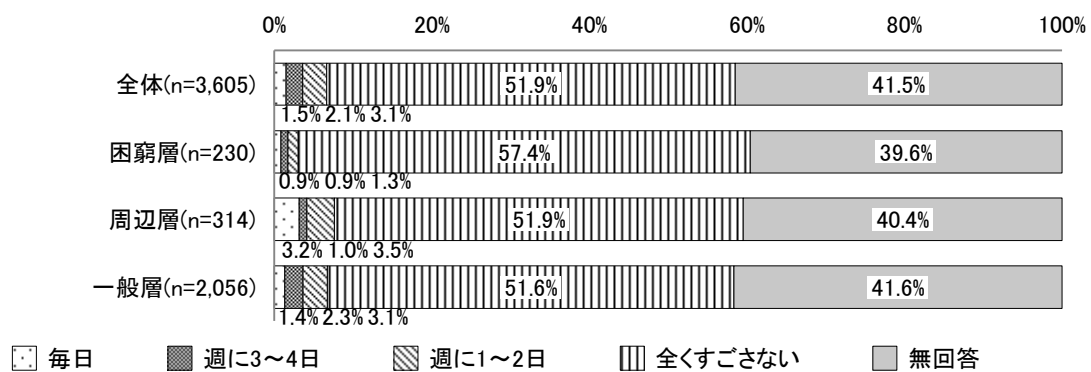
小学生の「全体」では、「全くすごさない」が 51.9%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 3.1%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が 57.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 51.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 51.6%でもっとも割合が高くなっている。

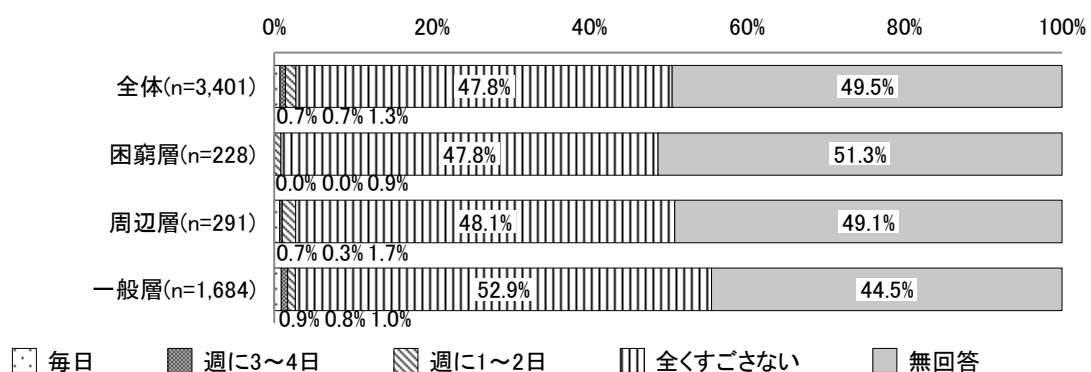
中学生の「全体」では、「全くすごさない」が 49.5%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 1.3%となっている。

「困窮層」では、「全くすごさない」が 47.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「全くすごさない」が 48.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「全くすごさない」が 52.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 254 平日の放課後に過ごす場所_その他：単数回答（Q19N）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（有意差なし）



16) 一番ほっとできる居場所

小学生の「全体」では、「A_自分の家」が 81.0%でもっとも割合が高く、次いで「I_公園」が 3.7%となっている。

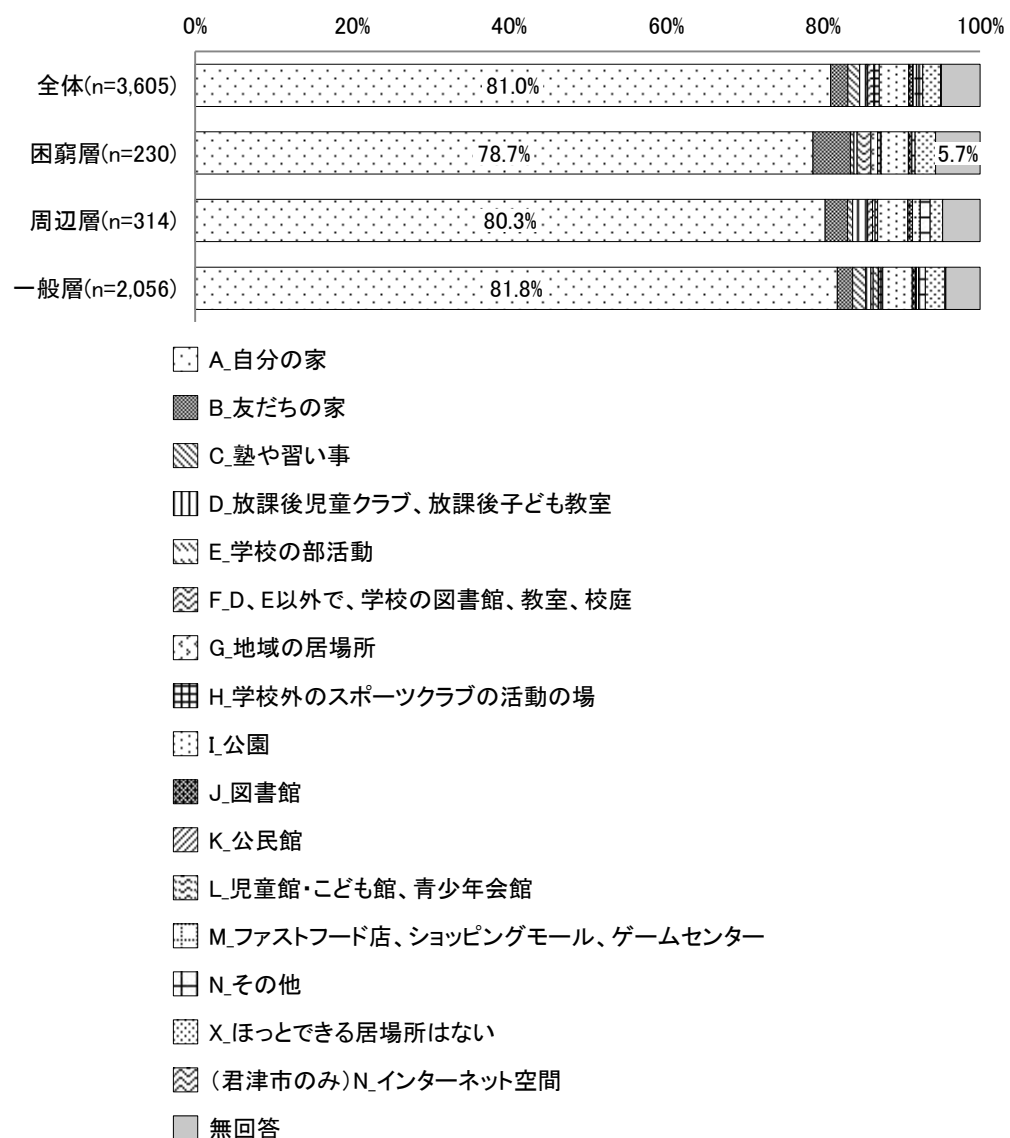
「困窮層」では、「A_自分の家」が 78.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「A_自分の家」が 80.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「A_自分の家」が 81.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「A_自分の家」が 82.5%でもっとも割合が高く、次いで「E_学校の部活動」が 4.0%となっている。

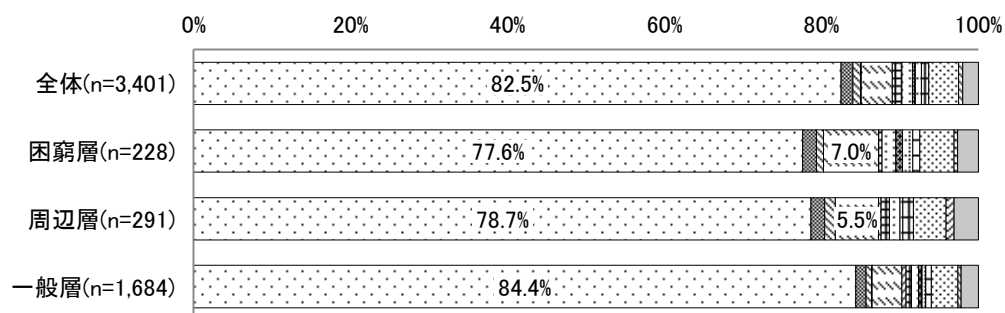
「困窮層」では、「A_自分の家」が 77.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「A_自分の家」が 78.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「A_自分の家」が 84.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 255 一番ほっとできる居場所：単数回答（Q20）（生活困難度別）

<小学生>（検定不可）



< 中学生 > (検定不可)



- ☐ A_自分の家
- ☐ B_友だちの家
- ☐ C_塾や習い事
- ☐ D_放課後児童クラブ、放課後子ども教室
- ☐ E_学校の部活動
- ☐ F_D、E以外で、学校の図書館、教室、校庭
- ☐ G_地域の居場所
- ☐ H_学校外のスポーツクラブの活動の場
- ☐ I_公園
- ☐ J_図書館
- ☐ K_公民館
- ☐ L_児童館・こども館、青少年会館
- ☐ M_ファストフード店、ショッピングモール、ゲームセンター
- ☐ N_その他
- ☐ X_ほっとできる居場所はない
- ☐ (君津市のみ)N_インターネット空間
- ☐ 無回答

< 数値表：小学生 >

	合計	Q20 一番ほっとできる居場所																無回答
		A_自分の家	B_友だちの家	C_塾や習い事	D_放課後児童クラブ、放課後子ども教室	E_学校の部活動	F_D、E以外で、学校の図書館、教室、校庭	G_地域の居場所	H_学校外のスポーツクラブの活動の場	I_公園	J_図書館	K_公民館	L_児童館・こども館、青少年会館	M_ファストフード店、ショッピングモール、ゲームセンター	N_その他	X_ほっとできる居場所はない	(君津市のみ)N_インターネット空間	
全体	3,605	81.0	2.2	1.5	0.8	0.2	0.8	0.1	0.6	3.7	0.5	0.0	0.1	0.4	0.8	2.3	0.1	4.9
困窮層	230	78.7	4.8	0.4	0.4	0.0	1.7	0.9	0.4	3.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	2.6	0.0	5.7
周辺層	314	80.3	2.9	0.6	1.9	0.0	0.6	0.3	0.3	3.8	0.6	0.0	0.0	1.0	1.3	1.6	0.0	4.8
一般層	2,056	81.8	1.9	1.7	0.6	0.3	0.6	0.0	0.5	3.7	0.4	0.0	0.1	0.3	0.9	2.5	0.1	4.4

< 数値表：中学生 >

	合計	Q20 一番ほっとできる居場所																無回答
		A_自分の家	B_友だちの家	C_塾や習い事	D_放課後児童クラブ、放課後子ども教室	E_学校の部活動	F_D、E以外で、学校の図書館、教室、校庭	G_地域の居場所	H_学校外のスポーツクラブの活動の場	I_公園	J_図書館	K_公民館	L_児童館・こども館、青少年会館	M_ファストフード店、ショッピングモール、ゲームセンター	N_その他	X_ほっとできる居場所はない	(君津市のみ)N_インターネット空間	
全体	3,401	82.5	1.5	1.0	0.1	4.0	0.4	0.1	0.8	1.3	0.4	0.0	0.0	0.8	1.0	3.8	0.5	2.0
困窮層	228	77.6	1.8	0.9	0.0	7.0	0.0	0.0	0.4	1.8	0.9	0.0	0.0	1.3	0.9	4.4	0.4	2.6
周辺層	291	78.7	1.7	1.4	0.0	5.5	0.3	0.0	1.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.3	1.4	4.1	1.0	3.1
一般層	1,684	84.4	1.3	0.7	0.1	3.8	0.5	0.0	0.7	0.9	0.4	0.1	0.0	0.5	0.7	3.4	0.4	2.2

17) 休日に過ごす人

小学生の「全体」では、「家族」が86.5%でもっとも割合が高く、次いで「学校の友だち」が3.9%となっている。

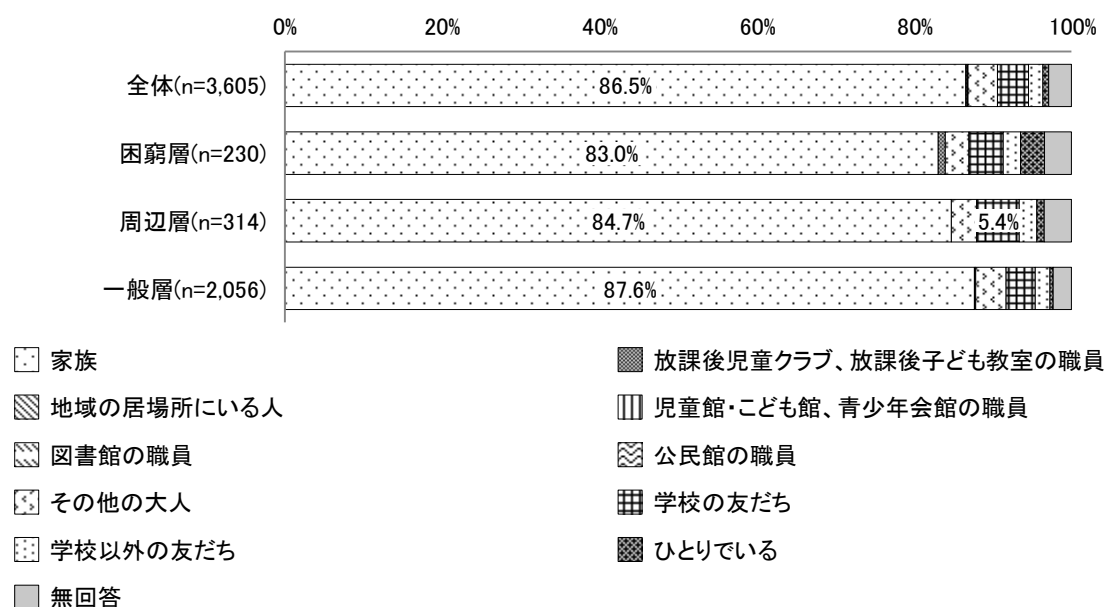
「困窮層」では、「家族」が83.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「家族」が84.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「家族」が87.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「家族」が70.6%でもっとも割合が高く、次いで「学校の友だち」が15.6%となっている。

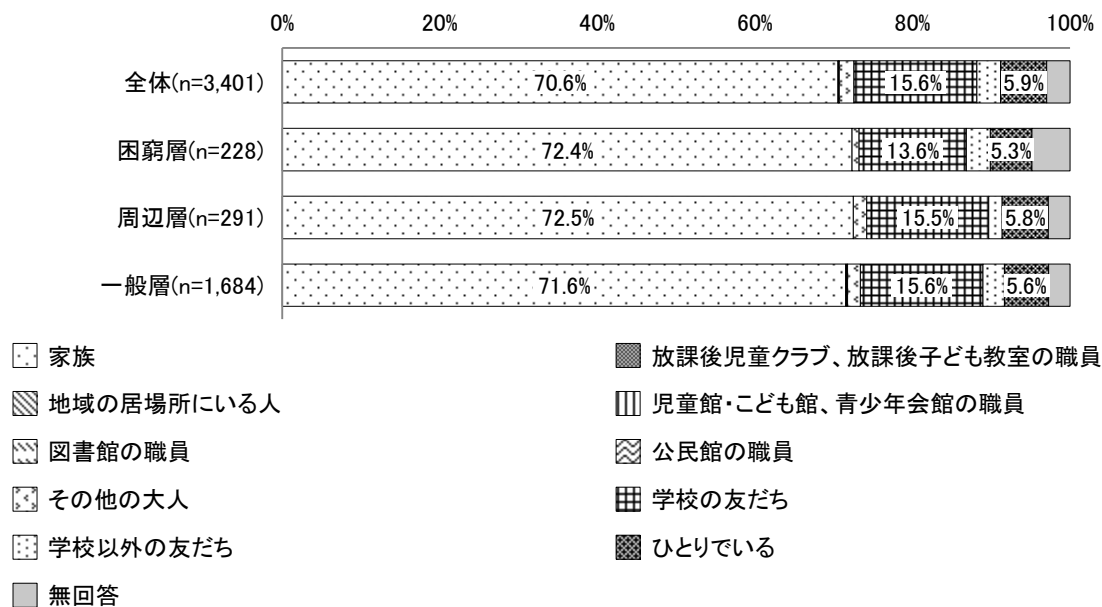
「困窮層」では、「家族」が72.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「家族」が72.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「家族」が71.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 256 休日に過ごす人：単数回答（Q21）（生活困難度別）

<小学生>（検定不可）



< 中学生 > (検定不可)



< 数値表：小学生 >

	合計	Q21 休日に過ごす人										
		家族	放課後児童クラブ、放課後子ども教室の職員	地域の居場所にいる人	児童館・こども館、青少年会館の職員	図書館の職員	公民館の職員	その他の大人	学校の友だち	学校以外の友だち	ひとりでいる	無回答
全体	3,605	86.5	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	3.7	3.9	1.8	0.7	2.9
困窮層	230	83.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	4.3	2.2	3.0	3.5
周辺層	314	84.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	5.4	2.2	1.0	3.5
一般層	2,056	87.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.7	1.9	0.4	2.3

< 数値表：中学生 >

	合計	Q21 休日に過ごす人										
		家族	放課後児童クラブ、放課後子ども教室の職員	地域の居場所にいる人	児童館・こども館、青少年会館の職員	図書館の職員	公民館の職員	その他の大人	学校の友だち	学校以外の友だち	ひとりでいる	無回答
全体	3,401	70.6	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	1.9	15.6	3.1	5.9	2.9
困窮層	228	72.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	13.6	3.1	5.3	4.8
周辺層	291	72.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	15.5	1.7	5.8	2.7
一般層	1,684	71.6	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	1.6	15.6	2.7	5.6	2.7

18) 休日に過ごす場所

小学生の「全体」では、「自分の家」が 78.6%でもっとも割合が高く、次いで「学校外のスポーツクラブの活動の場」が 7.2%となっている。

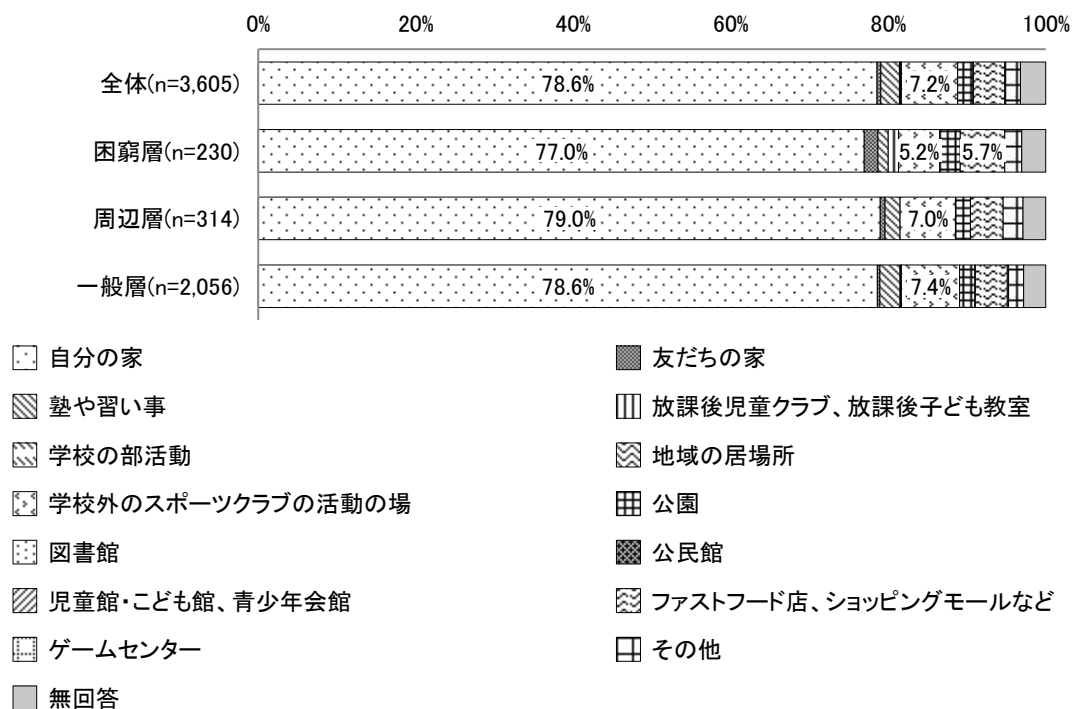
「困窮層」では、「自分の家」が 77.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「自分の家」が 79.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「自分の家」が 78.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「自分の家」が 76.9%でもっとも割合が高く、次いで「学校の部活動」が 6.6%となっている。

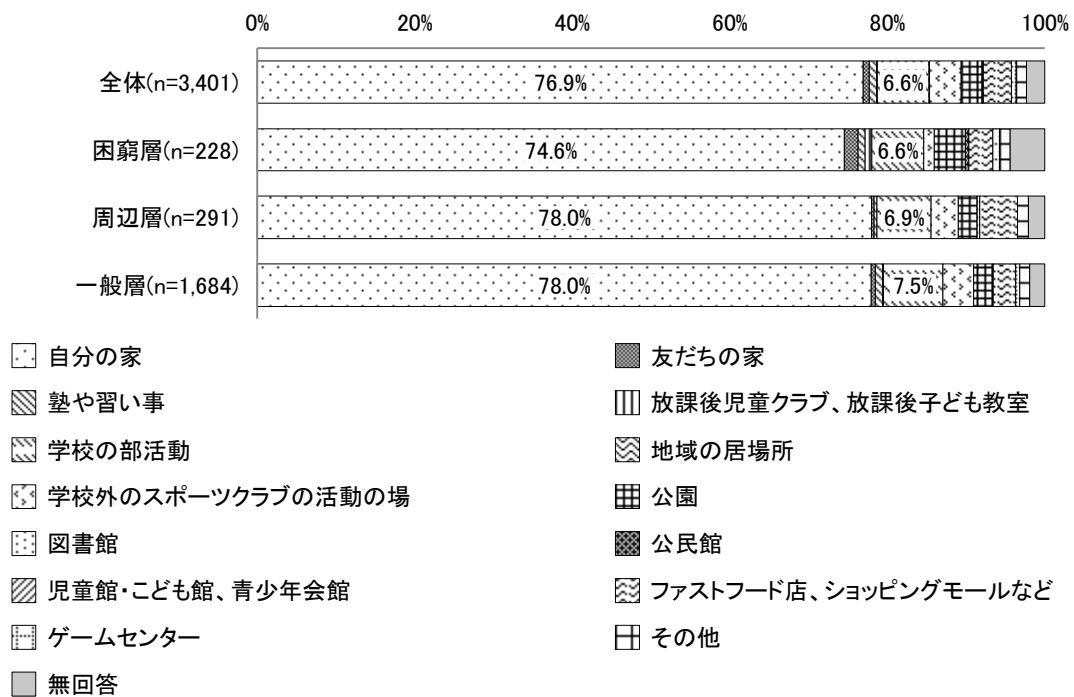
「困窮層」では、「自分の家」が 74.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「自分の家」が 78.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「自分の家」が 78.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 257 休日に過ごす場所：単数回答（Q22）（生活困難度別）

<小学生>（検定不可）



< 中学生 > (検定不可)



< 数値表：小学生 >

	合計	Q22 休日に過ごす場所													その他	無回答
		自分の家	友だちの家	塾や習い事	放課後児童クラブ、放課後子ども教室	学校の部活動	地域の居場所	学校外のスポーツクラブの活動の場	公園	図書館	公民館	児童館・こども館、青少年会館	ファストフード店、ショッピングモールなど	ゲームセンター		
全体	3,605	78.6	0.5	2.4	0.1	0.1	0.1	7.2	1.9	0.0	0.0	0.0	4.0	0.1	1.9	3.2
困窮層	230	77.0	1.7	1.3	1.3	0.0	0.0	5.2	2.6	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	2.2	3.0
周辺層	314	79.0	0.6	1.9	0.0	0.0	0.0	7.0	1.9	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	2.5	2.9
一般層	2,056	78.6	0.3	2.6	0.0	0.1	0.0	7.4	1.9	0.0	0.0	0.0	4.0	0.2	1.9	2.8

< 数値表：中学生 >

	合計	Q22 休日に過ごす場所													その他	無回答
		自分の家	友だちの家	塾や習い事	放課後児童クラブ、放課後子ども教室	学校の部活動	地域の居場所	学校外のスポーツクラブの活動の場	公園	図書館	公民館	児童館・こども館、青少年会館	ファストフード店、ショッピングモールなど	ゲームセンター		
全体	3,401	76.9	0.8	0.9	0.1	6.6	0.1	4.0	2.6	0.1	0.0	0.0	3.6	0.6	1.3	2.3
困窮層	228	74.6	1.8	0.9	0.9	6.6	0.0	1.3	3.9	0.0	0.4	0.0	3.1	0.9	1.3	4.4
周辺層	291	78.0	0.3	0.3	0.0	6.9	0.0	3.4	2.4	0.3	0.0	0.0	4.8	0.0	1.4	2.1
一般層	1,684	78.0	0.5	1.0	0.1	7.5	0.0	3.9	2.4	0.1	0.0	0.0	2.9	0.5	1.2	1.9

(4) 普段の活動状況について

1) 一緒に朝食をたべる

小学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 59.8%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼない」が 13.5%となっている。

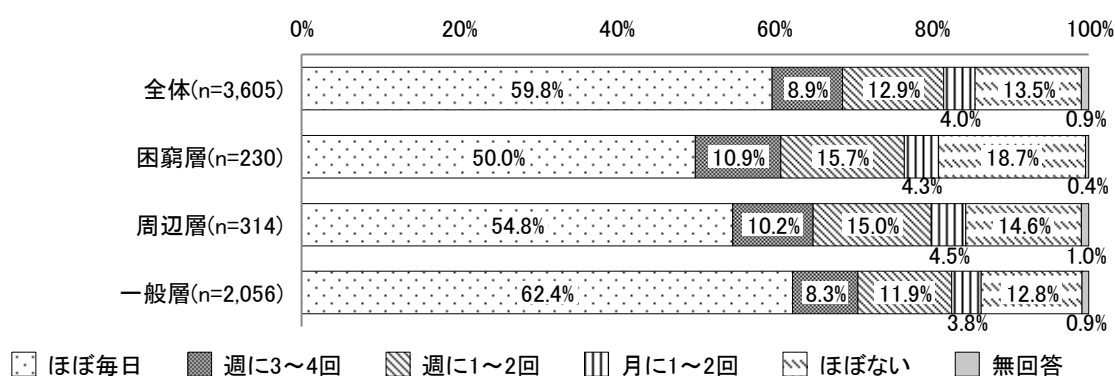
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 50.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 54.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 62.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 40.8%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼない」が 26.6%となっている。

「困窮層」では、「ほぼない」が 33.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 43.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 42.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 258 一緒に朝食をたべる：単数回答（Q23A）（生活困難度別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.01)

